

【関東地区】 点検チェックリスト

木 造 建 物

IASS 一般社団法人
社会資本整備支援機構
Infrastructure Adjustment Support System

【凡例】

- **補償基準** … 公共用地の取得に伴う損失補償基準
- **補償基準細則** … 公共用地の取得に伴う損失補償基準細則
- **建物算定要領** … 建物移転料算定要領
- **木造要領** … 建物移転料算定要領
別添一 木造建物調査積算要領
- **図面作成基準** … 建物移転料算定要領
別添一 木造建物調査積算要領
別添 1 木造建物図面作成基準
- **数量積算基準** … 建物移転料算定要領
別添一 木造建物調査積算要領
別添 2 木造建物数量積算基準
- **非木造 Q & A** … 非木造建物調査積算要領の解説(改訂版)
令和 2 年 4 月(修正令和 3 年 3 月)
- **木造 Q & A** … 木造建物調査積算要領の解説 (改訂版)
令和 2 年 4 月
- **【標】** … 損失補償算定標準書 令和 5 年度版
基準・要領編 (建物・工作物)
単価編 (建物・工作物)

建物移転料算定表

チェック項目			No	チェック事項	備考	
基本事項1	様式	※a	☐	指定の様式を使用しているか。 本様式は、再築工法の場合に使用するものである。 改造工法、復元工法、除却工法の場合にはそれぞれ様式第2号から様式第4号による。 曳家工法の場合には、曳家要領の様式第1による。	建物算定要領 第6条	
			☐	住民票、登記簿等の公的書類、その他作成調書類と一致しているか。	曳家要領 第3条	
	所在地・氏名・住所		☐	算定年月日に誤りがないか。 ①基準日が定められていない場合 →用調業務期間内の適切な年月日であるか。 ②基準日が定められている場合 →定められた適切な年月日であるか。	(例)関東地整 再算定は4月1日を基準日	
	算定年月日		☐	採用する単価の年度に誤りがないか。		
	採用単価		☐	その他作成調書類と一致しているか。		
	整理番号		☐	事業者等の場合、 消費税等調査表を確認のうえ、要否に誤りがないか。		
	消費税等相当額補償の要否		☐	増築の有無に誤りがないか。		
	増築の有無		☐			
基本事項2	棟番号	※b	☐	棟番号に誤りがないか。 その他作成調書類と一致しているか。		
	構造・用途	(1)	☐	構造用途に誤りがないか。 その他作成調書類と一致しているか。		
	延床・建築面積	(2) (3)	☐	各面積に誤りがないか。 その他作成調書類と一致しているか。		
	建築年月	(4)	☐	建物登記簿のほか、建築確認申請書控、固定資産税課税台帳等の公的資料及び工事請負契約書等、建物の建築年月が確認できる資料を総合的に判断し、明確にされているか。その他作成調書類と一致しているか。	木造Q&A 3	
	標準耐用年数	(5)	☐	判定表を基に、適切な耐用年数が認定されているか。	[標]木造建物標準耐用年数判定表	
			☐	標準耐用年数によることが適当でないと認められる場合、一級建築士等の意見書等、適切な方法で認定されているか。	補償基準細則 第15第1項 [標]再築補償率の考え方 木造Q&A 114	
	経過年数	(6)	☐	計算に誤りがないか。	[標]再築補償率の考え方 [標]木造建物再築補償率表注記	
工事費等	建築	直接工事費	(7)	☐	木造建物建築直接工事費計算書からの転記に誤りがないか。	
		共通仮設費	(8)	☐	率、計算および端数処理に誤りがないか。	建物算定要領 第7条等 木造Q&A 94
		純工事費	(9)	☐	計算に誤りがないか。	
		諸経費	(10)	☐	率認定、計算および端数処理に誤りがないか。	建物算定要領 第7条等 チェックシート[建物移転料算定表 別紙(任意様式)]
		建築工事費(推建費)	(11)	☐	計算に誤りがないか。	

チェック項目			No	チェック事項		備考
工事費等	解体	直接工事費	(12)	☐	木造建物解体直接工事費計算書からの転記に誤りがないか。	
		共通仮設費	(13)	☐	率、計算および端数処理に誤りがないか。(建築の共通仮設費を解体で共用できる場合に注意)	建物算定要領 第7条等 木造Q&A 94
		純工事費	(14)	☐	計算に誤りがないか。	
		廃材運搬費	(15)	☐	廃材運搬費内訳書からの転記に誤りがないか。	
		小計	(16)	☐	計算に誤りがないか。	
		諸経費	(17)	☐	率認定、計算および端数処理に誤りがないか。	建物算定要領 第7条等 チェックシート[建物移転料算定表 別紙(任意様式)]
		廃材運搬費	(18)	☐	廃材処分費内訳書からの転記に誤りがないか。	
		取こわし工事費	(19)	☐	計算に誤りがないか。	
補償額			※c		同種同等建物の場合と照応建物の場合によって、記入する欄の使い分けを行う。	
同種同等	建築工事費(推建費)	(20)	☐	(11)からの転記に誤りがないか。		
	再築補償率	(21)	☐	(5)標準耐用年数と(6)経過年数に基づき、適切な補償率が採用されているか。(参考)木造建物の場合、経過年数に応じた4つの期間および補修等の状況により、補償率計算式が①～④と異なる点に注意。	補償基準細則 第15第1項 木造Q&A 113 [標]再築補償率の考え方 [標]木造建物標準再築補償率表ほか	
			☐	標準的な補修の判断について、専門家(一級建築士等)より意見を聴取し認定されているか。	[標]再築補償率の考え方	
	現在価額＋運用益損失額	(22)	☐	計算に誤りがないか。		
			☐	築年次が異なる建物が接合している場合(増築建物)、面積按分により適切に求められているか。	(様式)注記※1 木造Q&A 111 チェックシート[建物移転料算定表 別紙(任意様式)]	
	取こわし工事費	(23)	☐	(19)からの転記に誤りがないか。		
	法令改善運用益損失額	(24)	☐	別途算定された額の転記に誤りがないか。	補償基準細則 第15第7項 [標]算定例(1)法令改善費の運用益損失補償額の算定例	
	小計	(25)	☐	計算に誤りがないか。		
	消費税等相当額	(26)	☐	補償の要否判断と祖語がないか。適正な税率が適用され、計算に誤りがないか。		
	発生材価額	(27)	☐	別途算定された額の転記に誤りがないか。	必要に応じて計上、木造建物で発生材が生じる例はごく稀である	
	補償額	(28)	☐	計算に誤りがないか。		
	照応建物	全般	(29)～(41)		照応建物による補償額は、同種同等の場合と同様に各内容を確認する他、以下の内容について確認する。	
		小計	(38)	☐	(35)推定再建築費等の差額に応じた、適切な補償額の算式により算定されているか。	建物算定要領第6条第1項なお書き (様式)注記※2
☐				計算に誤りがないか。		

建物移転料算定表 別紙(任意様式)
「諸経費」及び「増築建物の現在価額＋運用益損失額」

チェック項目		No	チェック事項		備考
全般		※1		諸経費率の対象額が明確となるよう、又、増築建物の現在価額＋運用益損失額算出のために作成される任意様式の別紙である。	
諸経費	対象額	※2	☐	対象額が適切に算出されているか。	木造要領 第44 数量積算基準 第15
			☐	一発注単位の判断が適切か。 (補足)密接不可分の関係にある複数の者に対する「一発注単位」判断の良否については、発注者に要確認のこと。 例1 : [A]親、[B]Aの妻や子など 例2 : [A]法人、[B]Aの代表者(個人)など	同上
	諸経費率	※3	☐	率認定に誤りがないか。 前欄最高額との比較を行い、諸経費率を認定しているか。	同上
	諸経費 (端数調整)	※4	☐	前欄最高額採用の場合、 諸経費が適切に算出されているか。端数処理は適切か。 (補足)前欄最高額と建築・解体への分配額(按分計算)を一致させるため、+〇円の端数調整が行われる例が多い。	建物算定要領 第7条等
増築建物	全般	※5	☐	築年次の異なる建物が接合している場合(増築建物)、面積按分により適切に求められているか。	木造Q&A 111
	推定再建築費 延床面積 建築年月 標準耐用年数 経過年数	※6	☐	各内容に誤りがないか。 (建物移転料算定表等と一致しているか。)	
	再築補償率	※7	☐	標準耐用年数と経過年数に基づき、適切な補償率が採用されているか。	チェックシート[建物移転料算定表 [木造建物]](21)]
	現在価額＋ 運用益損失額	※8	☐	計算に誤りがないか。	

様式第1号

※a

建物移転料算定表[再築工法]

所在地	〇〇県〇〇市〇〇1-2-3	算定者	〇〇 〇〇	整理番号	1
所有者の氏名又は名称	〇〇 〇〇	算定年月日	令和〇年〇月〇日	消費税等相当額補償の要否	要・否
所有者住所	〇〇県〇〇市〇〇1-2-3	採用単価	令和4年度	増築の有無(木造・同種構造)	有(A棟)・無

区分	内 容	番号	計 算 式	※b A			合計	備考
基 本 事 項	構造・用途	(1)		木造2階建 専用住宅				
	延床面積	(2)		158.96㎡				
	建築面積	(3)		129.00㎡				
	建築年月	(4)		昭和50年1月 平成 3年1月				
	標準耐用年数	(5)		48年				
	経過年数	(6)		48年 32年				
工 事 費 等	直接工事費	(7)	工事費(設備工事を含む)	30,778,988				
	共通仮設費	(8)	(7)×木造:3%、非木造:(7)に対応 する率(移転先ごとの建築直接工 事費の合計額)	3.00% 923,300				100円未満切り捨て
	純工事費	(9)	(7)+(8)	31,702,288				
	諸経費	(10)	(9)×((9)+(16))に対応する率(一 発注単位)	25.5% 8,084,000				100円未満切り捨て
	建築工事費(推定再建築費)	(11)	(9)+(10)	39,786,288				
	直接工事費	(12)	工事費	1,643,572				
	共通仮設費	(13)	(12)×(木造:3%、非木造:(12)に対応 する率(解体直接工事費の合計額)) 建築の共通仮設費を解体で共用でき る場合は不要	3.00% 49,300				100円未満切り捨て
	純工事費	(14)	(12)+(13)	1,692,872				
	廃材運搬費	(15)		234,110				
	小 計	(16)	(14)+(15)	1,926,982				
	諸経費	(17)	(16)×((9)+(16))に対応する率(一 発注単位)	25.5% 491,300				100円未満切り捨て
	廃材処分費	(18)		2,341,647				
	取りこわし工事費	(19)	(16)+(17)+(18)	4,759,929				
補 償 額	建築工事費(推定再建築費)	(20)	(11)	39,786,288				
	※1 再 築 補 償 率	(21)		別紙参照				
	※1 現在価額+運用益損失額	(22)	(20)×(21) 別紙より	20,701,481				1円未満切り捨て
	取りこわし工事費	(23)	(19)	4,759,929				
	法令改善費運用益損失額	(24)		-				
	小 計	(25)	(22)+(23)+(24)	25,461,410			25,461,410	
	消費税等相当額	(26)	(25) × 消費税等の税率	2,546,141			2,546,141	1円未満切り捨て
	△発生材価額	(27)		-			-	
	補償額	(28)	(25)+(26)-(27)	28,007,551			28,007,551	
	建築工事費(推定再建築費)	(29)	(11) 従前建物の推定再建築費					
	※1 再 築 補 償 率	(30)						
	※1 現在価額+運用益損失額	(31)	(29)×(30)					1円未満切り捨て
	現価率	(32)						
	従前建物の現在価額	(33)	(29)×(32)					1円未満切り捨て
	照応建物の推定建築費	(34)						
	※2 推定再建築費等の差額	(35)	(34)-(29)					
	取りこわし工事費	(36)	(19)					
	法令改善費運用益損失額	(37)						
	小 計	(38)	(31)+(35)+(36)+(37)					
	消費税等相当額	(39)	(38) × 消費税等の税率					1円未満切り捨て
	△発生材価額	(40)						
	補償額	(41)	(38)+(39)-(40)					

※1 木造建物の増築(築年次の異なる同種構造の木造建物が接合)の場合の(21)及び(22)(又は(30)及び(31))については、適宜別紙(任意様式)により求めるものとする。

※2 推定再建築費等の差額(35)が負の値となり、(33)≥(34)の場合の小計(38)は、(33)+(36)+(37)とする。

推定再建築費等の差額(35)が負の値となり、(33)<(34)の場合の小計(38)は、(33)+(34-(33))×{1-1/(1+r)ⁿ)+(36)+(37)とする(r:年利率、n:従前建物の残耐用年数)。

1 建物諸経费率認定(建物移転料算定表(10)(17))

純工事費等計算表

建物番号	構造用途	建築純工事費 (a)	解体純工事費 (b)	廃材運搬費 (c)	※3 合計 (d) = (a) + (b) + (c)
A	木造2階建 専用住宅	31,702,288	1,692,872	234,110	33,629,270
合計					33,629,270

諸経費比較表 ※3

	純工事費等合計額	諸経费率	諸経費	採用諸経费率	備 考
当該建物	33,629,270	25.5%	8,575,400	25.5%	採用諸経费率は、建物移転料算定表(10)及び(17)へ移記
比較建物	30,000,000	26.4%	7,920,000		

※諸経费率認定表 ※4

建物番号	区分	計算式 (調整額)	諸経費
合計			

※5

2 増築建物の現在価額＋運用益損失額 算出表 (建物移転料算定表(22))

	A	内 訳				備 考
		A 建築	A 増築			
推定再建築費	39,786,288					
延 床 面 積	158.96 m ²	83.61 m ²	75.35 m ²			求積図(表)参照
※6 建 築 年 月	—	昭和50年1月	平成 3年1月			
標準耐用年数	—	48 年	48 年			
経 過 年 数	—	48 年	32 年			
※7 再築補償率	—	44.4 %	60.5 %			
※8 現在価額＋ 運用益損失額	20,701,481	9,291,519	11,409,962			小数点以下切り捨て

A 建築 : 39,786,288 × 83.61 ÷ 158.96 × 44.4 % = 9,291,519

A 増築 : 39,786,288 × 75.35 ÷ 158.96 × 60.5 % = 11,409,962

意見書

【建物概要】

整理番号：1 A棟
建物所有者：〇〇 〇〇
構造：木造2階建
用途：専用住宅
延床面積：158.96㎡
建築年：昭和50年1月、平成3年1月(増築)
標準耐用年数：48年
経過年数：48年、32年

【所見】

標準耐用年数5割経過後の建物の価値補正率についての所見を下記に示す。

(建築士等の所見を記載)

IASS 一般社団法人
社会資本整備支援機構
Infrastructure Adjustment Support System

令和〇年〇月〇日

会社名 株式会社 〇〇〇〇

住所 〇〇県〇〇市〇〇4-5-6

資格名称 一級建築士 登録第〇〇〇〇号

〇〇 〇〇

価値補正率・実態的耐用年数

(1)木造建物補修等補正率調査算定表

チェック項目		No	チェック事項		備考	
基本事項	補正率調査実施の要否	※1	☐	(再築工法を適用する)標準耐用年数 <u>近似期建物</u> で標準的な補修を施している建物以外の建物について、当該調査算定表が作成されていることを確認する。	[標]再築補償率の考え方 [標]価値補正率基準表 注記	
	概要	所在地・住所・氏名	※2	☐	住所、氏名及び所在地が住民票、登記簿等の公的書類、その他作成調書類と一致しているか。	
		調査年月日	※3	☐	図面等に照らし、不整合等の箇所がないか。	
		建築年月		☐	その他作成調書類と一致しているか。	
		経過年数		☐	計算に誤りがないか。	[標]再築補償率の考え方 [標]木造建物再築補償率表注記
		構造概要・用途	※4	☐	構造用途に誤りがないか。 その他作成調書類と一致しているか。	
		等級・標準耐用年数	※5	☐	判定表を基に、適切な建物等級及び標準耐用年数が認定されているか。(意見書等による認定がなされている場合、認定結果と一致しているか。)	[標]木造建物標準耐用年数判定表
価値補正率	各補正項目	※6	☐	補修等の程度等に対応した適切な補正率が採用されているか。 (参考)補修の有無等を明確に判断可能な資料が揃っている例は稀であるため、写真等による大きな目での確認を要する。	[標]価値補正率基準表	
	合計補正率 価値補正率	※7	☐	計算に誤りがないか。		

価値補正率・実態的耐用年数 (2)木造建物評価調査算定表

チェック項目		No	チェック事項		備考	
基本事項	評価調査実施の要否	※1	☐	標準耐用年数満了後の建物について、当該評価調査算定表が作成されていることを確認する。 (参考)満了期(A)「標準的な補修が施されている建物以外の建物」および満了期(B)は必須	[標]標準耐用年数満了後の木造建物の実態的耐用年数の調査算定について	
	概要	所在地・所有者	※2	☐	所在地及び氏名が住民票、登記簿等の公的書類、その他作成調書類と一致しているか。	
		構造・用途	※3	☐	構造用途に誤りがないか。 その他作成調書類と一致しているか。	
		等級・標準耐用年数	※4	☐	判定表を基に、妥当な建物等級及び標準耐用年数が認定されているか。(意見書等による認定がなされている場合、認定結果と一致しているか。)	[標]木造建物標準耐用年数判定表
		延床面積	※5	☐	延床面積に誤りがないか。 その他作成調書類と一致しているか。	
		調査年月日	※6	☐	図面等に照らし、不整合等の箇所がないか。	
		建築年月		☐	その他作成調書類と一致しているか。	
		経過年数		☐	経過年数を計算する際の基準日を確認のうえ、建築年月から基準日までの経過年数の計算に誤りがないか。建物移転料算定表における経過年数と一致しているか。	[標]再築補償率の考え方 [標]木造建物再築補償率表注記
A. 部位別補正率	①部位別価値補正率調査	※7	☐	各部位((イ)～(チ))別の損耗状況の判断が妥当か。 (参考)損耗状況を明確に判断可能な資料が揃っている例は稀であるため、写真等による大きな目での確認を要する。		
	②部位別価値補正率の合計	※8	☐	部位別価値補正率を仕上別に複数判定している場合、各部位別補正率が単純合計になっていないか。 【誤り例】 部位別価値補正率(複数仕上の場合)		
		※9	☐	一切存在しない部位がある場合、その部位の補正率をゼロと評価していないか。 【誤り例】 部位別価値補正率の合計(一切存在しない部位がある場合)		
			☐	※8※9の対応方法 現在のところ、標準書に具体の対応方法は示されていない。複数の対応方法が考えられるため、発注者に要相談と思われる。		
		※10	☐	計算及び端数処理が正しく行われているか。		
B. 総合価値補正率	総合価値補正率調査	※11	☐	損耗状況の判断が妥当か。 (参考)損耗状況を明確に判断可能な資料が揃っている例は稀であるため、写真等による大きな目での確認を要する。		

チェック項目			No	チェック事項		備考
残耐用年数	概要	所在地・所有者	※イ	☐	所在地及び氏名が住民票、登記簿等の公的書類、その他作成調書類と一致しているか。	
		構造・床面積	※ロ	☐	構造及び床面積に誤りがないか。その他作成調書類と一致しているか。	
		等級・標準耐用年数	※ハ	☐	判定表を基に、妥当な建物等級及び標準耐用年数が認定されているか。(意見書等による認定がなされている場合、認定結果と一致しているか。)	[標]木造建物標準耐用年数判定表
		経過年数	※ニ	☐	経過年数を計算する際の基準日を確認のうえ、建築年月から基準日までの経過年数の計算に誤りがないか。建物移転料算定表における経過年数と一致しているか。	[標]再築補償率の考え方 [標]木造建物再築補償率表注記
	各項目①～④及び残耐用年数		※ホ	☐	計算式中の各補正率の転記に誤りがないか。	
				☐	各計算及び端数処理が正しく行われているか。	

木造建物補修等補正率調査算定表 ※1

所在地		〇〇県〇〇市〇〇1-2-3				調査月日	令和〇年〇月〇日	調査者	〇〇 〇〇	
※2所有者	住所	〇〇県〇〇市〇〇1-2-3				※3建築年月	昭和50年1月	検証者	〇〇 〇〇	
	氏名又は名称	〇〇 〇〇				経過年数	48 年			
※4構造	木造	※4用途	住宅	※5等級	3等級	※5標準耐用年数	48 年	※7価値補正率	9.0 %	
※6項目	補修の有無	補修等の程度等			価値(%)補正率	項目	補修の有無	補修等の程度等		価値(%)補正率
15cm角以上の柱	15cm角柱本数	— 本			—	鼻かくし	無	補修なし		—
	全体の柱本数	〇〇 本								
屋根	無	補修なし			—	破風板	無			
内装	無	補修なし			—	土台への防腐白蟻消毒	無	施工なし		—
外装	有	一部張替え			1.0	木造建具の金属建具への取替え	無	補修なし		—
柱	無	補修なし			—	床 高	50 cm			1.0
土 台	無	補修なし			—	浴室 [浴槽・壁・床]	無	補修なし		—
※6建 物 の 立 地 状 況										
日照条件	良好					隣接建物の状況				4.0
通風状況	良好					三方向(南・西・北側)に建物があり、東側は道路である。南側の建物は平家建の住宅で西側は2階建の店舗・共同住宅、北側は2階建の住宅となっている。				3.0
※7合 計 補 正 率										9.0

注 補修等の程度等は、各部位全体に対する補修面積割合、補修年月等を記入する。（用紙はA4判上質とする）

木造建物評価調査算定表※1

【参考例】

1 調査表

	所在地	〇〇県〇〇市〇〇1-2-3				調査年月日	令和〇年〇月〇日	調査者	〇〇 〇〇	
※2	所有者	〇〇 〇〇				※6 建築年月	昭和38年4月	検証者	〇〇 〇〇	
						経過年数	60年			
※3	構造	木造2階建	※3 用途	専用住宅	※4 等級	3等級	※4 標準耐用年数	48年	※5 延床面積	123.45 m ²

A. 部位別価値補正率調査

① 部位別価値補正率調査※7

(イ) 基礎

布基礎		独立基礎	
損耗状況	補正率	損耗状況	補正率
☐ 極く一部不同沈下	0.92	☐ 極く一部不同沈下	0.96
☒ 一部不同沈下	0.84	☐ 一部不同沈下	0.92
☐ 不同沈下20%	0.73	☐ 不同沈下20%	0.84
☐ 不同沈下30%	0.60	☐ 不同沈下30%	0.77
☐ 上記以上	0.445	☐ 不同沈下50%	0.61
		☐ 上記以上	0.445

(ロ) 柱

柱	
損耗状況	補正率
☐ 汚染	0.96
☐ 床上極く一部損傷	0.92
☒ 床上一部損傷、根もと極く一部腐朽	0.85
☐ 床上一部損傷、根もと一部腐朽	0.75
☐ 床上30%損傷、根もと20%腐朽	0.65
☐ 上記以上	0.445

(ハ) 屋根

瓦葺屋根		亜鉛鉄板葺屋根		スレート瓦屋根		まさ葺屋根		草葺屋根	
損耗状況	補正率	損耗状況	補正率	損耗状況	補正率	損耗状況	補正率	損耗状況	補正率
☐ 棟瓦面土はがれ	0.96	☐ ベンキはく離	0.96	☐ スレート汚染	0.95	☐ 釘ゆるみ	0.95	☐ 汚染	0.95
☐ 棟瓦面土はがれ、 けらば瓦、軒先瓦 極く一部損傷	0.90	☐ さび発生	0.92	☐ スレート極く一部き裂	0.90	☐ 釘ゆるみ、まさ板 極く一部損傷	0.90	☐ 棟一部破損	0.90
☒ 棟瓦、けらば瓦、軒 先瓦一部損傷	0.85	☐ 亜鉛鉄板極く一部 腐朽	0.88	☐ スレート一部き裂、裏板 極く一部腐朽	0.85	☐ まさ板一部損傷、 裏板極く一部腐朽	0.80	☐ 表面やや不ぞろい	0.85
☐ けらば瓦、軒先瓦 20%損傷、裏板一部 腐朽	0.80	☐ 亜鉛鉄板一部腐朽	0.82	☐ スレート一部破損、裏板 極く一部腐朽	0.75	☐ まさ板、裏板とも に一部腐朽	0.70	☐ 表面波打	0.75
☐ 棟瓦、けらば瓦、軒 先瓦30%損傷、裏板 一部腐朽	0.70	☐ 亜鉛鉄板、裏板とも に一部腐朽	0.75	☐ スレート一部破損、裏板 一部腐朽	0.75	☐ まさ板腐朽目立ち、 裏板一部腐朽	0.60	☐ 表面波打、軒先腐 朽	0.65
☐ 棟瓦、けらば瓦、軒 先瓦50%損傷、裏板 一部腐朽	0.55	☐ 亜鉛鉄板、裏板とも に30%腐朽	0.65	☐ スレート一部破損、裏板 一部腐朽	0.65	☐ 上記以上	0.445	☐ 表面一部破損、一 部竹露出	0.50
☐ 上記以上	0.445	☐ 亜鉛鉄板、裏板とも に50%腐朽	0.50	☐ スレート一部破損、裏板 30%腐朽	0.50			☐ 上記以上	0.445
		☐ 上記以上	0.445	☐ 上記以上	0.445				

(ニ) 天井

板、合板、テックス等ボード類		塗天井	
損耗状況	補正率	損耗状況	補正率
☐ 汚染	0.95	☐ 表面汚染	0.96
☐ 極く一部損傷	0.90	☐ 極く一部き裂	0.90
☒ 一部損傷	0.80	☐ 20%き裂	0.80
☐ 20%損傷、中央部 たわみ	0.65	☐ 50%き裂	0.70
☐ 30%損傷、中央部 たわみ	0.50	☐ 一部中塗露出	0.60
☐ 上記以上	0.445	☐ 50%中塗露出	0.50
		☐ 上記以上	0.445

(ホ) 床

畳		板 類		タイル、石貼等		リリウム、アスタイル貼	
損 耗 状 況	補正率	損 耗 状 況	補正率	損 耗 状 況	補正率	損 耗 状 況	補正率
☐ 畳表変色	0.95	☐ 表面汚染	0.95	☐ 目地極く一部損傷	0.98	☐ 汚染	0.97
☐ 畳表一部磨耗	0.90	☐ 極く一部損傷	0.85	☐ 目地一部損傷	0.92	☐ 一部はがれ	0.94
☐ 畳表磨耗著しく、一部穴あき	0.85	☒ 一部損傷	0.75	☐ タイル又は石極く一部ひび割れ	0.85	☐ 一部磨耗、20%割れ	0.86
☐ 畳表磨耗著しく、50%穴あき	0.75	☐ 20%腐朽	0.60	☐ タイル又は石一部ひび割れ	0.75	☐ 一部はく離、床たわみ	0.70
☐ 畳表穴あき、畳床一部腐朽	0.65	☐ 上記以上	0.445	☐ タイル又は石20%はく落	0.65	☐ 50%はく離	0.50
☐ 畳床100%腐朽	0.55			☐ タイル又は石30%はく落	0.50	☐ 上記以上	0.445
☐ 上記以上	0.445			☐ 上記以上	0.445		

モルタル		叩床(リリウム、アスタイル貼)		叩床(タイル、石貼)		叩床(モルタル塗)	
損 耗 状 況	補正率	損 耗 状 況	補正率	損 耗 状 況	補正率	損 耗 状 況	補正率
☐ 表面軽微なき裂	0.97	☐ 汚染	0.95	☐ 目地極く一部損傷	0.97	☐ 表面軽微なき裂	0.98
☐ 全面的き裂	0.92	☐ 一部はがれ	0.92	☐ 目地一部損傷	0.92	☐ 全面的なき裂	0.95
☐ 表面全面的磨耗	0.85	☐ 一部磨耗、20%割れ	0.85	☐ タイル又は石極く一部ひび割れ	0.85	☐ 表面全面的磨耗	0.90
☐ 表面磨耗、一部はく離	0.75	☐ 一部はく離	0.70	☐ タイル又は石一部ひび割れ	0.75	☐ 表面磨耗、一部はく落	0.75
☐ 表面大部分はく離	0.60	☐ 一部はく離、下地コンクリート一部破損	0.50	☐ タイル又は石40%はく落	0.65	☐ 表面磨耗、下地コンクリート一部露出	0.65
☐ 表面大部分はく離、床組一部破損	0.50	☐ 上記以上	0.445	☐ タイル又は石70%はく落	0.50	☐ 表面磨耗著しく、下地コンクリート全面的露出	0.50
☐ 上記以上	0.445			☐ 上記以上	0.445	☐ 上記以上	0.445

(ヘ) 外 壁

板 張		塗 壁		ラスモルタル塗、リシ仕上、洗出仕上		スレート		タイル、石貼等	
損 耗 状 況	補正率	損 耗 状 況	補正率	損 耗 状 況	補正率	損 耗 状 況	補正率	損 耗 状 況	補正率
☐ 汚染	0.98	☐ 汚染	0.95	☐ 汚染	0.97	☐ 汚染	0.95	☐ 目地極く一部損傷	0.95
☐ 釘ゆるみ	0.95	☐ 極く一部き裂	0.90	☐ 極く一部き裂	0.92	☐ 極く一部き裂	0.87	☐ 目地一部損傷	0.90
☐ 極く一部損傷	0.90	☐ 一部き裂	0.85	☐ 一部き裂	0.85	☐ 一部き裂	0.82	☐ タイル又は石極く一部ひび割れ	0.85
☒ 一部損傷	0.80	☐ 50%き裂	0.80	☐ 極く一部はく落	0.75	☐ 一部破損	0.75	☐ タイル又は石一部ひび割れ	0.70
☐ 20%腐朽	0.65	☐ 一部中塗露出	0.75	☐ 一部はく落	0.65	☐ 30%破損	0.60	☐ タイル又は石20%はく落	0.60
☐ 30%腐朽	0.50	☐ 30%中塗露出	0.70	☐ 30%はく落	0.50	☐ 上記以上	0.445	☐ タイル又は石30%はく落	0.50
☐ 上記以上	0.445	☐ 50%中塗露出	0.60	☐ 上記以上	0.445			☐ 上記以上	0.445
		☐ 一部木舞(木摺)露出	0.50						
		☐ 上記以上	0.445						

(ト) 内 壁

塗 壁		板、合板、テクス等ボード類		板 張		モルタル塗		タイル、石貼等	
損 耗 状 況	補正率	損 耗 状 況	補正率	損 耗 状 況	補正率	損 耗 状 況	補正率	損 耗 状 況	補正率
☐ 表面汚染	0.95	☐ 表面汚染	0.93	☐ 表面汚染	0.98	☐ 表面汚染	0.97	☐ 目地極く一部損傷	0.95
☐ 極く一部き裂	0.90	☐ 極く一部き裂	0.88	☐ 釘ゆるみ	0.95	☐ 極く一部き裂	0.92	☐ 目地一部損傷	0.90
☒ 一部き裂	0.85	☐ 一部損傷	0.83	☐ 極く一部損傷	0.90	☐ 一部き裂	0.85	☐ タイル又は石極く一部ひび割れ	0.85
☐ 50%き裂	0.80	☐ 20%損傷	0.72	☐ 一部損傷	0.80	☐ 極く一部はく落	0.75	☐ タイル又は石一部ひび割れ	0.70
☐ 一部中塗露出	0.75	☐ 30%損傷	0.60	☐ 20%腐朽	0.65	☐ 一部はく落	0.65	☐ タイル又は石20%はく落	0.60
☐ 30%中塗露出	0.70	☐ 上記以上	0.445	☐ 30%腐朽	0.50	☐ 30%はく落	0.50	☐ タイル又は石30%はく落	0.50
☐ 50%中塗露出	0.60			☐ 上記以上	0.445	☐ 上記以上	0.445	☐ 上記以上	0.445
☐ 一部木舞(木摺)露出	0.50								
☐ 上記以上	0.445								

(チ) 建 具

建具	
損 耗 状 況	補正率
☐ 汚染	0.95
☒ 一部建付不良	0.90
☐ 一部建付不良、一部軽微な破損	0.85
☐ 一部破損	0.75
☐ 20%破損	0.65
☐ 30%破損	0.50
☐ 上記以上	0.445

② 部位別価値補正率の合計 ※8,9

部 位 別		部位別補正率		部位別定数			
イ	基 礎	0.84	×	0.04	=	0.0336	
ロ	柱	0.85	×	0.19	=	0.1615	
ハ	屋 根	0.85	×	0.15	=	0.1275	
ニ	天 井	0.80	×	0.08	=	0.0640	
ホ	床	0.75	×	0.13	=	0.0975	
ヘ	外 壁	0.80	×	0.11	=	0.0880	
ト	内 壁	0.85	×	0.21	=	0.1785	
チ	建 具	0.90	×	0.09	=	0.0810	∴ 0.83 ※10
合計					=	0.8316	(小数点以下2位まで切捨て)

B. 総合価値補正率調査 ※11

損 耗 状 況			
外部廻り	補正率	内部廻り	補正率
☐ 損傷らしきものは認められないが、樋、庇などに塗替を要するもの	0.90	☐ 内壁、天井、造作などに古さは感じられるが、損傷がほとんど認められないもの	0.90
☐ 軒先の一部にゆるみを生じ、土台の極く一部に腐朽がみられ、外壁下見板等が変色し、木目が内質部よりやや高くなっているもの	0.80	☐ 内壁の壁ちにすき間があり、一部にき裂が生じ、天井、造作などに多少の古さが感じられるもの	0.80
☒ 基礎のモルタルがはく離し、屋根面の一部及び軒先の一部に損傷を生じ、外壁の一部に損傷が認められるもの	0.70	☒ 内壁の一部が損傷し、天井、造作にすすけ、雨漏によるしみなどのあるもの	0.70
☐ 基礎の極く一部に沈下がみられ、北側、湯殿、台所等の土台が腐朽し、軒先の一部が腐朽し、柱の一部が根継を要し、外壁の一部に破損が認められるもの	0.60	☐ 内壁の一部が損傷し、内壁、天井に雨漏れによるしみが生じ、天井の一部にたわみが生じ、造作の一部に軽度の損傷が認められるもの	0.60
☐ 基礎の一部に不同沈下がみられ、北側及び西側の土台が腐朽し、屋根瓦がゆるみ、軒先の一部が腐朽し、柱の一部が根継を要し、外壁の一部に破損が認められるもの	0.50	☐ 内壁の一部がはく落し、天井がたわみ、畳が腐朽し、造作の一部が破損しているもの	0.50

※8

◆ 部位別価値補正率（複数仕上の場合） 【誤り例】

① 部位別価値補正率調査

(ハ) 屋 根

瓦 葺 屋 根		亜鉛鉄板葺屋根		スレート瓦屋根		まさ葺屋根		草 葺 屋 根	
損 耗 状 況	補正率	損 耗 状 況	補正率	損 耗 状 況	補正率	損 耗 状 況	補正率	損 耗 状 況	補正率
☐ 棟瓦面土はがれ	0.96	☐ ペンキはく離	0.96	☐ スレート汚染	0.95	☐ 釘ゆるみ	0.95	☐ 汚染	0.95
棟瓦面土はがれ、 ☐ けらば瓦、軒先瓦 極く一部損傷	0.90	☐ さび発生	0.92	☒ スレート極く一部き裂	0.90	☐ 釘ゆるみ、まさ板 極く一部損傷	0.90	☐ 棟一部破損	0.90
☒ 棟瓦、けらば瓦、 軒先瓦一部損傷	0.85	☐ 亜鉛鉄板極く一部 腐朽	0.88	☐ スレート一部き裂、裏 板極く一部腐朽	0.85	☐ まさ板一部損傷、 裏板極く一部腐朽	0.80	☐ 表面やや不ぞろい	0.85
けらば瓦、軒先瓦 ☐ 20%損傷、裏板一 部腐朽	0.80	☐ 亜鉛鉄板一部腐朽	0.82	☐ スレート一部破損、裏 板極く一部腐朽	0.75	☐ まさ板、裏板とも に一部腐朽	0.70	☐ 表面波打	0.75
棟瓦、けらば瓦、 ☐ 軒先瓦30%損傷、 裏板一部腐朽	0.70	☐ 亜鉛鉄板、裏板と もに一部腐朽	0.75	☐ スレート一部破損、裏 板一部腐朽	0.65	☐ まさ板腐朽目立 ち、裏板一部腐朽	0.60	☐ 表面波打、軒先腐 朽	0.65
棟瓦、けらば瓦、 ☐ 軒先瓦50%損傷、 裏板一部腐朽	0.55	☐ 亜鉛鉄板、裏板と もに50%腐朽	0.50	☐ スレート一部破損、裏 板30%腐朽	0.50	☐ 上記以上	0.445	☐ 表面一部破損、一 部竹露出	0.50
☐ 上記以上	0.445	☐ 上記以上	0.445	☐ 上記以上	0.445			☐ 上記以上	0.445

② 部位別価値補正率の合計

部 位 別		部位別補正率	×	部位別定数	=	0.2625	誤
ハ	屋 根	1.75		0.15			

0.85+0.90=1.75

×仕上毎の補正率を単純合計した場合、部位別補正率の上限を超える
→適切な補正率にならない

※9

◆ 部位別価値補正率の合計（一切存在しない部位がある場合） 【誤り例】

② 部位別価値補正率の合計

部 位 別		部位別補正率		部位別定数			
イ	基 礎	0.84	×	0.04	=	0.0336	
ロ	柱	0.75	×	0.19	=	0.1425	
ハ	屋 根	0.75	×	0.15	=	0.1125	
二	天 井	0.00	×	0.08	=	0.0000	(存在しない部位)
ホ	床	0.97	×	0.13	=	0.1261	
ヘ	外 壁	0.75	×	0.11	=	0.0825	
ト	内 壁	0.00	×	0.21	=	0.0000	
チ	建 具	0.85	×	0.09	=	0.0765	(存在しない部位)
				合計		0.5737	∴ 0.57

誤

(小数点以下2位まで切捨て)

×存在しない部位の補正率を0.00とした場合、
存在しない部位の評価がゼロになる
→適切な補正率にならない

2 残耐用年数算定表

※イ 所在地	〇〇県〇〇市〇〇1-2-3			※イ 所有者	〇〇 〇〇
※ロ 建物の構造	木造2階建 専用住宅			※ロ 床面積	123.45 m ²
※ハ 等級	3 等級	※ハ 標準耐用年数	48 年	※ニ 経過年数	60 年

部位別価値補正率の合計①	$= (\text{各部位別補正率} \times \text{各部位別定数}) \text{の和}$ $= 0.83 \quad (\text{小数点第2位まで第3位切捨て})$				
総合価値補正率の合計②	$= (\text{外部廻り補正率} \times 50/100) + (\text{内部廻り補正率} \times 50/100)$ $= (0.70 \times 50/100) + (0.70 \times 50/100)$ $= 0.70 \quad (\text{小数点第2位まで第3位切捨て})$				
価値補正率③	$= (\text{部位別価値補正率の合計①} \times 50/100) + (\text{総合価値補正率②} \times 50/100)$ $= (0.83 \times 50/100) + (0.70 \times 50/100)$ $= 0.765 \quad (\text{端数処理なし})$				
※ホ 現在価値率 _a	$= [\text{価値補正率③} \times (1-0.55)]$ $= [0.765 \times (1-0.55)]$ $= 0.34425 \quad (\text{端数処理なし})$				
実態的耐用年数④	$= \frac{0.8 \times n}{(1 - a)} \quad \begin{matrix} n: \text{経過年数} \\ a: \text{現在価値率} \end{matrix}$ $= \frac{0.8 \times 60}{(1 - 0.34425)} = 73.19$ $= 73 \text{ 年} \quad (\text{小数点第1位以下四捨五入})$				
残耐用年数	$= \text{実態的耐用年数④} - \text{経過年数}$ $= 73 - 60$ $= 13 \text{ 年}$				
その他 (閉差が生じた理由等)					

廃材運搬費及び廃材処分費内訳書
組成別廃材量(木造建物)

チェック項目		No	チェック事項		備考
基本 事項	全般		※a	調査表および各種図面を基に、各事項の転記等を確認する。	
	所有者氏名			☐ 住民票、登記簿等の公的書類、その他作成調書類と一致しているか。	
	整理番号・棟番号			☐ その他作成調書類と一致しているか。	
	建物 概要	構造・用途・階層 各床面積		☐ 記載内容に誤りがないか。	
		用途		☐ 推定再建築費の積算に適用したものと同様の用途を適用しているか。(木造建物は用途毎に算出。)	[標]廃材運搬費及び廃材処分費の算定方法について I. 1表 備考6 (様式)注記※1
	補正 関係	建築設備 の有無		☐ 建築設備の全部が存しない場合に該当するか。	[標]廃材運搬費及び廃材処分費の算定方法について I. 3 (様式)注記※2
		浄化槽の加算		☐ 浄化槽等の加算が必要か。(撤去義務を課さない場合は加算不要。)	[標]廃材運搬費及び廃材処分費の算定方法について I. 5 (様式)注記※3
		陶器瓦の有無		☐ 屋根葺き材が陶器瓦であるか。	[標]廃材運搬費及び廃材処分費の算定方法について I. 1表 備考3 (様式)注記※4
		畳の有無		☐ 床仕上げ材に畳が使用されているか。	[標]廃材運搬費及び廃材処分費の算定方法について I. 1表 備考3 (様式)注記※4
		GL上部の 基礎解体有無		☐ 事業施行地内(起業地内)について、地表面(GL)から上の基礎のみを撤去する必要があるか。	[標]廃材運搬費及び廃材処分費の算定方法について I. 4 (様式)注記※5
その他		(現段階では)陶器瓦および畳以外に「明らかに存在しない組成」がある場合の取扱いの規定されていない。			

チェック項目		No	チェック事項		備考
廃材量 計算	廃材統計値	※イ	☐	構造・用途に応じた適切な廃材統計値であるか。	[標]廃材運搬費及び廃材処分費の算定方法について I. 1表
	延床面積	※ロ	☐	面積に誤りがないか。	
	一階床面積	※ハ	☐	面積に誤りがないか。	
	基礎の種類による補正	※ニ	☐	基礎種類に応じた適切な補正率であるか。	[標]廃材運搬費及び廃材処分費の算定方法について I. 2表 (様式)注記※6
	GL上部の基礎解体	※ホ	☐	「GL上部の基礎解体有無」に応じた適切な補正率であるか。	[標]廃材運搬費及び廃材処分費の算定方法について I. 4
	建築設備補正	※ヘ	☐	補正の要否、補正値が適切であるか。(用途が工場・倉庫の場合のみ)	[標]廃材運搬費及び廃材処分費の算定方法について I. 3 (様式)注記※2
	浄化槽等の加算	※ト	☐	加算要の場合、廃材量に誤りがないか。	[標]廃材運搬費及び廃材処分費の算定方法について I. 5 (様式)注記※3
	残地割合	※チ	☐	計算結果および端数処理は適切か。	[標]廃材運搬費及び廃材処分費の算定方法について I. 1表 備考2 (様式)注記※7
	廃材量	※リ	☐	計算に誤りがないか。	[標]廃材運搬費及び廃材処分費の算定方法について I. 6
	総廃材量	※ヌ	☐	計算に誤りがないか。	同上
	別途 加算				
	基礎杭 ・地盤改良	※ル	☐	基礎の廃材統計値に含まれていない基礎杭等の撤去を要する場合、別途廃材量が算出されているか。	[標]廃材運搬費及び廃材処分費の算定方法について I. 1表 備考7
	建築設備	※ヲ	☐	廃材統計値に含まれていない建築設備がある場合、別途廃材量が算出されているか。	[標]廃材運搬費及び廃材処分費の算定方法について I. 1表 備考8

組成別廃材量(工作物)

チェック項目		No	チェック事項		備考
	所有者氏名・整理番号	※1	☐	記載事項に誤りがないか。その他作成調書類と一致しているか。	
	アスファルトの取扱い	※2	☐	アスファルトの取扱いは適切か。 (標準書は混廃扱いだが、発注者によってはアスファルトとして扱う場合もあるため要確認。)	
	各廃材量	※3	☐	別途算出されている各工作物廃材量の転記に誤りがないか。	
	工作物総廃材量	※4	☐	集計に誤りがないか。端数処理は適切か。	(様式)欄外※注記

廃材量集計表

チェック項目		No	チェック事項		備考
	所有者氏名・整理番号	※1	☐	記載事項に誤りがないか。その他作成調書類と一致しているか。	
	廃材量	I 木造	※2	☐	棟番号に誤りがないか。 別紙(廃材運搬費及び廃材処分費内訳書 I 木造建物)からの各廃材量の転記に誤りがないか。
		II 非木造	※3	☐	棟番号に誤りがないか。 別紙(廃材運搬費及び廃材処分費内訳書 II 非木造建物)からの各廃材量の転記に誤りがないか。
		工作物	※4	☐	工作物区分(附帯工作物・機械設備・生産設備など)の記載に誤りがないか。 別紙(廃材運搬費及び廃材処分費内訳書 工作物)からの各廃材量の転記に誤りがないか。
		小計	※5	☐	集計に誤りがないか。端数処理は適切か。 (様式) 摘要欄および欄外※注記
	廃材量計		※6	☐	集計に誤りがないか。端数処理は適切か。

廃材運搬費

チェック項目		No	チェック事項		備考
	所有者氏名・整理番号	※1	☐	記載事項に誤りがないか。その他作成調書類と一致しているか。	
	廃材量計	※2	☐	別紙(廃材量集計表)からの転記に誤りがないか。	
	台数換算値	※3	☐	基本とする車種は適切か。 車種に応じた適切な積載量が記載されているか。	[標]廃材運搬費及び廃材処分費の算定方法について I. 7 車種別積載量 備考 1
	必要台数	※4	☐	計算に誤りがないか。端数処理は適切か。	[標]廃材運搬費及び廃材処分費の算定方法について I. 7 車種別積載量 備考 3
	認定台数	※5	☐	認定台数に誤りがないか。	[標]廃材運搬費及び廃材処分費の算定方法について I. 7 車種別積載量 備考 4
	認定運搬距離	※6	☐	距離計測資料等が添付されているか。 認定距離に誤りがないか。	
	距離別単価・摘要	※7	☐	車種および運搬距離に応じた単価が適用されているか。	
	廃材運搬費・合計	※8	☐	計算に誤りがないか。	

廃材処分費

チェック項目		No	チェック事項		備考
	所有者氏名・整理番号	※1	☐	記載事項に誤りがないか。その他作成調書類と一致しているか。	
	廃材量計	※2	☐	別紙(廃材量集計表)からの転記に誤りがないか。	
	重量換算値	※3	☐	廃材処分単価が重量あたり単価(円/t)の場合、重量換算値に誤りがないか。	[標]廃材運搬費及び廃材処分費の算定方法について I. 8 重量換算値
	処分数量	※4	☐	計算に誤りがないか。端数処理は適切か(小数点以下第二位(小数点以下第三位四捨五入))。	
	廃材処分単価	※5	☐	廃材単価認定書等が添付されているか。 処分単価に誤りがないか。	
	廃材処分費・合計	※6	☐	計算に誤りがないか。	

廃材運搬費及び廃材処分費内訳書

(1) 組成別廃材量

I 木造建物 ※a(基本事項)

所有者氏名			〇〇 〇〇		整理番号		1	棟番号	A	【住宅部分】	
構造	用途 ※ 1	階層	延床面積 (㎡)	1 階床面積 (㎡)	残地内の 1 階床面積 (㎡)	建築設備の有無 ※ 2	浄化槽の加算 ※ 3	陶器瓦の有無 ※ 4	畳の有無 ※ 4	G L 上部の基礎解体有無 ※ 5	
木造	専用住宅	2	117.92 ㎡	83.77 ㎡	73.85 ㎡	有	便槽・4人用・既製品	有	有	無	

※基礎率適用面積：82.13㎡

組成名		廃材統計値 (㎡)	延床 (㎡)	一階床 (㎡)	基礎の種類による補正 ※ 6	G L 上部の基礎解体 ※ 5	建築設備補正 ※ 2	浄化槽等の加算 ※ 3	残地割合 ※ 7	廃材量 (㎡)	総廃材量 (㎡)	摘要
		① ※イ	② ※ロ	③ ※ハ	④ ※ニ	⑤ ※ホ	⑥ ※ヘ	⑦ ※ト	⑧ ※チ	※リ	※ 8 ※ヌ	
木	く ず	—	0.378	117.92						44.573	44.573	①×②
ガ レ キ 類	基 礎	0.300		※ 82.13	補正率： 1.00 布コンクリート(有筋)	なし 補正率＝			0.88	21.682	24.890	①×③×④×⑧
	基礎以外	0.026	117.92					便槽・4人用・既製品 0.143		—		①×③×④×⑤×(1-⑧)
金 属 く ず	基 礎	0.008		※ 82.13	補正率： 1.00 布コンクリート(有筋)	なし 補正率＝			0.88	0.578	1.521	①×③×④×⑧
	基礎以外	0.008	117.92					便槽・4人用・既製品 —		0.943		①×③×④×⑤×(1-⑧)
ガ ラ ス	—	0.003	117.92							0.353	0.353	①×②
廃 プ ラ	—	0.020	117.92				— 1.00			2.358	2.358	①×②×⑥
混 合 廃 棄 物	—	0.422	117.92				— 1.00	便槽・4人用・既製品 1.153		50.915	50.915	①×②×⑥+⑦
石 膏 ボ ー ド	—	0.038	117.92							4.480	4.480	①×②
陶 器 瓦	—	0.147		83.77						12.314	12.314	①×③
畳	—	0.016	117.92							1.886	1.886	①×②

※1 用途は推定再建築費の積算に適用したものと同様の用途を適用するものとする。
 ※2 用途が工場・倉庫で、建築設備（浄化槽等と除く）の全部が存しない場合は、「無」とする。
 ※3 浄化槽等の撤去義務を課さない場合は、加算しないものとする。
 ※4 陶器瓦・畳が存在する場合は、「有」とする。存在しない場合は「無」とする。
 ※5 地表面（GL）から上の基礎のみを撤去する場合は、「有」とする。
 ※6 基礎の種類を選択するものとする。
 ※7 残地割合：解体を行う一階床面積（残地）/一階床面積（小数点以下第三位を四捨五入）
 ※8 総廃材量は、組成毎に小数点以下第三位（小数点以下第四位切捨て）まで計上する。

※ル(基礎杭・地盤改良)
 ※7(建築設備)

廃材運搬費及び廃材処分費内訳書

(1) 組成別廃材量

I 木造建物

所有者氏名		〇〇 〇〇			整理番号		1	棟番号	A	【車庫部分】	
構造	用途 ※ 1	階層	延床面積 (㎡)	1 階床面積 (㎡)	残地内の 1 階床面積 (㎡)	建築設備の有無 ※ 2	浄化槽の加算 ※ 3	陶器瓦の有無 ※ 4	畳の有無 ※ 4	G L 上部の基礎解体有無 ※ 5	
木造	工場・倉庫	2	41.04 ㎡	41.04 ㎡	—	有	無	有	無	無	

組成名		廃材統計値 (㎡)	延床 (㎡)	一階床 (㎡)	基礎の種類による補正 ※ 6	G L 上部の基礎解体 ※ 5	建築設備補正 ※ 2	浄化槽等の加算 ※ 3	残地割合 ※ 7	廃材量 (㎡)	総廃材量 (㎡) ※ 8	摘要
		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧			
木	く ず	—	0.254	41.04						10.424	10.424	①×②
ガ レ キ 類	基 礎	0.307		41.04	補正率： 1.00 布コンクリート(有筋)	なし 補正率＝	—	—	—	—	1.395	①×③×④×⑧
	基礎以外	0.034	41.04				無	—		1.395		①×③×④×⑤×(1-⑧)
金 属 く ず	基 礎	0.006		41.04	補正率： 1.00 布コンクリート(有筋)	なし 補正率＝	—	—	—	—	0.246	①×③×④×⑧
	基礎以外	0.006	41.04				無	—		0.246		①×③×④×⑤×(1-⑧)
ガ ラ ス	—	0.001	41.04							0.041	0.041	①×②
廃 プ ラ	—	0.008	41.04				— 1.00			0.328	0.328	①×②×⑥
混 合 廃 棄 物	—	0.135	41.04				— 1.00	無	—	5.540	5.540	①×②×⑥+⑦
石 膏 ボ ー ド	—	0.023	41.04							0.943	0.943	①×②
陶 器 瓦	—	0.147		41.04						6.032	6.032	①×③
畳	—	—	—							—	—	①×②

※1 用途は推定再建築費の積算に適用したものと同様の用途を適用するものとする。
 ※2 用途が工場・倉庫で、建築設備（浄化槽等と除く）の全部が存しない場合は、「無」とする。
 ※3 浄化槽等の撤去義務を課さない場合は、加算しないものとする。
 ※4 陶器瓦・畳が存在する場合は、「有」とする。存在しない場合は「無」とする。
 ※5 地表面（GL）から上の基礎のみを撤去する場合は、「有」とする。
 ※6 基礎の種類を選択するものとする。
 ※7 残地割合：解体を行う一階床面積（残地）/一階床面積（小数点以下第三位を四捨五入）
 ※8 総廃材量は、組成毎に小数点以下第三位（小数点以下第四位切捨て）まで計上する。

所有者氏名	※1 ○○ ○○	整理番号	※1 1
-------	-----------------	------	-----------

(1) 組成別廃材量
工作物

廃材組成名 工作物番号	木くず	ガレキ類	金属くず	廃プラ	※2 混合廃棄物	摘 要
附帯工作物 1			0.009			} ※3
附帯工作物 2		1.845				
附帯工作物 3			0.009			
附帯工作物 4		1.956				
附帯工作物 5			0.020			
工作物総廃材量	-	3.80	0.04	-	-	※4

※ 工作物廃材量は、組成毎に小数点以下第二位(小数点以下第三位四捨五入)で計上する。

所有者氏名	※1 ○○ ○○	整理番号	※1 1
-------	----------	------	------

廃材量集計表

単位：m3

廃材組成名		木くず	ガレキ類	金属くず	ガラス	廃プラ	混合廃棄物	石膏ボード	陶器瓦	畳	摘 要
I 木造	※2 A棟(住宅)	44.573	24.890	1.521	0.353	2.358	50.915	4.480	12.314	1.886	小数点以下第三位 (小数点以下第四位切捨て)
	A棟(倉庫)	10.424	1.395	0.246	0.041	0.328	5.540	0.943	6.032	—	
	小計 ※5	55.00	26.29	1.77	0.39	2.69	56.46	5.42	18.35	1.89	小数点以下第二位 (小数点以下第三位四捨五入)
II 非木造	※3										小数点以下第三位 (小数点以下第四位切捨て)
	小計 ※5										小数点以下第二位 (小数点以下第三位四捨五入)
工作物	※4 附帯工作物	—	3.80	0.04	—	—	—	—	—	—	
	小計 ※5		3.80	0.04							
廃材量計① ※6		55.00	30.09	1.81	0.39	2.69	56.46	5.42	18.35	1.89	

※木造、非木造、工作物それぞれの組成毎の総廃材量を計上する。各総廃材量は区分毎に合計して小数点以下第二位(小数点以下第三位四捨五入)で計上する。

所有者氏名	※1	〇〇 〇〇	整理番号	※1	1
-------	----	-------	------	----	---

(2) 廃材運搬費

廃材組成名	※2	※3	※4	※5			認定台数	※6	※7	※8	※7
	廃材量計 ①	台数換算値② (基本4 t)	必要台数 ③=①÷②	④			認定運搬距離 (Km)	距離別単価 ⑤	廃材運搬費 ⑥=④×⑤	摘要	
木くず	55.00	7.2	7.64	—	8	—	5	6,510	52,080	2930170	
				—	—	—					
ガレキ類	30.09	2.7	11.14	—	11	—	5	6,510	71,610	2930170	
				—	—	1		6,460	6,460	2930010	
金属くず	1.81	3.5	0.52	—	1	—	5	6,510	6,510	2930170	
				—	—	—					
ガラス	0.39	4.0	0.10	—	—	1	5	6,460	6,460	2930010	
廃プラ	2.69	10.5	0.26	—	—	1	5	6,460	6,460	2930010	
混合廃棄物	56.46	10.5	5.38	—	5	—	5	6,510	32,550	2930170	
				—	—	1		6,460	6,460	2930010	
石膏ボード	5.42	10.5	0.52	—	1	—	5	6,510	6,510	2930170	
				—	—	—					
陶器瓦	18.35	4.0	4.59	—	5	—	5	6,510	32,550	2930170	
				—	—	—					
畳	1.89	10.5	0.18	—	—	—	5				
				—	—	1		6,460	6,460	2930010	
合計									234,110		

注) 1. 貨物自動車の車種は、4t車を基本とする。ただし、廃材量、現場の状況及び当該地域の道路事情等により、4t車を使用することが適当でないと認められる場合は適切な車種(2t車又は10t車)を認定する。

2. 「必要台数③」については、小数点以下第二位(小数点以下第三位四捨五入)で計上する。

3. 廃材組成毎に運搬台数を認定するものとし、小数点以下に対する貨物自動車は、残量が積載可能な最小の車種を認定する。

(例：貨物自動車を4tと認定し、0.5台未満の端数が生じた場合は2t車1台、0.5台以上の端数が生じた場合は4t車1台とする。)

所有者氏名	※1 ○○ ○○	整理番号	※1 1
-------	-----------------	------	--------

(3) 廃材処分費

廃材組成名	※2 廃材量計 ①	※3 重量換算値 ② (m3/ t)	※4 処分数量 ③=①または①÷②	※5 廃材処分単価 ④	※6 廃材処分費 ⑤=③×④	摘要
木くず	55.00	-	55.00	7,100 円/m3	390,500	
ガレキ類	30.09	0.68	44.25	2,600 円/t	115,050	
金属くず	1.81	-	1.81	5,000 円/m3	9,050	
ガラス	0.39	-	0.39	26,000 円/m3	10,140	
廃プラ	2.69	-	2.69	21,000 円/m3	56,490	
混合廃棄物	56.46	-	56.46	20,400 円/m3	1,151,784	
石膏ボード	5.42	-	5.42	19,700 円/m3	106,774	
陶器瓦	18.35	-	18.35	26,000 円/m3	477,100	
畳	1.89	-	1.89	13,100 円/m3	24,759	
合 計					2,341,647	

木造建物解体直接工事費計算書

チェック項目		No	チェック事項		備考
基本事項	様式	※1	☐	指定の様式(様式第5号)を使用しているか。	建物算定要領 第5条第2項第一号
	建物所有者 整理番号	※2	☐	調査表からの転記に誤りがないか。	
各工事 費共通	出典(コード番号)	※a	☐	適用単価が妥当か。 適用単価の出典に誤りはないか等、記載 内容が適切か。	[標]建物補償標準単価を使用す る際の留意事項について
	単価名称	※b	☐	単価名称に誤りはないか。	
	形状寸法等	※c	☐	規格(形状寸法等)に誤りはないか。	
	単位	※d	☐	単位に誤りはないか。 (適用単価と整合しているか。)	
	単価	※e	☐	単価に誤りはないか。単価補正等がある 場合の端数処理は適切か。	建物算定要領 第7条等
	数量	※f	☐	数量に誤りはないか。端数処理は適切 か。(調査表、建築直接工事費計算書等 と整合しているか。)	
	金額	※g	☐	計算が正しく行われているか。端数処理 は適切か。	建物算定要領 第7条等
	小計	※h	☐	各工事費毎の小計に誤りはないか。	
	直接工事費計	※i	☐	各工事費①～③の集計に誤りはないか。	
解体	全般	※3	☐	事業施行地内の基礎撤去の要否等を確認のうえ、方針に沿った項目・数量が計上されているか。	
			☐	必要項目が適切に計上されているか。	
上屋 解体	上屋解体工事費 (単価適用について)	※4	☐	R5新単価(石綿除去含む)が適用されている場合、新単価適用が妥当か。 (参考)レベル3(みなし含有)あり→R5新単価(石綿除去含む)適用が必ずしも正とは限らないため、要注意のこと。	[標]建物補償標準単価を使用する際の留意事項について(解体工事費(木造用)) 令和5年度損失補償算定標準書の主な改正点「石綿含有成形板及び石綿含有仕上塗材の解体に用いる単価の新規掲載について」

木造建物建築直接工事費計算書

チェック項目		No	チェック事項		備考	
基本事項	様式	※1	☐	指定の様式(様式第9)を使用しているか。		
	所在地・氏名・住所等	※2	☐	調査表からの転記に誤りがないか。		
	整理番号	※3	☐	調査表からの転記に誤りがないか。		
	積算年月日	※4	☐	積算年月日に誤りがないか。 (用調業務の履行期間外になっていないか等、大きな目で確認する。)		
	採用単価		☐	採用する単価の年度に誤りがないか。		
	構造概要	※5	☐	調査表からの転記に誤りがないか。		
	用途	用途(現況)	※6	☐	調査表からの転記に誤りがないか。	
		用途(建築時)		☐	建築時の用途が確認できる資料を総合的に判断し、妥当な用途であるか。(諸率の適用用途に関係する。)	
	軸部	柱の材種	※7	☐	調査表からの転記に誤りがないか。	
		柱の品等		☐	建物の程度等を鑑み、妥当な品等であるか。	木造Q&A 32
		柱の分布	☐	分布タイプの判断基準表に照らし、妥当な分布タイプであるか。(参考)木材等級5等級は、木材費単価に分布タイプが関わらないため記載不要である。	[標]建物補償標準単価を使用する際の留意事項について(木材費)	
		木材費区分	※8	☐	判断基準表に照らし、妥当な木材費区分(等級)であるか。	同上
		労務費区分		☐	判断基準に照らし、妥当な労務費区分であるか。	同上
建物面積	※9	☐	調査表からの転記に誤りがないか。			
各工事費共通	出典(コード番号)	※a	☐	適用単価が妥当か。 適用単価の出典に誤りはないか等、記載内容が適切か。	[標]建物補償標準単価を使用する際の留意事項について	
	単価名称	※b	☐	単価名称に誤りはないか。		
	形状寸法	※c	☐	規格(形状寸法等)に誤りはないか。		
	単位	※d	☐	単位に誤りはないか。 (適用単価と整合しているか。)		
	単価	※e	☐	単価に誤りはないか。単価補正等がある場合の端数処理は適切か。	建物算定要領 第7条等	
	数量	※f	☐	数量に誤りはないか。端数処理は適切か。(調査表、数量計算書等と整合しているか。)		
	金額	※g	☐	計算が正しく行われているか。端数処理は適切か。	建物算定要領 第7条等	
	小計	※h	☐	各工事費毎の小計に誤りはないか。		
	直接工事費計	※i	☐	各工事費[1]～[14]の集計に誤りはないか。		

チェック項目			No	チェック事項	備考
諸率関係	適用範囲			☐ 諸率適用が可能な建物区分及び用途であるか。	木造要領 第2条 数量積算基準 第1
仮設	積算数量		※[1] -1	☐ 積算数量が適切に算出されているか。	
基礎	積算数量		※[2] -1	☐ 積算数量が適切に算出されているか。	
	束石	各面積 面積区分	※[2] -2	☐ 各面積及び面積区分に誤りがないか。	木造Q&A 21,22
		基礎率	※[2] -3	☐ 適切な面積区分に対応した基礎率が採用されているか。	
		束石数量	※[2] -4	☐ 計算及び端数処理が正しく行われているか。 (参考)束石の場合は、面積区分が大きくなる程、基礎率も大きくなる。従って、前欄最高値の補正は生じない。	木造要領 第25,26条
軸部	積算数量		※[3] -1	☐ 積算数量が適切に算出されているか。	
屋根	二階建・急勾配加算		※[4] -1	☐ 二階建部分及び急勾配屋根の場合、屋根葺材に応じた適切な加算が行われているか。	[標]建物補償標準単価を使用する際の留意事項について(屋根工事)
内外壁	下地		※[6] -1	☐ 下地材の構成が適切か。	[標]仕上げ別下地材適応表
	荒壁下地の場合			☐ 荒壁下地(小舞下地)の場合、片面・両面に応じた適切な単価構成であるか。	[標]建物補償標準単価を使用する際の留意事項について(左官工事)

積算数量認定表(任意様式)

チェック項目			No	チェック事項		備考
	積算数量認定表		※1	☐	要領等による規定様式ではないが、採用する諸率(積算数量)を認定する表が作成されている場合、各記載項目を確認のうえ、適切な諸率(積算数量)が適用されているか確認する。 ※この様な認定表を用いず、直接工事費計算書で認定を行う場合も同様に各チェック項目を確認する。	数量積算基準 第2～5
	適用範囲			☐	諸率適用が可能な建物区分及び用途であるか。	木造要領 第2条 数量積算基準 第1
仮設面積	基本	延床面積	※2	☐	延床面積に誤りがないか。	
		規模補正率	※3	☐	延床面積(面積区分)に対応した適切な補正率が適用されているか。	数量積算基準 第3第一号
		形状補正率	※4	☐	外壁面数に対応した適切な補正率が適用されているか。	数量積算基準 第3第二号
	増築建物および複合用途の場合		※5	☐	築年次が異なる建物が接合している場合(増築建物)、又は2以上の用途に区分される建物の場合(複合用途)、一体の建物としての面積区分に対応した補正率が適用されているか。	数量積算基準 第3第三号 木造Q&A 13
	仮設工事面積		※6	☐	計算及び端数処理が正しく行われているか。	木造要領 第25,26条
	積算数量の認定		※7	☐	前欄最高値と比較のうえ、積算数量が適切に認定されているか。	数量積算基準 第2 木造Q&A 112
	布基礎長	基本	用途	※8	☐	基礎率の適用用途が適切であるか。
各面積			※9	☐	1階床面積(面積区分)及び対象面積(基礎率適用面積)に誤りがないか。	
基礎率			※10	☐	用途及び面積区分に対応した適切な基礎率が適用されているか。	数量積算基準 第4
複合用途の場合		※11	☐	1階が2以上の用途に区分されている場合(複合用途)、一体の建物としての面積区分に対応した基礎率が適用されているか。	数量積算基準 第4第2項 木造Q&A 20	
基礎種類が異なる場合		※12	☐	一つの用途の場合において基礎の種類が異なる場合、その種類ごとに適切な基礎率が適用されているか。	数量積算基準 第4第3項 木造Q&A 25	
増築建物の場合		※13	☐	築年次が異なる建物が接合している場合(増築建物)、一体の建物としての面積区分に対応した基礎率が適用されているか。	数量積算基準 第4第5項	
基礎長		※14	☐	計算及び端数処理が正しく行われているか。	木造要領 第25,26条	
積算数量の認定		※15	☐	前欄最高値と比較のうえ、積算数量が適切に認定されているか。	数量積算基準 第2 木造Q&A 112	

チェック項目			No	チェック事項		備考
木材 材積量	基本	用途	※16	☐	木材材積率の適用用途が適切であるか。	数量積算基準 第1
		各面積	※17	☐	延床面積(面積区分)及び対象面積(材積率適用面積)に誤りがないか。	
		柱径・柱長	※18	☐	調査表に照らし、誤りがないか。	
		係数 (木材材積率)	※19	☐	用途、柱径、柱長及び面積区分に対応した適切な木材材積率が適用されているか。	
	複合用途の場合		※20	☐	併用住宅である場合(複合用途)又は現状一つの用途であるが建築時に異なる用途で建築されている場合、一体の建物としての面積区分に対応した木材材積率が適用されているか。	数量積算基準 第5第2項 木造Q&A 36
	柱長が異なる場合		※21	☐	1階と2階の柱長が異なる場合、延べ床面積に対応した適切な木材材積率が適用されているか。	数量積算基準 第5第3項 木造Q&A 35
	増築建物の場合		※22	☐	築年次が異なる建物が接合している場合(増築建物)、一体の建物としての面積区分に対応した木材材積率が適用されているか。	数量積算基準 第5第5項
	補正	柱径	※23	☐	柱径に応じた適切な補正率が適用されているか。	数量積算基準 第5第4項第一号 木造Q&A 37,39
		柱長	※24	☐	柱長に応じた適切な補正率が適用されているか。	数量積算基準 第5第4項第二号 木造Q&A 38,39
		施工状況	※25	☐	施工状況に応じた補正要否判断による適切な補正率が適用されているか。	数量積算基準 第5第4項第三号 木造Q&A 39,40
	木材材積量		※26	☐	計算及び端数処理が正しく行われているか。	木造要領 第25.26条
	積算数量の認定		※27	☐	前欄最高値と比較のうえ、積算数量が適切に認定されているか。	数量積算基準 第2 木造Q&A 112

単価表

チェック項目		No	チェック事項		備考
基本事項	単価表	※1	☐	標準単価表に掲載のない単価を別途求めている場合、補償標準単価作成要領に準じた適切な単価であるか確認する。(規定の様式はないため、歩掛単価資料、単価補正、端数処理等、必要事項が網羅できているかの視点での確認が必要になる。)	[標]建物補償標準単価作成要領 木造Q&A 106
単価内訳	コード	※2	☐	標準書コード、その他出典に漏れや誤りはないか。	
	単価名称	※3	☐	名称に誤りや漏れはないか。	
	規格	※4	☐	規格(仕様・形状寸法)に誤りはないか。	
	単位	※5	☐	単位に誤りはないか。	
	数量	※6	☐	数量に誤りはないか。端数処理は適切か。	木造要領 第26条
	損率	※7	☐	(主に撤去単価の場合) 損率に誤りはないか。	[標]工作物補償標準単価作成要領 5等
	単価	※8	☐	単価に誤りはないか。単価補正等がある場合の端数処理は適切か。	建物算定要領 第7条等
	金額	※9	☐	計算が正しく行われているか。端数処理は適切か。	建物算定要領 第7条等
	計算式[数量]	※10	☐	(別途、単価表の数量計算書による場合あり) 計算式は適切か。計算および端数処理は適切か。	木造要領 第25条
	計算式[単価]	※11	☐	計算式は適切か。計算および端数処理は適切か。	建物算定要領 第7条等 [標]建物補償標準単価作成要領
	摘要	※12	☐	適用単価および歩掛等の出典に誤りはないか等、記載内容が適切か。	
作成単価	単価番号・名称 規格・単位	※a	☐	各内容に誤りがないか。	
	単価	※b	☐	端数処理は適切か。	建物算定要領 第7条等
全般	単価の端数処理		☐	発注者独自のルールを定めている場合が稀にあるため、要確認のこと。 (按分単価は端数処理を行わない等)	

木造建物解体直接工事費計算書

建 物 所 有 者		※2 ○○ ○○			整 理 番 号		※2 1 A棟	
-----------	--	-----------------------------	--	--	---------	--	----------------------------	--

解 体 工 事 費		※1 1,643,572					
-----------	--	---------------------------------	--	--	--	--	--

○○工事費 【各工事費共通】						計		※h ○○○	
出典 (コード番号)	単 価 名 称	形 状 寸 法 等	単 位	単 価	数 量	金 額			
※a 2900000	※b ○○○	※c ○○○	※d ○	※e ○○○	※f ○○○	※g ○○○			

※3 工 種		計 算 内 訳					解体直接工事費	
--	--	--	--	--	--	--	---------	--

※4 ① 上屋解体工事費						① 計		1, 177, 154	
出典 (コード番号)	単 価 名 称	形 状 寸 法 等	単 位	単 価	数 量	金 額			
2910110	木造建物手機械併用こわし	住宅・(仮設養生共)・(廃材積込含)	m2	7, 710	117. 92	909, 163			
2910130	木造建物手機械併用こわし	工場・倉庫・(仮設養生共)・(廃材積込含)	m2	6, 530	41. 04	267, 991			

②- 1 基礎撤去費（布基礎）						② 計		349, 472	
出典 (コード番号)	単 価 名 称	形 状 寸 法 等	単 位	単 価	数 量	金 額			
2910160	木造布基礎解体	CF03・機械掘・(積込共)	m	4, 780	70. 90	338, 902			
				残地面積73. 85×基礎率0. 96=70. 896					

②- 2 基礎撤去費（東石）									
出典 (コード番号)	単 価 名 称	形 状 寸 法 等	単 位	単 価	数 量	金 額			
2910690	東石(ブロック)解体	TS02・(積込共)	ヶ所	130	33. 23	4, 319			
				残地面積73. 85×基礎率0. 45=33. 232					

②- 3 基礎撤去費（べた基礎）									
出典 (コード番号)	単 価 名 称	形 状 寸 法 等	単 位	単 価	数 量	金 額			

②- 4 基礎撤去費（独立基礎）									
出典 (コード番号)	単 価 名 称	形 状 寸 法 等	単 位	単 価	数 量	金 額			
2910630	独立基礎解体	IF03・機械掘・(積込共)	ヶ所	5, 980	1. 00	5, 980			

②- 5 基礎撤去費（土間コンクリート）									
出典 (コード番号)	単 価 名 称	形 状 寸 法 等	単 位	単 価	数 量	金 額			
2900450	土間コンクリート解体	厚60mm・無筋・DC01・(積込共)	m2	460	0. 59	271			

③ 建築設備等解体工事費						③ 計		116, 946	
出典 (コード番号)	単 価 名 称	形 状 寸 法 等	単 位	単 価	数 量	金 額			
2921950	テレビアンテナ[撤去A]	VHF・UHF併設・軒先他設置	基	38, 500	1. 00	38, 500			
2921420	塩ビ製パイプインバート桝・[撤去B]	φ 150mm・機械掘・深300mm	ヶ所	1, 450	2. 00	2, 900			
2921430	塩ビ製パイプインバート桝・[撤去B]	φ 150mm・機械掘・深450mm	ヶ所	1, 540	5. 00	7, 700			
2921740	便槽・[撤去B]	4人用・既製品・(汲取清掃別途)	基	23, 500	1. 00	23, 500			
2900450	土間コンクリート解体	厚60mm・無筋・DC01・(積込共)	m2	460	4. 99	2, 295			
2900500	土間コンクリート解体	厚120mm・有筋・DC13・(積込共)	m2	930	0. 27	251			
積資P926	汲取清掃費	水槽容量10m3以下	回	41, 800	1. 00	41, 800			

木造建物建築直接工事費計算書

※1
様式第9

	所在地		〇〇県〇〇市〇〇1-2-3			※3	整理番号	1 A棟	
※2	建物所有者		〇〇 〇〇	電話	00-	※4	積算年月日	令和〇年〇月〇日	
	法人代表者				000-0000		採用単価	令和4年度	
	所有者住所		〇〇県〇〇市〇〇1-2-3			※6	用途(現況)	専用住宅	
※5	構造概要		木造2階建				用途(建築時)	専用住宅	
※7	柱の材種	スギ	品等	小節	柱の分布	[B]	※8	木材費区分	3等級
※9	建物面積	1階床面積 124.81 m ²	2階床面積 34.15 m ²		延床面積 158.96 m ²		労務費区分	〔Ⅲ〕	
※i	直接工事費 計								
	30,778,988								

〔〇〕 〇〇工事費 【各工事費共通】						※h	小 計	〇〇〇					
※a	出典 (コード番号)	※b	単 価 名 称	※c	形 状 寸 法	※d	単 位	※e	単 価	※f	数 量	※g	金 額
	0000000		〇〇〇		〇〇〇		〇		〇〇〇		〇〇〇		〇〇〇

工 種	計 算 内 訳										直 接 工 事 費	
〔1〕 仮設工事費										小 計	1,957,152	
延床面積 A			規模補正率 B			建物形状補正率 C			仮設工事面積 A×B×C=D			
158.96			0.90			1.20			171.676		※〔1〕-1 認定表参照	
出 典 (コード番号)	単 価 名 称	形 状 寸 法				単 位	単 価	仮設工事面積		金 額		
2020010	仮設工事費(A)	(防災防止シート)・仮設材運搬共				延m ²	11,400	171.68		1,957,152		
〔2〕 基礎工事費										小 計	1,889,406	
①-a 布基礎										① 計	1,627,340	
面積区分	用途	略記号	1階床面積 A			基礎率 B			基礎長 A×B=C			
IV	専用住宅	CF03	82.13			0.96			78.844		※〔2〕-1 認定表参照	
IV	工場・倉庫	CF03	41.04			0.49			20.109		認定表参照	
出 典 (コード番号)	単 価 名 称	形 状 寸 法				単 位	単 価	基礎長 計		金 額		
2150030	布コンクリート(有筋)	A1=300mm・B1=120mm・(CF03)・機械掘				m	15,200	98.95		1,504,040		
①-b 布基礎仕上げ												
出 典 (コード番号)	単 価 名 称	形 状 寸 法				単 位	単 価	基礎外周長		金 額		
2151360	布基礎モルタル刷毛仕上げ	高さ300mm				m	2,000	61.65		123,300		
② 束石										② 計	73,920	
1階床面積 A			束無面積 B		A-B=C	面積 区分	基礎率 D	束石数量 C×D				
123.17			※〔2〕-2 41.04		82.13	Ⅲ	※〔2〕-3 0.45	※〔2〕-4 36.958				
出 典 (コード番号)	単 価 名 称	形 状 寸 法				単 位	単 価	束石数量 計		金 額		
2150580	束石(フロック)	180mm×200mm×200mm・(TS02)・機械掘				ヶ所	2,000	※〔2〕-4 36.96		73,920		
④ 独立基礎										④ 計	11,800	
出 典 (コード番号)	単 価 名 称	形 状 寸 法				単 位	単 価	独立基礎数		金 額		
2150500	独立基礎[コンクリート]	A1=300mm・B1=150mm・角四角錐・(IF03)・機械掘				ヶ所	11,800	1.00		11,800		
⑤ 土間コンクリート										⑤ 計	176,346	
出 典 (コード番号)	単 価 名 称	形 状 寸 法				単 位	単 価	施工面積		金 額		
2170010	土間コンクリート叩き	厚60mm・無筋・(DC01)・すき取り・不用土処分共				m ²	2,070	3.31		6,851		
2170050	土間コンクリート叩き	厚90mm・有筋・(DC12)・すき取り・不用土処分共				m ²	4,130	41.04		169,495		

〔3〕 軸部工事費									小 計	7,894,322
① 軸部木材費									① 計	1,541,050
延床区分	用途	柱径	柱長	延床面積 A	木材材積率 B	柱径補正率	柱長補正率	施工状況補正率	木材材積量 A×B	
V	専用住宅	105mm	3.0m	158.96 m²	0.16	－	－	－	18.867	※〔3〕-1 認定表参照
V	工場・倉庫	105mm	3.0m	158.96 m²	0.13	－	－	0.82	4.374	認定表参照
出典 (コード番号)	単 価 名 称	形 状 寸 法				単 位	単 価	木材材積量 計		金 額
2310090	木材費	3等級・[B]				m3	67,100	18.87		1,266,177
2310120	木材費	4等級・[B]				m3	62,900	4.37		274,873
② 労務費（大工手間等）									② 計	6,353,272
出典 (コード番号)	単 価 名 称	形 状 寸 法				単 位	単 価	延床面積	金 額	
2350030	労務費	専用・共同住宅[Ⅲ]				延m2	47,300	117.92	5,577,616	
2350140	労務費	工場・倉庫[Ⅳ]				延m2	18,900	41.04	775,656	
〔4〕 屋根工事費									小 計	1,473,037
出典 (コード番号)	単 価 名 称	形 状 寸 法				単 位	単 価	施工面積	金 額	
2410040	日本瓦葺	ゆう葉瓦・標準色（銀黒）・野地板を除く下地共・（平家）				m2	8,600	164.38	1,413,668	
※〔4〕-1 2410050	日本瓦葺	二階部分加算				m2	1,000	46.86	46,860	
2410160	カラー鉄板平板葺	厚0.4mm・四つ切り・野地板を除く下地共・（平家）				m2	4,830	2.59	12,509	
〔5〕 外壁工事費									小 計	3,237,158
出典 (コード番号)	単 価 名 称	形 状 寸 法				単 位	単 価	施工面積	金 額	
2630650	外装・サイディング張	厚15mm・金属系・カラー鋼板・縦張・下地別途				m2	13,600	215.34	2,928,624	
2640370	断熱材張	厚50mm・密度24kg/m²ガラスウール系・一般用				m2	1,120	153.57	171,998	
2460650	天井・プリント合板張	厚2.3mm・下地組別途				m2	5,970	8.75	52,237	
2640150	天井・化粧スレートボード	厚4mm・軒天用・目透張・下地別途				m2	3,760	22.42	84,299	
〔6〕 内壁工事費									小 計	1,361,655
出典 (コード番号)	単 価 名 称	形 状 寸 法				単 位	単 価	施工面積	金 額	
2450310	内壁・モルタル塗金ごて	厚20mm				m2	4,900	0.84	4,116	
2450040 （下地）	メタルス（平）張	※〔6〕-1				m2	1,210	0.84	1,016	
2451060 （下地）	メタルス下地こすり					m2	1,700	0.84	1,428	
2450530	新京壁（じゅらく）	下地別途				m2	5,050	148.04	747,602	
2450120 （下地）	石こうラスボード張	厚9.5mm・直張				m2	1,570	148.04	232,422	
2460380	外壁・羽目板張	杉・厚15mm・胴縁組別途				m2	5,060	3.52	17,811	
2631190	壁・ビニルクロス張	並・下地別途				m2	1,340	86.46	115,856	
2630760 （下地）	壁・せっこうボード張	厚9.5mm・準不燃・突付張・下地別途				m2	1,880	86.46	162,544	
2460490	壁・しな合板張	厚4mm・軸組別途				m2	3,460	2.02	6,989	
2460430	壁・ワラ合板張	厚9mm・1類・軸組別途				m2	3,830	2.57	9,843	
2460510	壁・プリント合板張	厚2.3mm・軸組別途				m2	5,970	10.39	62,028	
〔7〕 床工事費									小 計	1,350,333
出典 (コード番号)	単 価 名 称	形 状 寸 法				単 位	単 価	数 量	金 額	
2450130	床・モルタル塗	厚30mm				m2	2,950	43.52	128,384	
2630045	床・複合フローリング張	厚12mm・無塗装・ぶな・下地別途				m2	10,700	0.83	8,881	
2630010	床・フローリングボード張	厚15mm×乱尺・ぶな・1等・下地別途				m2	11,200	29.96	335,552	
2630380	タタ敷	五八・綿引・並・下地別途				枚	14,200	38.00	539,600	

出典 (コード番号)	単価名称	形状寸法	単位	単価	数量	金額
2460270 (下地)	床・板張	杉・厚12mm・(荒床板)・床組別途	m2	3,440	62.70	215,688
		38.00枚×1.65㎡/枚=62.70㎡				
2460260	床・しな合板張	厚5.5mm・(押入床)・床組別途	m2	3,010	1.64	4,936
2630200	床・ビニールシート張	厚1.8mm・クッションシート・下地別途	m2	2,440	1.24	3,025
2460200 (下地)	床・ラワン合板張	厚12mm・2類・床組別途	m2	3,640	1.24	4,513
2640610	床・断熱材張	厚20mm・ホースレンフォーム	m2	1,410	77.84	109,754
〔 8 〕 天井工事費					小 計	568,196
出典 (コード番号)	単価名称	形状寸法	単位	単価	施工面積	金額
2640250	天井・吸音板張	厚9.5mm・化粧穴あきせつこう系・直張・下地別途	m2	2,530	10.97	27,754
2460700	和室天井	杉桤(ハリ天)・数目	m2	4,400	78.38	344,872
2640300	天井・ビニールクロス張	並・下地別途	m2	1,440	9.94	14,313
2640050 (下地)	天井・せつこうボード張	厚9.5mm・準・突付張・下地別途	m2	1,880	9.94	18,687
2640360	浴室天井板張	準不燃・下地別途	m2	16,300	1.66	27,058
2451080	天井・繊維壁塗	ラスボード共	m2	5,840	1.09	6,365
2640370	断熱材張	厚50mm・密度24kg/㎡グラスウール系・一般用	m2	1,120	115.31	129,147
〔 9 〕 開口部工事費					小 計	3,265,739
① 金属製建具					① 計	1,590,406
出典 (コード番号)	単価名称	形状寸法	単位	単価	数量	金額
2540180	アルミサッシ・(AB)・[FL・厚3mm]	大きさ区分Ⅱ・網戸無	m2	31,100	4.29	133,419
2540250	アルミサッシ・(AB)・[FL・厚3mm]	大きさ区分Ⅰ・網戸付	m2	70,100	0.57	39,957
2540260	アルミサッシ・(AB)・[FL・厚3mm]	大きさ区分Ⅱ・網戸付	m2	35,300	14.96	528,088
2540280	アルミサッシ・(AC)・[FL・厚3mm]	大きさ区分Ⅱ・網戸付・雨戸鏡板有	m2	56,500	12.54	708,510
2540320	アルミサッシ・(AE)・[FL・厚3mm]	大きさ区分Ⅱ・網戸付・面格子付	m2	50,400	3.58	180,432
② 木製建具					② 計	884,600
出典 (コード番号)	単価名称	形状寸法	単位	単価	数量	金額
2510030	フラッシュ戸	大きさ区分Ⅰ・並	枚	20,800	4.00	83,200
2510120	ガラス戸[FL・厚3mm]	大きさ区分Ⅰ・並	枚	56,500	1.00	56,500
2510260	障子	大きさ区分Ⅰ・並	枚	19,900	16.00	318,400
2510350	ふすま	大きさ区分Ⅰ・並	枚	15,100	17.00	256,700
2510410	ふすま	大きさ区分Ⅲ・天袋・地袋用・並	枚	8,490	20.00	169,800
③ その他					③ 計	790,733
出典 (コード番号)	単価名称	形状寸法	単位	単価	数量	金額
2530730	アコーデイオンカーテン	並	m2	5,040	1.45	7,308
2540090	玄関アルミ引戸(PW)	ランマ付・並	ヶ所	200,100	1.00	200,100
2540330	アルミドア(勝手口)	幅760mm×高さ1,811mm・ランマ無	ヶ所	44,500	2.00	89,000
2540440	アルミ出窓	台所用	m2	152,100	1.28	194,688
2540440	アルミ出窓	台所用	m2	152,100	1.97	299,637
〔 1 0 〕 造作工事費					小 計	1,242,640
出典 (コード番号)	単価名称	形状寸法	単位	単価	数量	金額
代価 1	天袋・(建具除く)	幅910mm・内装しな合板	ヶ所	9,000	1.00	9,000
単価補正1	彫刻欄間・[既製品]	長さ1,365mm×幅300mm×厚18mm	枚	27,000	2.00	54,000

出典 (コード番号)	単価名称	形状寸法	単位	単価	数量	金額
2471180	カーテンレール	ダブル・1.8m程度・スチール製	組	6,860	5.00	34,300
2471360	カーテンレール	ダブル・2.7m程度・スチール製	組	9,950	3.00	29,850
2540520	アルミ窓手摺	幅1,916mm(6尺用)高さ500mm	ヶ所	27,600	1.00	27,600
2650020	床の間・[ユニット]	間口1,820mm×奥行き910mm・床の間内塗壁を含む	ヶ所	222,600	1.00	222,600
2650040	仏間	間口910mm×奥行き910mm・仏間内塗壁を含む	ヶ所	76,500	1.00	76,500
2650200	造付洋タンス・ダブル型	幅840mm×高さ1,740mm×奥行き870mm	ヶ所	72,200	1.00	72,200
2650310	箱型直階段	集成材タイプ・手摺除く	ヶ所	185,400	1.00	185,400
2650410	手摺・壁直付	丸型・径45mm・横付	m	6,420	4.50	28,890
2650450	下駄箱・(和風タイプ)	幅400mm×長さ1,500mm×高さ850mm程度	ヶ所	162,600	1.00	162,600
2650540	押入れ・(建具除く)	幅910mm・中棚無・天袋付・内装しな合板	ヶ所	38,900	1.00	38,900
2650630	押入れ・(建具除く)	幅1,820mm・中棚無・天袋無・内装しな合板	ヶ所	44,700	1.00	44,700
2650660	押入れ・(建具除く)	幅1,820mm・中棚無・天袋付・内装しな合板	ヶ所	59,800	4.00	239,200
2670360	木製箱庇・(平鉄板葺)	幅1,820mm×奥行き360mm・裏板けい酸カルシウム板EP仕上げ	ヶ所	16,900	1.00	16,900
〔11〕 樋工事費					小計	187,575
出典 (コード番号)	単価名称	形状寸法	単位	単価	数量	金額
2470470	軒樋	径105mm・塩ビ製・半円・受金物共	m	2,000	44.92	89,840
2470510	竪樋	径60mm・塩ビ製・丸型・受金物共	m	2,250	33.66	75,735
2470660	集水器[じょうご]	100mm・105mm用・塩ビ製	ヶ所	2,200	10.00	22,000
〔12〕 塗装工事費					小計	241,353
出典 (コード番号)	単価名称	形状寸法	単位	単価	延床面積	金額
2680060	塗装工事	専用・共同住宅(和室主体用)	延m2	1,650	117.92	194,568
2680090	塗装工事	工場・倉庫	延m2	1,140	41.04	46,785
〔13〕 建築設備工事費					小計	4,973,985
① 電気設備					① 計	1,499,170
出典 (コード番号)	単価名称	形状寸法	単位	単価	数量	金額
2710150	換気扇	羽根径300mm・(台所用)	ヶ所	25,600	2.00	51,200
2710180	換気扇	羽根径250mm・(居室用・格子)	ヶ所	22,200	1.00	22,200
2710490	テレビアンテナ	VHF・UHF併設・軒先他設置・端末整合器2	基	255,600	1.00	255,600
2710521	電話用屋内配線管	配管・ボックス類・差込口1ヶ所当たり・木造用	ヶ所	17,400	1.00	17,400
2710650	チャイム設備	チャイム・押釦・配線共	ヶ所	13,400	1.00	13,400
2711280	照明器具	住居系・共同住宅系・並	ヶ所	41,600	15.00	624,000
2711340	照明器具	工場系・倉庫系・並	ヶ所	15,700	1.00	15,700
2711405	分電盤	コンパクト型分岐ブレーカ・7回路・幹線含む	ヶ所	114,000	1.00	114,000
2711600	スイッチ	埋込・1連	ヶ所	4,890	5.00	24,450
2711610	スイッチ	埋込・2連	ヶ所	5,900	1.00	5,900
2711620	スイッチ	埋込・3連	ヶ所	6,920	1.00	6,920
2711660	スイッチ	露出・1連	ヶ所	1,740	1.00	1,740
2711720	コンセント	埋込・1口	ヶ所	4,900	3.00	14,700
2711730	コンセント	埋込・2口	ヶ所	5,920	12.00	71,040
2711750	コンセント	露出・1口	ヶ所	1,700	3.00	5,100
2711760	コンセント	露出・2口	ヶ所	1,760	1.00	1,760

出典 (コード番号)	単価名称	形状寸法	単位	単価	数量	金額
2711780	コンセント	防水型	ヶ所	4,230	3.00	12,690
2720200	電灯配線配管設備 (木造)	住居系・付属品共・(器具含まず)	ヶ所	4,710	47.00	221,370
2720230	電灯配線配管設備 (木造)	工場・倉庫系・付属品共・(器具含まず)	ヶ所	10,000	2.00	20,000
② ガス設備					② 計	11,075
出典 (コード番号)	単価名称	形状寸法	単位	単価	数量	金額
2770010	ガス栓取付	プロパンガス用・1口カラン	ヶ所	5,210	1.00	5,210
2770100	ガス管	プロパンガス用・15A	m	3,450	1.70	5,865
③ 給水・給湯設備					③ 計	523,596
出典 (コード番号)	単価名称	形状寸法	単位	単価	数量	金額
代価 2	量水器	φ13mm	ヶ所	26,600	1.00	26,600
2740090	混合水栓	φ13・15mm用	栓	11,200	1.00	11,200
2740110	シンク用レバー混合水栓	φ13・15mm用	栓	25,100	1.00	25,100
2740160	水抜栓	φ13mm用	ヶ所	35,100	1.00	35,100
2740880	石油給湯機	屋外設置型・無煙突タイプ	基	198,600	1.00	198,600
2750300	屋内給水(湯)配管	木造建物	栓	20,200	6.00	121,200
2760220	屋外給水配管	φ13mm・硬質塩ビ管・継手・機械掘・深さ300mm	m	1,780	38.20	67,996
2761410	屋外水栓柱	塩ビ製・高さ840mm・横水栓付	ヶ所	12,600	3.00	37,800
④ 排水設備					④ 計	539,000
出典 (コード番号)	単価名称	形状寸法	単位	単価	数量	金額
2810100	屋内排水配管	木造建物	栓	26,700	6.00	160,200
2820150	屋外排水配管	φ150mm・硬質塩ビ管・機械掘・平均深さ450mm	m	12,600	25.90	326,340
2822260	塩ビ製パイプインポート 桧	φ150mm・45° 90° 曲り・機械掘・深300mm	ヶ所	7,230	1.00	7,230
2822270	塩ビ製パイプインポート 桧	φ150mm・45° 90° 合流・機械掘・深300mm	ヶ所	7,720	1.00	7,720
2822280	塩ビ製パイプインポート 桧	φ150mm・ストレート・機械掘・深450mm	ヶ所	7,310	2.00	14,620
2822290	塩ビ製パイプインポート 桧	φ150mm・45° 90° 曲り・機械掘・深450mm	ヶ所	7,310	1.00	7,310
2822300	塩ビ製パイプインポート 桧	φ150mm・45° 90° 合流・機械掘・深450mm	ヶ所	7,790	2.00	15,580
⑤ 衛生設備					⑤ 計	1,265,500
出典 (コード番号)	単価名称	形状寸法	単位	単価	数量	金額
2830130	システムバス	幅1,600mm×奥行き1,600mm	基	875,300	1.00	875,300
2830210	洗面化粧ユニット	幅750mm・シンク用レバー混合水栓・化粧鏡付	ヶ所	99,100	1.00	99,100
2830261	水洗洋風便器・(腰掛式)	手洗付密結形ロータンク	ヶ所	95,100	1.00	95,100
2830290	温水洗浄式便座	便座保温・温風乾燥なし	ヶ所	97,100	1.00	97,100
2830370	非水洗半底便器		ヶ所	39,600	1.00	39,600
2830460	便槽・(既製品)	φ700mm×高さ1,000mm・4人用	基	59,300	1.00	59,300
⑥ 厨房設備					⑥ 計	204,080
出典 (コード番号)	単価名称	形状寸法	単位	単価	数量	金額
単価補正2	コンロ台	幅1,000mm×奥行き543mm×高さ623mm	ヶ所	37,700	1.00	37,700
2780010	流し台	幅1,050mm×奥行き550mm×高さ800mm	ヶ所	52,300	1.00	52,300
2780030	流し台	幅1,500mm×奥行き550mm×高さ800mm	ヶ所	72,300	1.00	72,300
2780180	換気扇フード	台所用	ヶ所	23,000	1.00	23,000
2780240	ウェザーカー・羽根径200mm用	鋼板製・幅300mm×奥行き270mm×高さ300mm	ヶ所	6,260	3.00	18,780

⑦ その他設備					⑦ 計	931,564
出典 (コード番号)	単価名称	形状寸法	単位	単価	数量	金額
2850030	セパレート型・エアコン	暖冷房除湿型・冷房能力2.2kw	台	243,400	1.00	243,400
2850050	セパレート型・エアコン	暖冷房除湿型・冷房能力2.8kw	台	294,000	2.00	588,000
2850430	灯油タンク設備	タンク容量200ℓ・基礎付	台	95,100	1.00	95,100
2850490	給油銅管配管・(屋内)	外径8mm 肉厚0.6mm	m	2,110	2.40	5,064
〔14〕 建物付随工作物工事費					小計	1,136,437
出典 (コード番号)	単価名称	形状寸法	単位	単価	数量	金額
2170010	土間コンクリート叩き	厚60mm・無筋・(DC01)・すき取り・不用土処分共	m2	2,070	26.27	54,378
2170030	土間コンクリート叩き	厚120mm・無筋・(DC03)・すき取り・不用土処分共	m2	3,900	1.81	7,059
2880120	アルミ物干台・(屋根置)	面積6.00㎡以上・物干金物付	m2	85,900	8.60	738,740
2880180	物干台屋根・(加算)	面積6.00㎡以上・アクリルパネル	m2	39,100	8.60	336,260

積算数量認定表（任意様式）※1

仮設工事面積※5

区分	延床面積 (㎡)	規模補正率	形状補正率	仮設工事面積 (㎡)	認定値 (㎡)
当該建物	※2 158.96	※3 0.90	※4 1.20	※6 ○ 171.676	※6, 7 171.68
比較建物	129.99	1.00	1.20	× 155.988	

布基礎長※11, 12, 13

区分	用途	1階床面積 (㎡)	基礎率	対象面積 (㎡)	基礎長 (m)
当該建物	※8 専用住宅	※9 123.17	※10 0.96	※9 82.13	※14 78.844
	工場・倉庫	123.17	0.49	41.04	20.109
(基礎伏図ヨ)82.13+41.04=123.17				計	○ 98.953

区分	用途	1階床面積 (㎡)	基礎率	対象面積 (㎡)	基礎長 (m)
比較建物	専用住宅	99.99	1.04	(※1) 66.67	69.336
	工場・倉庫	99.99	0.56	(※2) 33.32	18.659
計					× 87.995

認定表	基礎長計 (m)	認定値 (m)
	98.953	※14, 15 98.95

木材材積量※20, 21, 22

区分	階層	用途	延床面積	対象面積 (㎡)	柱径	柱長	係数	柱径 補正率	柱長 補正率	施工状況 補正率	材積量 (㎡)
当該建物	1・2	※16 専用住宅	158.96	※17 117.92	105	※18 3.00	※19 0.16	※23 -	※24 -	※25 -	※26 18.867
	1	工場・倉庫	158.96	41.04	105	3.00	0.13	-	-	0.82 [**]	4.374
計											○ 23.241

区分	階層	用途	延床面積	対象面積 (㎡)	柱径	柱長	係数	柱径 補正率	柱長 補正率	施工状況 補正率	材積量 (㎡)
比較建物	1・2	専用住宅	129.99	96.43 (※3)	105	3.00	0.18	-	-	-	17.357
	1	工場・倉庫	129.99	33.56 (※4)	105	3.00	0.14	-	-	0.82	3.852
計											× 21.209

認定表	材積量計 (㎡)	認定値 (㎡)
	23.241	※26, 27 23.24

- (※1) 82.13 ÷ 123.17 × 99.99 ≒ 66.67
- (※2) 99.99 − 66.67 = 33.32
- (※3) 117.92 ÷ 158.96 × 129.99 ≒ 96.43
- (※4) 129.99 − 96.43 = 33.56

[**] 施工状況補正率 = 1 − (床(0.05)+間仕切壁(0.1)+天井(0.03)) = 0.82

単価表(任意様式) ※1

令和4年度算定 No. 1[illegible]

単価補正表(任意様式)

[illegible]

木造建物調査表

チェック項目		No	チェック事項		備考
基本事項	様式	※1	☐	指定の様式(様式第1)を使用しているか。	
	所在地・氏名・住所	※2	☐	住所、氏名及び所在地が住民票、登記簿等の公的書類、その他作成調書類と一致しているか。	
	電話番号	※3	☐	その他作成調書類と一致しているか。 (居住者調査表、営業調査総括表等)	
	整理番号	※4	☐	その他作成調書類と一致しているか。	
	調査年月日等		☐	図面等に照らし、不整合等の箇所がないか。	
建物概要	構造概要・用途	※5	☐	構造用途に誤りがないか。 その他作成調書類と一致しているか。	
	建物面積		☐	各面積に誤りがないか。 その他作成調書類と一致しているか。	
	建築年月	※6	☐	建物登記簿のほか、建築確認申請書控、固定資産税課税台帳等の公的資料及び工事請負契約書等、建物の建築年月が確認できる資料を総合的に判断し、明確にされているか。 その他作成調書類と一致しているか。	木造Q&A 3
	経過年数		☐	計算に誤りがないか。	[標]再築補償率の考え方 [標]木造建物再築補償率表注記
仮設	外壁面数	※7	☐	外壁面数が適切か。	木造要領 第6条 木造Q&A 10,11,14
	シート張要否		☐	シート張の要否判断が適切か。	木造要領 第6条 木造Q&A 12
基礎	全般	※8	☐	図面(基礎伏図等)、計測写真(基礎高等)に照らし、誤りがないか。	木造要領 第7条 木造Q&A 基礎工事
軸部	柱径、柱長	※9	☐	図面(立面図等)、計測写真(柱径)に照らし、誤りがないか。	木造要領 第8条 木造Q&A 29,30,31
	柱の材種		☐	建物の程度を鑑み、妥当な材種(木材等級)であるか。	木造要領 第8条 木造Q&A 32
屋根	全般	※10	☐	図面(屋根伏図等)に照らし、誤りがないか。	木造要領 第9条 木造Q&A 屋根工事
外壁	全般	※11	☐	図面(立面図等)に照らし、誤りがないか。	木造要領 第10条 木造Q&A 外壁工事
開口部	全般	※12	☐	数量計算書[金属製建具]及び[木製建具]からの転記に誤りがないか。	木造要領 第14,15条 木造Q&A 開口部工事
造作	全般	※13	☐	図面(造作配置図等)からの転記に誤りがないか。	木造要領 第16条 木造Q&A 造作工事
樋	全般	※14	☐	図面(屋根伏図等)に照らし、誤りがないか。	木造要領 第17条
設備1	全般	※15	☐	図面(各設備図等)に照らし、誤りがないか。	木造要領 第18条 木造Q&A 建築設備工事
設備2	全般	※16	☐	図面(各設備図等)からの転記に誤りがないか。	同上
付随工作物	全般	※17	☐	図面(付随工作物配置図等)からの転記に誤りがないか。	木造要領 第19条 木造Q&A 建物付随工作物工事

木造建物数量計算書

チェック項目		No	チェック事項		備考
外壁	様式	※1	☐	指定の様式(様式第2)を使用しているか。	数量積算基準 第7
	面/階	※2	☐	計算箇所に誤りがないか。 計上漏れがないか。	
	開口部控除前[A]	※3	☐	図面(立面図等)に照らし、適用単価及び寸法等に誤りがないか。	
			☐	計算及び端数処理が正しく行われているか。	木造要領 第25条
	開口部面積[B]	※4	☐	図面(立面図及び建具表等)に照らし、各記載に誤りがないか。	
			☐	計算及び端数処理が正しく行われているか。	木造要領 第25条
		※5	☐	開口部面積に算入しない開口部の判断は適切か。 ※1つの開口部(面積0.5㎡超)に接する仕上材が複数施工されている場合、各仕上材の控除面積が0.5㎡以下でも控除する。 →開口部面積(建具面積)で判断する点に注意	木造Q&A 54,55,56
	実施工面積	※6	☐	仕上材種ごとの集計、端数処理が正しく行われているか。	木造要領 第26条
内壁	軒天井、その他	※7	☐	図面(屋根伏図等)に照らし、適用単価、計算及び端数処理が正しく行われているか。	同上
			☐	(図面で数量計算が行われている場合) 図面からの転記に誤りがないか。	
	様式	※8	☐	指定の様式(様式第3)を使用しているか。	数量積算基準 第8
	室名	※9	☐	室名に誤りがないか。 計上漏れがないか。	
	開口部控除前[A]	※10	☐	図面(平面図及び仕上表、又は展開図等)に照らし、適用単価及び寸法等に誤りがないか。	
			☐	計算及び端数処理が正しく行われているか。	木造要領 第25条
	開口部面積[B]	※11	☐	図面(建具表又は展開図等)に照らし、各記載に誤りがないか。	
			☐	計算及び端数処理は正しく行われているか。	木造要領 第25条
		※12	☐	開口部面積に算入しない開口部の判断は適切か。 ※1つの開口部(面積0.5㎡超)に接する仕上材が複数施工されている場合、各仕上材の控除面積が0.5㎡以下でも控除する。 →開口部面積(建具面積)で判断する点に注意	木造Q&A 54,55,56,58
	階段室の内壁	※13	☐	階段室(1階床より2階床まで)の内壁施工面積は適切か。	数量積算基準 第8第2項 木造Q&A 61
	実施工面積	※14	☐	部屋及び仕上材種ごとの集計、端数処理が正しく行われているか。	木造要領 第25条
	施工面積集計表	※15	☐	仕上材種ごとの集計、端数処理が正しく行われているか。	木造要領 第26条

チェック項目		No	チェック事項		備考
床・天井	様式	※16	☐	指定の様式(様式第4)を使用しているか。	数量積算基準 第9、第10
	室名	※17	☐	室名に誤りがないか。 計上漏れがないか。	
	床面積計算書	※18	☐	図面(平面図及び仕上表等)に照らし、適用単価及び寸法等に誤りがないか。	
			☐	面積計算及び端数処理が正しく行われているか。	木造要領 第25条
		※19	☐	畳敷の数量(帖数)は適用単価に応じた適切な数量か。	木造Q&A 63,64,65
	天井面積計算書	※20	☐	図面(平面図及び仕上表等)に照らし、適用単価及び寸法等に誤りがないか。	
			☐	面積計算及び端数処理が正しく行われているか。	木造要領 第25条
	施工面積集計表	※21	☐	仕上材種ごとの集計、端数処理が正しく行われているか。	木造要領 第26条
金属製建具	様式	※22	☐	指定の様式(様式第5)を使用しているか。	数量積算基準 第11
	各数量等	※23	☐	図面(建具表等)から種類及び大きさ区分別に正しく転記されているか。計上漏れがないか。	
	集計	※24	☐	端数処理が正しく行われているか。	木造要領 第26条
木製建具	様式	※25	☐	指定の様式(様式第6)を使用しているか。	数量積算基準 第12
	各数量等	※26	☐	図面(建具表等)から種類及び大きさ区分別に正しく転記されているか。計上漏れがないか。	
	集計	※27	☐	集計が正しく行われているか。	

木造建物調査表

※1
様式第1

	所在地	〇〇県〇〇市〇〇1-2-3					整理番号	1 A棟			
※2	建物所有者	〇〇 〇〇		※3 電 話	00-		※4	調査年月日	令和〇年〇月〇日		
	法人代表者				0000-0000			受注者	株式会社 〇〇〇〇		
	所有者住所	〇〇県〇〇市〇〇1-2-3					調査員	補償業務管理士 〇〇 〇〇			
	構造概要	木造2階建					建築年月	昭和50年1月、平成3年1月			
※5	建物面積	1階床面積	2階床面積	延床面積	用 途		※6	[確認資料]	〔評価証明書〕		
		124.81 m ²	34.15 m ²	158.96 m ²	専用住宅			経過年数	48年、32年		
※7	仮設	外 壁 面 数	14 面		シート 張 要 否	要			そ の 他		
※8	基礎	種 類	布コンクリート	基 礎 天 端 幅	12cm	地上高	30cm	仕 上 げ	モルタル 刷毛仕上	そ の 他	
※9	軸部	柱 径	10.5cm	柱 長	1階 2階	3.00m 3.00m	柱 の 材 種	スギ		そ の 他	
※10	屋根	屋 根 形 状	切妻	軒 出	300mm	傍軒出	450mm	屋 根 勾 配	3/10	仕 上 材 種	日本瓦葺外
※11	外壁	外 壁 周 長	1階 2階	57.96m 26.73m	壁 高	1階 2階	3.00m 3.00m	仕 上 材 種	サイディング張	そ の 他	
	内壁・床 ・天井	各室の仕上げ材については図面参照									
※12	開口部 〔建具〕	サ ツ シ ュ 窓	種 類	大きさ区分	数量 (m ²)	そ の 他 〔 玄 関 ・ 出 窓 等 〕	種 類	単位	数量		
			AB[3mm]・網戸無	Ⅱ	4.29		アコーディオンカーテン 並	m ²	1.45		
			AB[3mm]・網戸付	I	0.57		玄関アルミ引戸(PW) ランマ付・並	ヶ所	1.00		
			AB[3mm]・網戸付	Ⅱ	14.96		アルミドア(勝手口) 幅760mm×高 さ1,811mm・ランマ無	ヶ所	2.00		
			AC[3mm]・網戸付	Ⅱ	12.54		アルミ出窓 台所用	m ²	1.28		
			AE[3mm]・網戸付	Ⅱ	3.58		アルミ出窓 台所用	m ²	1.97		
	木 製 建 具	種 類	大きさ区分	数量 (枚)							
		フラッシュ戸・並	I	4							
		ガラス戸[FL・厚3 mm]・並	I	1							
		障子・並	I	16							
		ふすま・並	I	17							
		ふすま・並	Ⅲ	20							
	※13	造作	種 類 (名 称)	形 状 寸 法				単 位	数 量	備 考	
			天袋・(建具除く)	幅910mm・内装しな合板				ヶ所	1.00		
彫刻欄間・[既製品]			長さ1,365mm×幅300mm×厚18mm				枚	2.00			
カーテンレール			ダブール・1.8m程度・スチール製				組	5.00			
カーテンレール			ダブール・2.7m程度・スチール製				組	3.00			
アルミ窓手摺			幅1,916mm(6尺用)高さ500mm				ヶ所	1.00			
床の間・[ユニット]			間口1,820mm×奥行き910mm・床の間内塗壁を含む				ヶ所	1.00			
仏間			間口910mm×奥行き910mm・仏間内塗壁を含む				ヶ所	1.00			
造付洋タンス・ダブール型			幅840mm×高さ1,740mm×奥行き870mm				ヶ所	1.00			
箱型直階段			集成材タイプ・手摺除く				ヶ所	1.00			
手摺・壁直付			丸型・径45mm・横付				m	4.50			
下駄箱・(和風タイプ)			幅400mm×長さ1,500mm×高さ850mm程度				ヶ所	1.00			
押入れ・(建具除く)			幅910mm・中棚無・天袋付・内装しな合板				ヶ所	1.00			
押入れ・(建具除く)			幅1,820mm・中棚無・天袋無・内装しな合板				ヶ所	1.00			
押入れ・(建具除く)			幅1,820mm・中棚無・天袋付・内装しな合板				ヶ所	4.00			
木製箱庇・(平鉄板葺)			幅1,820mm×奥行き360mm・裏板けい酸カルシウム板EP仕上 げ				ヶ所	1.00			

※14	樋	軒樋の形状寸法		U105	材質	塩ビ製	延長	44.92	
		堅樋の形状寸法		φ60	材質	塩ビ製	延長	33.66	
		谷樋の形状寸法		—	材質	—	延長	—	
		集水器の形状寸法		100・105用	材質	塩ビ製	数量	10	
※15	電気設備	照明器具の種類	並	照明器具の数量	16	コンセントの規格	埋込1口外		
		コンセントの数量	22	スイッチの規格	埋込1連外	スイッチの数量	8		
		分電盤の規格	コンパクト型分岐ブレーカ・7回路				分電盤の数量	1	
		その他	換気扇(台所用)2箇所、(居室用)1箇所外						
	ガス設備	ガス種類	プロパンガス	ガス栓数	1	その他			
	給水・給湯設備	水栓数	6	配管の種類	硬質塩ビ管	その他			
	排水設備	排水管の種類	硬質塩ビ管	形状寸法(管径)	φ150	配管の延長	25.90		
		桝の種類	塩ビ製パイプ桝	形状寸法(大きさ)	φ150	桝の数量	7		
	衛生設備	種別(名称)	規格寸法				単位	数量	備考
		システムバス	幅1,600mm×奥行き1,600mm				基	1.00	
		洗面化粧ユニット	幅750mm・シングルバー混合水栓・化粧鏡付				ヶ所	1.00	
		水洗洋風便器・(腰掛式)	手洗付密結形ロータンク				ヶ所	1.00	
		温水洗浄式便座	便座保温・温風乾燥なし				ヶ所	1.00	
		非水洗半底便器					ヶ所	1.00	
		便槽・(既製品)	φ700mm×高さ1,000mm・4人用				基	1.00	
※16	厨房設備	種別(名称)	規格寸法				単位	数量	備考
		コンロ台	幅1,000mm×奥行き543mm×高さ623mm				ヶ所	1.00	
		流し台	幅1,050mm×奥行き550mm×高さ800mm				ヶ所	1.00	
		流し台	幅1,500mm×奥行き550mm×高さ800mm				ヶ所	1.00	
		換気扇フード	台所用				ヶ所	1.00	
		ウェザースタッド・羽根径200mm用	鋼板製・幅300mm×奥行き270mm×高さ300mm				ヶ所	3.00	
	その他設備	種別(名称)	規格寸法				単位	数量	備考
		セパレート型・エアコン	暖冷房除湿型・冷房能力2.2kw				台	1.00	
		セパレート型・エアコン	暖冷房除湿型・冷房能力2.8kw				台	2.00	
		灯油タンク設備	タンク容量200ℓ・基礎付				台	1.00	
		給油銅管配管・(屋内)	外径8mm 肉厚0.6mm				m	2.40	
※17	建物付随工作物	種別(名称)	形状寸法				単位	数量	備考
		土間コンクリート叩き	厚60mm・無筋・(DC01)・すき取り・不用土処分共				m2	26.27	
		土間コンクリート叩き	厚120mm・有筋・(DC13)・すき取り・不用土処分共				m2	1.81	
		アルミ物干台・(屋根置)	面積6.00㎡以上・物干金物付				m2	8.60	
		物干台屋根・(加算)	面積6.00㎡以上・アクリルパネル				m2	8.60	

木造建物数量計算書〔外壁〕

※1
様式第2

※2 面	階	※3 開口部控除前[A]						※4 開口部面積[B]				※6 実施工面積 [A]-[B]
		コード	単価名称	壁長	軒高	率	計算面積	建具No.	建具記号	数量	控除面積	
北	1	2630650	外装・サイディング®張	10.010	3.000	1	30.030	28	勝手口	1	1.376	
	〃							30	出窓	1	1.966	
	〃							24	A E	1	1.534	
	〃							25	A E	1	2.047	
	〃									1 ※	0.054	※1.82×0.03
	〃	〃	〃	2.730	2.600	1	7.098	28	勝手口	1 ※	1.148	※0.76×1.511
	〃	〃	〃	0.300	2.200	1	0.660					
	〃	〃	〃	0.300	0.030	0.5	0.004					
	2	〃	〃	2.730	3.400	1	9.282	16	A B	1	※5 -	
	〃	〃	〃	1.820	2.454	1	4.466					
	〃	〃	〃	4.550	0.683	0.5	1.553					
	〃	〃	〃	0.910	0.273	0.5	0.124					
東	1	〃	〃	7.280	3.000	1	21.840	29	出窓	1	1.277	
	〃							18	A B	1	2.302	
	〃									1 ※	0.054	※1.82×0.03
	〃	〃	〃	7.280	1.092	0.5	3.974					
	〃	〃	〃	0.300	2.200	1	0.660					
	〃	〃	〃	0.300	0.030	0.5	0.004					
	〃	〃	〃	1.820	2.727	1	4.963	17	A B	1	1.049	
	〃	〃	〃	6.540	2.727	1	17.834	M	K K	1 ※	13.469	※6.265×2.15
	〃	〃	〃	0.910	2.600	1	2.366					
	〃	〃	〃	1.365	3.000	1	4.095					
	2	〃	〃	6.370	2.727	1	17.370	22	A C	1	3.025	
	〃							23	A C	1	4.655	
	〃	〃	〃	1.080	2.454	1	2.650					
	〃	〃	〃	1.365	3.000	1	4.095					
南	1	〃	〃	1.820	3.000	1	5.460	18	A B	1	2.302	
	〃									1 ※	0.054	※1.82×0.03
	〃	〃	〃	4.550	2.727	1	12.407	19	A B	1	4.655	
	〃							27	P W	1 ※	3.642	※1.715×2.124
	〃	〃	〃	1.820	0.273	0.5	0.248					
	〃	〃	〃	0.910	0.273	0.5	0.124					
	〃	〃	〃	0.300	2.200	1	0.660					
	〃	〃	〃	0.300	0.030	0.5	0.004					
	〃	〃	〃	6.370	2.727	1	17.370	15	A B	1	1.431	
	〃	〃	〃	1.820	0.546	0.5	0.496					
	〃	〃	〃	4.550	0.546	1	2.484					
	2	〃	〃	4.550	2.727	1	12.407	21	A C	1	2.302	
	〃	〃	〃	4.550	0.683	0.5	1.553					

面	階	開口部控除前[A]						開口部面積[B]				実施工面積 [A]-[B]
		コード	単価名称	壁長	軒高	率	計算面積	建具No.	建具記号	数量	控除面積	
西	1	2630650	外装・サイディング [※] 張	7.280	3.000	1	21.840	16	A B	1	-	
	〃	〃	〃	7.280	1.092	0.5	3.974					
	〃	〃	〃	0.300	2.200	1	0.660					
	〃	〃	〃	0.300	0.030	0.5	0.004					
	〃	〃	〃	1.080	0.900	1	0.972					
	〃	〃	〃	8.815	3.000	1	26.445	15	A B	1	1.431	
	〃							15	A B	1	1.431	
	〃	〃	〃	0.910	2.727	1	2.481					
	2	〃	〃	8.815	3.000	1	26.445	20	A C	1	1.277	
	〃							20	A C	1	1.277	
計							269.102				53.758	215.34
北	1	2640370	断熱材張	10.010	3.000	1	30.030	28	勝手口	1	1.376	
	〃							30	出窓	1	1.966	
	〃							24	A E	1	1.534	
	〃							25	A E	1	2.047	
	2	〃	〃	2.730	3.400	1	9.282	16	A B	1	-	
	〃	〃	〃	1.820	2.454	1	4.466					
	〃	〃	〃	4.550	0.683	0.5	1.553					
	〃	〃	〃	0.910	0.273	0.5	0.124					
東	1	〃	〃	7.280	3.000	1	21.840	29	出窓	1	1.277	
	〃							18	A B	1	2.302	
	〃	〃	〃	7.280	1.092	0.5	3.974					
	〃	〃	〃	1.820	2.727	1	4.963	17	A B	1	1.049	
	2	〃	〃	6.370	2.727	1	17.370	22	A C	1	3.025	
	〃							23	A C	1	4.655	
	〃	〃	〃	1.080	2.454	1	2.650					
	〃	〃	〃	1.365	3.000	1	4.095					
南	1	〃	〃	1.820	3.000	1	5.460	18	A B	1	2.302	
	〃	〃	〃	4.550	2.727	1	12.407	19	A B	1	4.655	
	〃							27	P W	1 ※	3.642	※1.715×2.124
	〃	〃	〃	1.820	0.273	0.5	0.248					
	〃	〃	〃	0.910	0.273	0.5	0.124					
	2	〃	〃	4.550	2.727	1	12.407	21	A C	1	2.302	
	〃	〃	〃	4.550	0.683	0.5	1.553					
西	1	〃	〃	7.280	3.000	1	21.840	16	A B	1	-	
	〃	〃	〃	7.280	1.092	0.5	3.974					
	〃	〃	〃	1.080	0.900	1	0.972					
	〃	〃	〃	0.910	2.727	1	2.481					
	2	〃	〃	8.815	3.000	1	26.445	20	A C	1	1.277	
	〃							20	A C	1	1.277	
計							188.258				34.686	153.57

※7

軒天井、その他の外壁						
部位	コードNo.	単価名称	計算式[A]		開口部の計算式[B]	実施工面積
軒天井	2460650	天井・ﾌﾟﾘﾝﾄ合板張	屋根伏図参照	8.753	-	8.75
	2640150	天井・化粧ｽﾚｯﾄﾞﾎｰﾄﾞ	屋根伏図参照	22.424	-	22.42

木造建物数量計算書〔内壁〕

※8
様式第3

※9 室名	※10 開口部控除前[A]						※11 開口部面積[B]				※14 実施工面積 [A]-[B]
	コード	単価名称	壁長	壁高	率	計算面積	建具No.	建具記号	数量	控除面積	
玄関	2450310	内壁・モルタル塗金ごて	7.280	0.150	1	1.092	27	PW	1	※ 0.257	※1.715×0.15
	計					1.092				0.257	0.835
玄関	2450530	新京壁(じゅらく)	7.280	2.250	1	16.380	17	AB	1	1.049	
							27	PW	1	※ 3.642	※1.715×2.124
							D	KK	1	1.610	
							26	AK	1	1.449	
	計					16.380				7.750	8.630
縁側	2450530	新京壁(じゅらく)	12.740	2.300	1	29.302	4	S	1	3.087	
							4	S	1	3.087	
							26	AK	1	1.449	
							19	AB	1	4.655	
							19	AB	1	4.655	
							E	KK	1	1.851	
	計					29.302				18.784	10.518
居間	2450530	新京壁(じゅらく)	12.740	2.450	1	31.213	6	FU	1	3.087	
							12	FU	1	0.857	
							5	FU	1	1.449	
							8	FU	1	※12 -	
							10	FU	1	0.686	
							H	KK	1	2.334	
							10	FU	1	0.686	
							H	KK	1	2.334	
							4	S	1	3.087	
	計					31.213				14.520	16.693
廊下-1	2450530	新京壁(じゅらく)	10.920	2.450	1	26.754	2	FD	1	1.449	
							4	S	1	3.087	
							D	KK	1	1.610	
							4	S	1	3.087	
							4	S	1	3.087	
							F	KK	1	1.891	
	計					26.754				14.211	12.543
和室 6.0帖-1	2450530	新京壁(じゅらく)	12.740	2.450	1	31.213	4	S	1	3.087	
							4	S	1	3.087	
							4	S	1	3.087	
							4	S	1	3.087	
							7	FU	1	6.363	
							A	KK	1	-	
							A	KK	1	-	
	計					31.213				18.711	12.502

室名	開口部控除前[A]						開口部面積[B]				実施工面積 [A]-[B]
	コード	単価名称	壁長	壁高	率	計算面積	建具No.	建具記号	数量	控除面積	
和室 6.0帖-2	2450530	新京壁(じゅらく)	12.740	2.450	1	31.213	4	S	1	3.087	
							7	F U	1	6.363	
							4	S	1	3.087	
							14	F U	1	1.457	
							K	K K	1	3.601	
							9	F U	1	0.684	
							B	K K	1	0.684	
							A	K K	1	-	
							A	K K	1	-	
	計					31.213				18.963	12.250
廊下-2	2450530	新京壁(じゅらく)	11.830	2.450	1	28.983	4	S	1	3.087	
							3	G T	1	1.449	
							F	K K	1	1.891	
							4	S	1	3.087	
							4	S	1	3.087	
							1	F D	1	1.161	
	計					28.983				13.762	15.221
トイレ-1	2460380	外壁・羽目板張	4.550	0.900	1	4.095	1	F D	1	※ 0.580	※0.645×0.90
	計					4.095				0.580	3.515
	2450530	新京壁(じゅらく)	4.550	1.400	1	6.370	1	F D	1	※ 0.580	※0.645×0.90
							16	A B	1	-	
	計					6.370				0.580	5.790
台所-1	2631190	壁・ビニールクロス張	12.740	2.450	1	31.213	28	勝手口	1	1.376	
							30	出窓	1	1.966	
							29	出窓	1	1.277	
							2	F D	1	1.449	
	計					31.213				6.068	25.145
洗面所	2631190	壁・ビニールクロス張	5.460	2.400	1	13.104	C	K K	1	1.449	
							3	G T	1	1.449	
	計					13.104				2.898	10.206
和室 6.0帖-3	2450530	新京壁(じゅらく)	12.740	2.450	1	31.213	13	F U	1	0.943	
							G	K K	1	2.075	
							4	S	1	3.087	
							6	F U	1	3.087	
							12	F U	1	0.857	
							C	K K	1	1.449	
							8	F U	1	-	
	計					31.213				11.498	19.715
地袋付 出窓-1	2460490	壁・しな合板張	4.240	0.400	1	1.696	10	F U	1	0.686	
	計					1.696				0.686	1.010

室名	開口部控除前[A]						開口部面積[B]				実施工面積 [A]-[B]
	コード	単価名称	壁長	壁高	率	計算面積	建具No.	建具記号	数量	控除面積	
地袋付 出窓-1	2450530	新京壁(じゅらく)	4.240	1.400	1	5.936	18	A B	1	2.302	
							H	K K	1	2.334	
	計					5.936				4.636	1.300
地袋付 出窓-2	2450530	新京壁(じゅらく)	4.240	1.400	1	5.936	H	K K	1	2.334	
							18	A B	1	2.302	
	計					5.936				4.636	1.300
	2460490	壁・しな合板張	4.240	0.400	1	1.696	10	F U	1	0.686	
	計					1.696				0.686	1.010
地袋付 出窓-3	2460430	壁・ラワン合板張	4.240	1.800	1	7.632	25	A E	1	2.047	
							13	F U	1	0.943	
							G	K K	1	2.075	
	計					7.632				5.065	2.567
階段室-1	2631190	壁・ビニールクロス張				※13 10.800					
	計					10.800					10.800
車庫	2460510	壁・ﾌﾟﾘﾝﾄ合板張	3.640	2.700	1	9.828	28	勝手口	1	※ 1.148	※0.76×1.511
	2460510	壁・ﾌﾟﾘﾝﾄ合板張	2.730	2.154	1	5.880	F	K K	1	※ 1.650	※0.805×2.05
	2460510	壁・ﾌﾟﾘﾝﾄ合板張	1.820	0.546	0.5	0.496	L	K K	1	※ 3.515	※1.715×2.05
	2460510	壁・ﾌﾟﾘﾝﾄ合板張	0.910	0.546	1	0.496					
	計					16.700				6.313	10.387
和室 8.0帖	2450530	新京壁(じゅらく)	14.560	2.450	1	35.672	7	F U	1	6.363	
							23	A C	1	4.655	
							21	A C	1	2.302	
							6	F U	1	3.087	
							11	F U	1	0.771	
							6	F U	1	3.087	
							11	F U	1	0.771	
	計					35.672				21.036	14.636
和室 6.0帖-4	2450530	新京壁(じゅらく)	12.740	2.450	1	31.213	22	A C	1	3.025	
							7	F U	1	6.363	
							2	F D	1	1.449	
							J	K K	1	3.430	
	計					31.213				14.267	16.946
台所-2	2631190	壁・ビニールクロス張	5.460	2.400	1	13.104	J	K K	1	3.430	
							20	A C	1	1.277	
	計					13.104				4.707	8.397
入口	2631190	壁・ビニールクロス張	5.800	2.400	1	13.920	2	F D	1	1.449	
							I	K K	1	2.340	
							2	F D	1	1.449	
							20	A C	1	1.277	
	計					13.920				6.515	7.405

木造建物数量計算書〔床・天井〕

※16
様式第4

※17	※18 床 面 積 計 算 書						※20 天 井 面 積 計 算 書					
室名	コード	単価名称	幅 (横)	幅 (縦)	率	実施工 面積 (帖)	コード	単価名称	幅 (横)	幅 (縦)	率	実施工 面積
玄関	2450130	床・モルタル塗	1.820	1.365	1	2.484	2640250	天井・吸音板張	1.820	1.820	1	3.312
	2630045	床・複合フローリング 張	1.820	0.455	1	0.828						
縁側	2630010	床・フローリング・ボート 張	5.460	0.910	1	4.968	2460700	和室天井	5.460	0.910	1	4.968
居間	2630380	タタ敷				※19 6.000	2460700	和室天井	2.730	3.640	1	9.937
廊下-1	2630010	床・フローリング・ボート 張	0.910	4.550	1	4.140	2460700	和室天井	0.910	4.550	1	4.140
和室 6.0帖-1	2630380	タタ敷				6.000	2460700	和室天井	2.730	3.640	1	9.937
和室 6.0帖-2	2630380	タタ敷				6.000	2460700	和室天井	2.730	3.640	1	9.937
廊下-2	2630010	床・フローリング・ボート 張	5.005	0.910	1	4.554	2460700	和室天井	5.005	0.910	1	4.554
トイレ-1	2630010	床・フローリング・ボート 張	1.365	0.910	1	1.242	2460700	和室天井	1.365	0.910	1	1.242
台所-1	2630010	床・フローリング・ボート 張	3.640	2.730	1	9.937	2640300	天井・ビニールクロス張	3.640	2.730	1	9.937
洗面所	2630010	床・フローリング・ボート 張	1.820	0.910	1	1.656	2640360	浴室天井板張	1.820	0.910	1	1.656
和室 6.0帖-3	2630380	タタ敷				6.000	2460700	和室天井	3.640	2.730	1	9.937
地袋付 出窓-1	2460260	床・しな合板張	0.300	1.820	1	0.546	2451080	天井・繊維壁塗	0.300	1.820	1	0.546
地袋付 出窓-2	2460260	床・しな合板張	1.820	0.300	1	0.546	2451080	天井・繊維壁塗	1.820	0.300	1	0.546
地袋付 出窓-3	2460260	床・しな合板張	1.820	0.300	1	0.546	2460700	和室天井	1.820	0.300	1	0.546
車庫	2450130	床・モルタル塗	6.370	6.370	1	40.576						
	〃	〃	2.730	0.170	1	0.464						
和室 8.0帖	2630380	タタ敷				8.000	2460700	和室天井	3.640	3.640	1	13.249
和室 6.0帖-4	2630380	タタ敷				6.000	2460700	和室天井	3.640	2.730	1	9.937
台所-2	2630010	床・フローリング・ボート 張	0.910	1.820	1	1.656	2640250	天井・吸音板張	0.910	1.820	1	1.656
入口	2630010	床・フローリング・ボート 張	0.910	1.990	1	1.810	2640250	天井・吸音板張	0.910	1.990	1	1.810
トイレ-2	2630200	床・ビニールシート張	0.910	1.365	1	1.242	2640250	天井・吸音板張	0.910	1.365	1	1.242
階段室-2							2640250	天井・吸音板張	2.730	1.080	1	2.948
建物全体	2640610	床・断熱材張	10.010	7.280	1	72.872	2640370	断熱材張	10.010	7.280	1	72.872
	〃	〃	5.460	0.910	1	4.968	〃	〃	1.820	1.820	1	3.312
							〃	〃	5.460	0.910	1	4.968
							〃	〃	4.550	6.370	1	28.983
							〃	〃	0.910	2.445	1	2.224
							〃	〃	2.730	1.080	1	2.948

※21

床仕上げ別施工面積集計表

コード	単価名称	形状寸法等	実施工面積				施工 面積計
2450130	床・モルタル塗	厚30mm	2.484	40.576	0.464		43.52
2630045	床・複合フローリング 張	厚12mm・無塗装・ぶな・下地別途	0.828				0.83
2630010	床・フローリング・ボート 張	厚15mm×乱尺・ぶな・1等・下地別途	4.968	4.140	4.554	1.242	
			9.937	1.656	1.656	1.810	29.96
2630380	タタ敷	五八・綿引・並・下地別途	6.000	6.000	6.000	6.000	
			8.000	6.000			38.00
2460260	床・しな合板張	厚5.5mm・(押入床)・床組別途	0.546	0.546	0.546		1.64
2630200	床・ビニールシート張	厚1.8mm・クッションシート・下地別途	1.242				1.24

コード	単価名称	形状寸法等	実施工面積				施工面積計
2640610	床・断熱材張	厚20mm・ポリスチレンフォーム	72.872	4.968			77.84
※21 天井仕上り別施工面積集計表							
コードNo.	単価名称	形状寸法等	実施工面積				施工面積計
2640250	天井・吸音板張	厚9.5mm・化粧穴あきせつこう系・直張・下地別途	3.312	1.656	1.810	1.242	
			2.948				10.97
2460700	和室天井	杉証(ハリ天)・敷目	4.968	9.937	4.140	9.937	
			9.937	4.554	1.242	9.937	
			0.546	13.249	9.937		78.38
2640300	天井・ビニールクロス張	並・下地別途	9.937				9.94
2640360	浴室天井板張	準不燃・下地別途	1.656				1.66
2451080	天井・繊維壁塗	ラスボード共	0.546	0.546			1.09
2640370	断熱材張	厚50mm・密度24kg/m ² グラスウール系・一般用	72.872	3.312	4.968	28.983	
			2.224	2.948			115.31

木 造 建 物 数 量 計 算 書〔金属製建具〕

※22
様式第 5

※23, 24

区分	Ⅰ [1.00 ㎡未満]					Ⅱ [1.00 ㎡以上]				
種類	建具No.	数量	単位面積	面積	特記	建具No.	数量	単位面積	面積	特記
A B [厚3mm] 網戸無						15	3	1.431	4.293	
	計					計			4.29	
A B [厚3mm] 網戸付	16	2	0.283	0.566		17	1	1.049	1.049	
						18	2	2.302	4.604	
						19	2	4.655	9.310	
	計			0.57		計			14.96	
A C [厚3mm] 網戸付						20	2	1.277	2.554	
						21	1	2.302	2.302	
						22	1	3.025	3.025	
						23	1	4.655	4.655	
	計					計			12.54	
A E [厚3mm] 網戸付						24	1	1.534	1.534	
						25	1	2.047	2.047	
	計					計			3.58	
	計					計				
その他	建具No.	名称			形状寸法等		数量	単位面積	特記	
	26	アコーデ・イオンカーテン・並			W805×H1800		1.000	1.449		
	27	玄関アルミ引戸・(PW)・ランマ付・並			W1715×H2274		1.000	3.899		
	28	アルミドア・(勝手口)・幅760mm×高さ1,811mm・ランマ無			W760×H1811		2.000	1.376		
	29	アルミ出窓・台所用			W1692×H755		1.000	1.277		
	30	アルミ出窓・台所用			W2604×H755		1.000	1.966		

木造建物数量計算書〔木製建具〕

※26, 27

※25
様式第 6

区分	Ⅰ [W0. 68m以上×H1. 80m程度]				Ⅱ [W0. 68m以上×H1. 36m程度]				Ⅲ [Ⅰ及びⅡ以下]			
種類	建具No.	品等	数量	単位面積	建具No.	品等	数量	単位面積	建具No.	品等	数量	単位面積
フラッシュ戸	1	並	1	1.161								
	2	並	3	1.449								
	計		4		計				計			
ガラス戸（窓）	3	並	1	1.449								
	計		1		計				計			
障子	4	並	16	3.087								
	計		16		計				計			
フスマ	5	並	1	1.449					8	並	2	0.402
	6	並	8	3.087					9	並	2	0.684
	7	並	8	6.363					10	並	4	0.686
									11	並	4	0.771
									12	並	4	0.857
									13	並	2	0.943
									14	並	2	1.457
	計		17		計				計		20	
その他												
	計				計				計			

各種図面

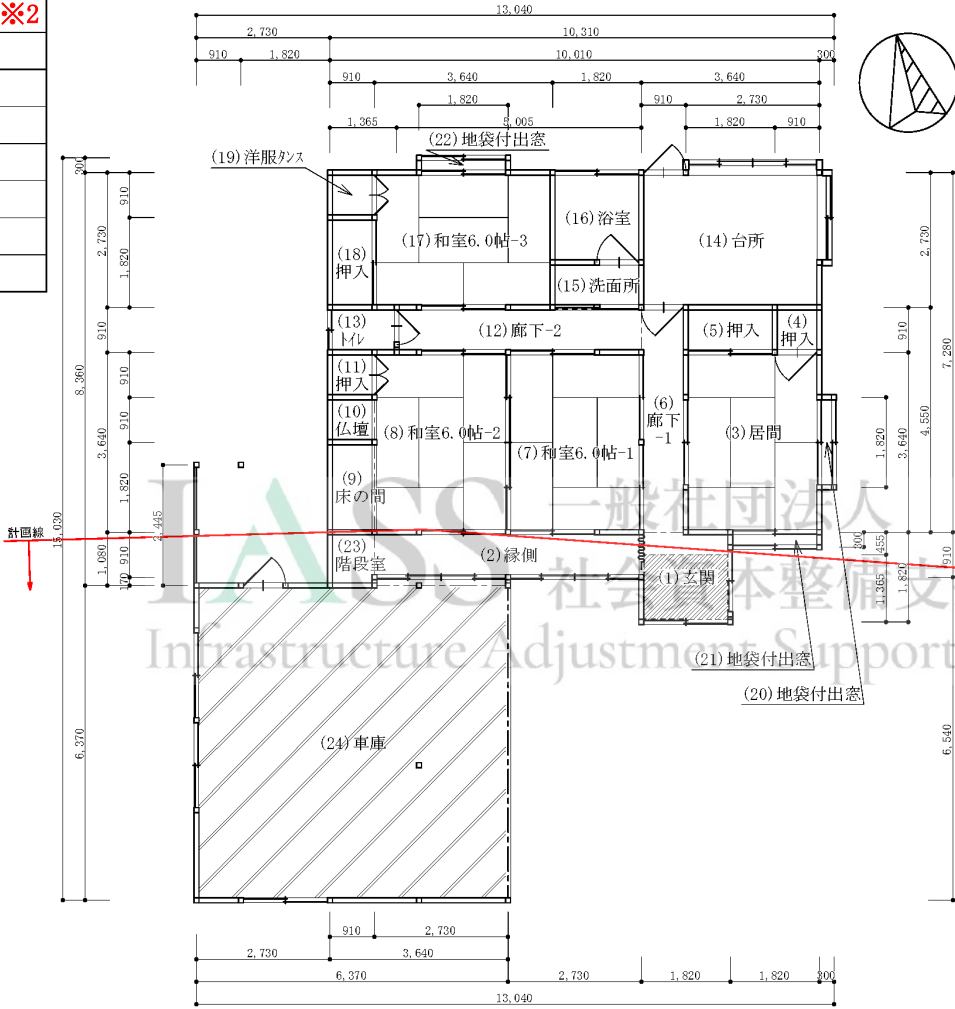
チェック項目		No	チェック事項		備考
図面 共通	図面全般		☐	図面作成基準に規定される必要図面が作成されているか。 (参考)展開図は「図面作成基準」に規定されておらず、異種仕上がある場合等、必要に応じて作成されるものである。仕上数量計算が容易に確認できる室形状の場合、展開図を作成しない場合も多い。	図面作成基準 木造Q&A 100～104
			☐	記載内容に不整合等の箇所がないか。 ①写真台帳を基に、記載内容に誤りがないか。(計上漏れ、(大きな目で)寸法の誤りなど) ②各図面間で整合が図られているか。また、重複計上はないか。 ③構造部材等の寸法等(柱径)の計測写真がある場合、計測位置と部材寸法等が整合しているか。	図面作成基準
	様式	※1	☐	指定の様式(様式第7号又は第8号)を使用しているか。	
	所在地・住所・所有者	※2	☐	住所、氏名及び所在地が住民票、登記簿等の公的書類、その他作成調書類と一致しているか。	
	整理番号	※3	☐	その他作成調書類と一致しているか。	
	図面名称・縮尺	※4	☐	図面名称、縮尺が適切か。	
	調査年月日等	※5	☐	写真台帳等に照らし、不整合等の箇所がないか。	
概要	建築年月	※a	☐	建物登記簿のほか、建築確認申請書控、固定資産税課税台帳等の公的資料及び工事請負契約書等、建物の建築年月が確認できる資料を総合的に判断し、明確にされているか。 その他作成調書類と一致しているか。	木造Q&A 3
求積	建築年別床面積	※b	☐	築年次の異なる建物が接合している場合(増築建物)、 ①築年次毎の床面積に誤りがないか。 ②築年次毎の床面積の合計が1棟の建物としての床面積と一致しているか。	図面作成基準 第6 木造Q&A 101
	用途別床面積	※c	☐	1棟の建物が2以上の用途に使用されている場合(複合用途)、 ①用途別の床面積に誤りがないか。 ②用途別の床面積の合計が1棟の建物としての延床面積と一致しているか。	同上
その他	基礎杭がある場合		☐	基礎杭の施工を確認できる資料(既存図等)があるか。	木造Q&A 5 非木Q&A 1-5、3-37
			☐	杭伏図等が作成されており、杭種・規格等を確認できるか。 その内容に不整合等の箇所がないか。	

様式第7 ※1

※3

整理番号	1	図面番号	A
------	---	------	---

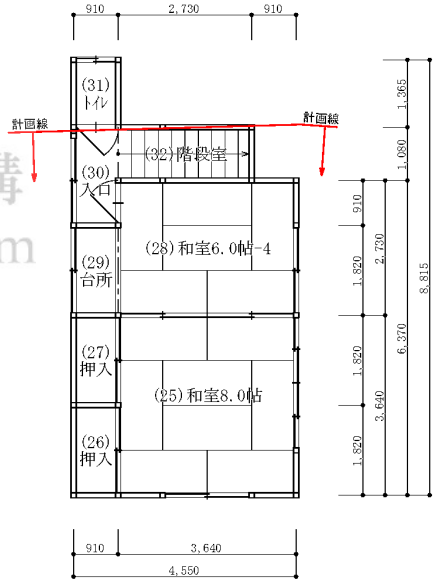
所在地	〇〇県〇〇市〇〇1-2-3
所有者住所	〇〇県〇〇市〇〇1-2-3
所有者	〇〇 〇〇
構造概要	
構造	木造2階建
用途	専用住宅
基礎	布基礎
屋根	日本瓦葺外
外壁	サイディング張



1階平面図 1/100

階層	計算式	周長
1階	$0.30+1.82+0.30+6.37+4.55+0.30+1.82+0.30+1.21+1.82+1.52+1.82+0.91+2.73+6.54+6.37+6.37+2.73+8.36+1.82$	57.960
2階	$2.73+1.08+0.91+6.37+4.55+8.815+0.91+1.365$	26.730

外壁周長表



2階平面図 1/100

※4

図面名称	平面図	縮尺	1/100
調査年月日	令和〇年〇月〇日		
受注者	株式会社 〇〇〇〇		
資格名称・作成者	補償業務管理士 〇〇 〇〇		

※5

所在地	〇〇県〇〇市〇〇1-2-3
所有権住所	〇〇県〇〇市〇〇1 2-3
所有者	〇〇 〇〇

名称	玄関	1
天井	天井・吸音板張	
内壁	新京壁(じゅらく) 内壁・壁・板張	
床	床・フローリング張	
天井高	2.40m	

名称	縁側	2
天井	和室天井	
内壁	新京壁(じゅらく)	
床	床・フローリング張	
天井高	2.30m	

名称	居間	3
天井	和室天井	
内壁	新京壁(じゅらく)	
床	板張	
天井高	2.40m	

名称	押入	4
天井	造作工事として計上	
内壁	造作工事として計上	
床	造作工事として計上	
天井高	—	

名称	押入	5
天井	造作工事として計上	
内壁	造作工事として計上	
床	造作工事として計上	
天井高	—	

名称	廊下-1	6
天井	和室天井	
内壁	新京壁(じゅらく)	
床	床・フローリング張	
天井高	2.40m	

名称	和室6.0帖-1	7
天井	和室天井	
内壁	新京壁(じゅらく)	
床	板張	
天井高	2.40m	

名称	和室5.0帖-2	8
天井	和室天井	
内壁	新京壁(じゅらく)	
床	板張	
天井高	2.45m	

名称	床の間	9
天井	造作工事として計上	
内壁	造作工事として計上	
床	造作工事として計上	
天井高	—	

名称	仏壇	10
天井	造作工事として計上	
内壁	造作工事として計上	
床	造作工事として計上	
天井高	—	

名称	押入	11
天井	造作工事として計上	
内壁	造作工事として計上	
床	造作工事として計上	
天井高	—	

名称	廊下-2	12
天井	和室天井	
内壁	新京壁(じゅらく)	
床	床・フローリング張	
天井高	2.45m	

名称	仏壇	13
天井	和室天井	
内壁	新京壁(じゅらく) 外壁・羽目板張	
床	床・フローリング張	
天井高	2.30m	

名称	台所	14
天井	天井・ビニール張	
内壁	壁・ビニール張	
床	床・フローリング張	
天井高	2.15m	

名称	洗面所	15
天井	浴室天井板張	
内壁	壁・ビニール張	
床	床・フローリング張	
天井高	2.40m	

名称	浴室	16
天井	設備工事として計上	
内壁	設備工事として計上	
床	設備工事として計上	
天井高	—	

名称	和室5.0帖-3	17
天井	和室天井	
内壁	新京壁(じゅらく)	
床	板張	
天井高	2.15m	

名称	押入	18
天井	造作工事として計上	
内壁	造作工事として計上	
床	造作工事として計上	
天井高	—	

名称	洋装室	19
天井	造作工事として計上	
内壁	造作工事として計上	
床	造作工事として計上	
天井高	—	

名称	地袋付浴室	20
天井	天井・緑藻壁張	
内壁	新京壁(じゅらく) 壁・しな合板張	
床	床・しな合板張	
天井高	1.90m	

名称	地袋付浴室	21
天井	天井・緑藻壁張	
内壁	新京壁(じゅらく) 壁・しな合板張	
床	床・しな合板張	
天井高	1.90m	

名称	地袋付浴室	22
天井	和室天井	
内壁	壁・フローリング張	
床	床・しな合板張	
天井高	1.90m	

名称	階段室	23
天井	仕上げ無	
内壁	壁・ビニール張	
床	仕上げ無	
天井高	—	

名称	車庫	24
天井	仕上げ無	
内壁	壁・フローリング張	
床	床・板張	
天井高	2.454~3.00m	

名称	和室6.0帖	25
天井	和室天井	
内壁	新京壁(じゅらく)	
床	板張	
天井高	2.40m	

名称	押入	26
天井	造作工事として計上	
内壁	造作工事として計上	
床	造作工事として計上	
天井高	—	

名称	押入	27
天井	造作工事として計上	
内壁	造作工事として計上	
床	造作工事として計上	
天井高	—	

名称	和室6.0帖-4	28
天井	和室天井	
内壁	新京壁(じゅらく)	
床	板張	
天井高	2.45m	

名称	台所	29
天井	天井・吸音板張	
内壁	壁・ビニール張	
床	床・フローリング張	
天井高	2.40m	

名称	人口	30
天井	天井・吸音板張	
内壁	壁・ビニール張	
床	床・フローリング張	
天井高	2.40m	

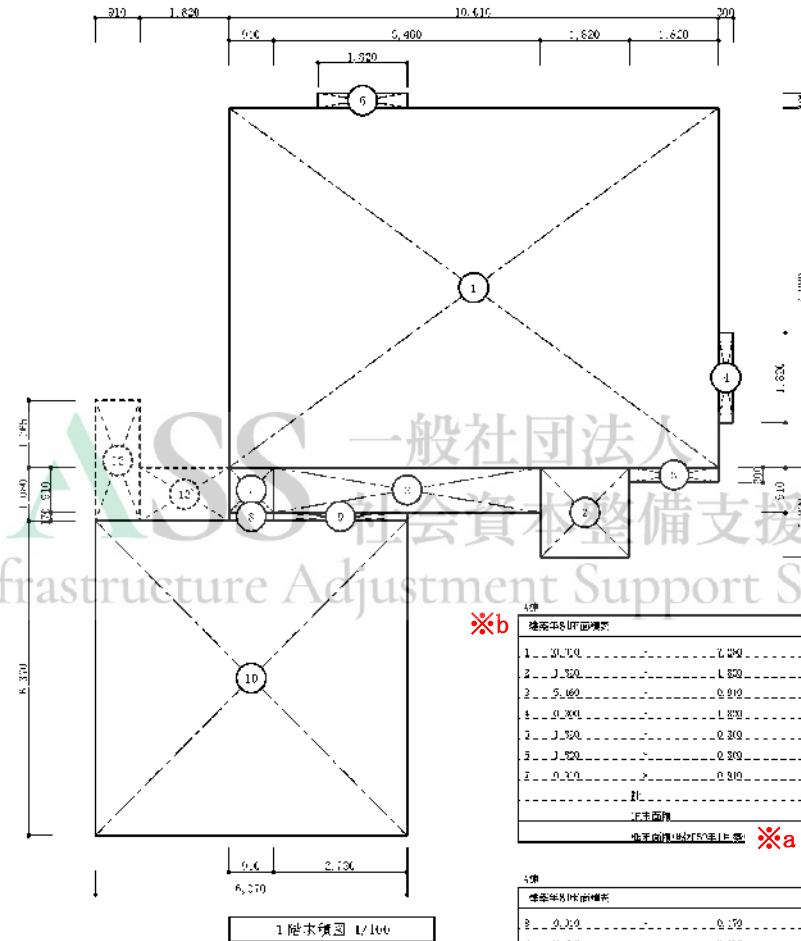
図面名称	内部仕上表	単位
調査年月日	令和〇年〇月〇日	
受注者	株式会社 〇〇〇〇	
資格名称・役職	建築業務管理士 〇〇 〇〇	

所在地	〇〇県〇〇市〇〇1-2-3
所有者住所	〇〇県〇〇市〇〇1-2-3
所有者	〇〇 〇〇

計算底元平衡表				
1.	10,000	✓	1,200	= 11,200
2.	1,200	✓	1,200	= 2,400
3.	2,400	✓	2,400	= 4,800
4.	2,400	✓	1,200	= 3,600
5.	1,200	✓	1,200	= 2,400
6.	1,200	✓	1,200	= 2,400
7.	1,200	✓	1,200	= 2,400
8.	1,200	✓	1,200	= 2,400
計				38,700
合計平衡				38,700
11.	1,200	✓	1,200	= 2,400
12.	1,200	✓	1,200	= 2,400
13.	1,200	✓	1,200	= 2,400
計				7,200
合計平衡				7,200
合計平衡				117,500

A種				
普通平部分回算表				
5	5.730	5	6.175	0.445
10	5.870	5	6.325	0.455
	計			1.095
	1000個			4.04
	1000個			1.01

A群			
植物亚群表			
1.	10.010	<	7.285 = 12.825
2.	1.890	<	1.890 = 3.910
3.	3.890	<	0.810 = 6.990
4.	5.990	<	1.890 = 9.990
5.	1.890	<	0.190 = 9.990
6.	1.890	>	0.000 = 9.990
7.	5.990	<	0.810 = 9.990
8.	5.990	<	0.190 = 9.990
9.	1.890	<	0.190 = 10.990
10.	5.990	<	0.810 = 10.990
11.	5.990	<	2.190 = 9.990
12.	1.890	<	1.890 = 9.990
	总		120.000
	植物亚群		120.00



A種					
水面積換算					
1	1.1444	>	0.290	=	0.4544
2	1.5320	>	0.520	=	0.9120
3	1.5496	>	0.320	=	1.8696
4	1.7376	>	0.320	=	0.9456
5	1.8000	>	0.300	=	0.9456
6	1.8500	>	0.300	=	0.9456
7	1.9100	>	0.320	=	0.9456
8	0.9400	<	0.170	=	0.1567
9	0.7200	>	0.170	=	0.4544
10	1.7376	>	0.320	=	0.9456
					126.8184
			10000換算		126.81
11	1.5500	>	0.320	=	0.9456
12	1.9100	>	1.440	=	1.0240
13	1.7376	>	0.280	=	0.9456
					126.8184
			2000換算		26.17
			5000換算		126.86

1樓			
總客車及貨車碼頭			
1	1.30.00	1.30.00	= 3.30.00
2	1.30.00	1.30.00	= 3.30.00
3	1.30.00	0.00.00	= 1.30.00
4	0.30.00	1.30.00	= 1.30.00
5	1.30.00	0.30.00	= 1.30.00
6	1.30.00	0.30.00	= 1.30.00
7	0.30.00	0.30.00	= 0.30.00
計:			3.30.00
工車碼頭			3.30.00
客車及貨車碼頭(共計):			3.30.00

總彙年終財產總表			
8	9,200	0.00	= 9,200
9	2,000	0.00	= 2,000
10	5,000	0.00	= 5,000
	共		16,200
	下年開辦		61.70 ml
11	3,000	0.00	= 3,000
12	9,200	2.46	= 9,200
13	5,000	1.00	= 5,000
	共		17,200
	下年開辦		54.56 ml
	本年開辦(平局)至(平局)		78.35

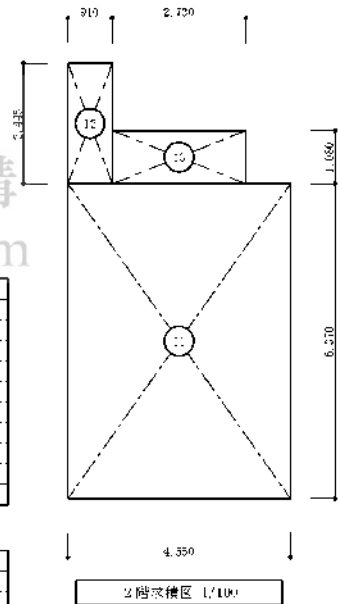
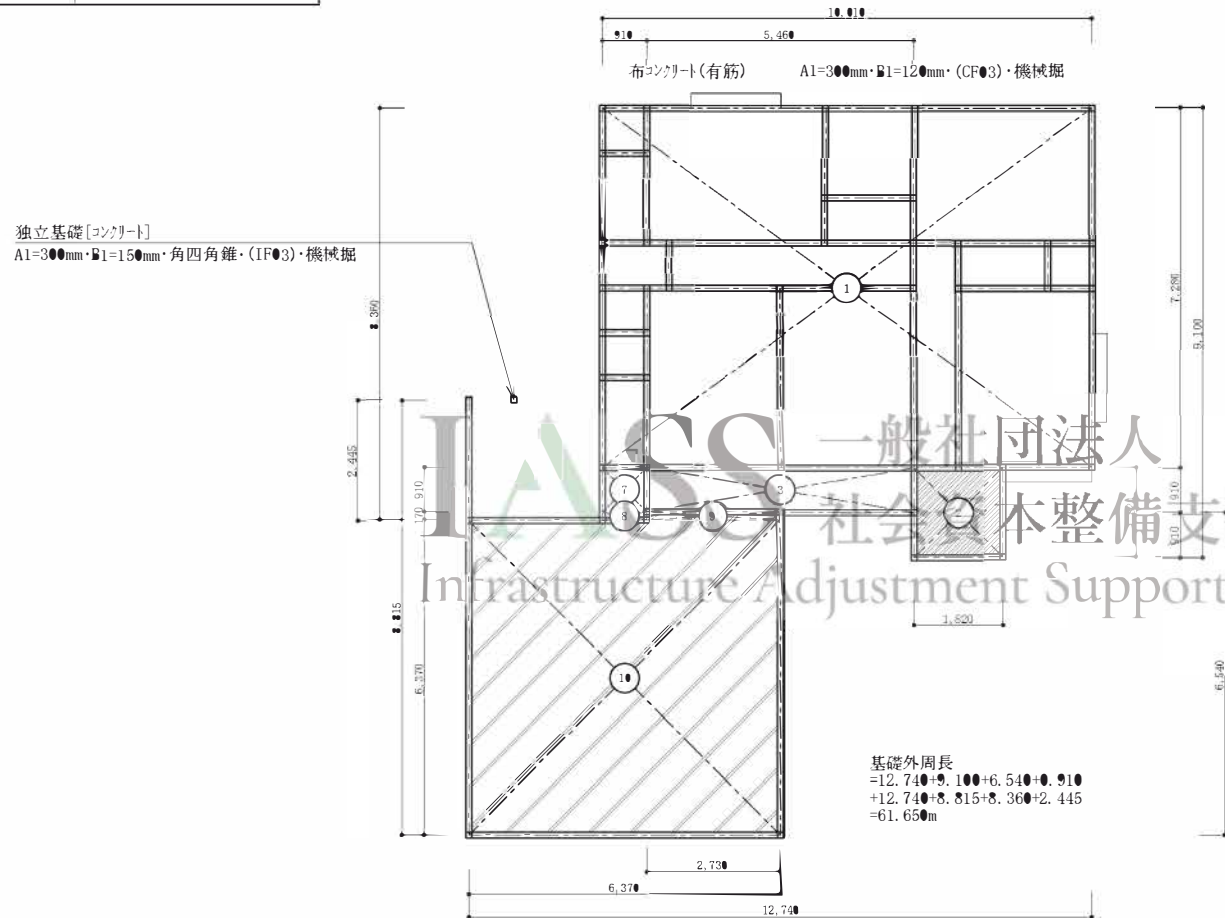


図 庄 名 称	求 檢 区	縮 尺	1/100
調 査 年 月 日 平 和 〇 年 〇 月 〇 日			
受 庄 者 南 武 金 社 (〇 〇 〇)			
資格名称・作成者 相模事務管理士 〇 〇 〇 〇			

所在地	●●県●●市●●1-2-3
所有者住所	●●県●●市●●1-2-3
所有者	●● ●●



1階基礎伏図 1/100

統計值対象床面積表			
1	10.010	×	7.250 = 72.872%
2	1.320	×	1.320 = 3.312%
3	5.460	×	0.910 = 4.566%
7	0.910	×	0.910 = 0.821%
8	0.910	×	0.170 = 0.154%
	計		82.066
	1F床面積		82.13 m ²
	延床面積		82.13 m ²

統計値対象床面積表

統計值対象床面積表				
9	2.73	×	0.17	= 0.4641
10	6.37	×	6.37	= 40.5769
	計			41.0410
	1F床面積			41.04 m ²
	床床面積			41.04 m ²

統計値対象床面積表

1棟

土間コンクリート叩き 厚60mm・無筋・(DC01)・すき取り・不用土処分共

1.	1. 20	×	1. 20	=	3. 32
合計					3. 31 m³

基礎面積表

1棟

土間コンクリート叩き 厚90mm・有筋・(D12)・すき取り・不用土処分共

9	2.730	×	0.170	=	0.464
10	6.370	×	6.370	=	40.576
合計					41.04 m³

基礎面積表

図面名称	基礎伏図	縮尺	1/100
調査年月日	令和●年●月●日		
受注者	株式会社 ●●●●●		
資格名称・作成者	補償業務管理士 ●● ●●		

所在地	〇〇県〇〇市〇〇1-2-3
所有権住所	〇〇県〇〇市〇〇1 2 3
所有者	〇〇 〇〇

A棟

屋根仕上表				
符号	仕上名称	形状・寸法	計算式	仕上面積
1	日本瓦葺	枕元・端部色(根張)・野地板を除く下地床・(平家)	$10.410 \times 1.280 \times 1.044$	= 86.336
2	日本瓦葺	枕元・端部色(根張)・野地板を除く下地床・(平家)	$2.720 \times 2.420 \times 1.044$	= 6.372
3	日本瓦葺	枕元・端部色(根張)・野地板を除く下地床・(平家)	$1.650 \times 1.260 \times 1.044$	= 2.385
4	日本瓦葺	枕元・端部色(根張)・野地板を除く下地床・(平家)	$2.420 \times 1.500 \times 1.044$	= 19.359
5	日本瓦葺	枕元・端部色(根張)・野地板を除く下地床・(平家)	$0.310 \times 1.630 \times 1.044$	= 1.026
6	日本瓦葺	枕元・端部色(根張)・野地板を除く下地床・(平家)	$12.840 \div 2 \times 1.180 \times 0.700 \times 1.044$	= 6.448
7	日本瓦葺	枕元・端部色(根張)・野地板を除く下地床・(平家)	$5.230 \times 1.120 \times 1.044$	= 29.024
8	日本瓦葺	枕元・端部色(根張)・野地板を除く下地床・(平家)	$4.340 \times 1.050 \times 1.044$	= 4.592
9	日本瓦葺	枕元・端部色(根張)・野地板を除く下地床・(平家)	$1.410 \times 1.260 \times 1.044$	= 2.005
10	日本瓦葺	枕元・端部色(根張)・野地板を除く下地床・(平家)	$2.270 \times 0.260 \times 1.044$	= 0.710
11	日本瓦葺	枕元・端部色(根張)・野地板を除く下地床・(平家)	$0.705 \times 0.200 \times 1.044$	= 0.220
仕上面積				164.582
二階部分(符号10・14)				46.356
7	断熱板平葺	厚0.4mm・断熱板・新地板を除く下地床・(平家)	$1.920 \times 4.450 \times 1.065$	= 0.368
8	断熱板平葺	厚0.4mm・断熱板・新地板を除く下地床・(平家)	$0.430 \times 2.020 \times 1.065$	= 0.473
9	断熱板平葺	厚0.4mm・断熱板・新地板を除く下地床・(平家)	$0.920 \times 0.400 \times 1.065$	= 0.312
仕上面積				2.392

屋根仕上表

A棟

床仕上表					
	仕上名称	形状・寸法	計算式	数量	単位
新床	床103mm・複合板・床板・受金物共		$10.310 \times 1.650 \times 2.420 \times 1.000 \div 1.650 \times 1.340 \times 1.340 \times 1.340$	44.820	m
窓床	床103mm・複合板・床板・受金物共		$6.300 \times 1.500 \times 2.420 \times 1.000 \div 1.500 \times 2.420 \times 1.340 \times 1.340$	33.650	m
床板等(1.5m×2.4m)	103mm・103mm・複合板・受金物共		$1.000 \times 1.000 \times 1.000 \times 1.000 \div 1.000 \times 1.000 \times 1.000 \times 1.000$	10.000	m ²

床仕上表

A棟

雨天排水上表				
符号	仕上名称	干法寸法	計算式	仕上面積
a	天井・化粧板・排水板	厚2.0mm・排水板	$10.410 \times 0.300 \times 1.044$	= 6.005
b	天井・化粧板・排水板	厚2.0mm・排水板	$0.250 \times 6.370 \times 1.044$	= 2.992
c	天井・化粧板・排水板	厚2.0mm・排水板	$0.250 \times 0.450 \times 1.044$	= 2.985
d	天井・化粧板・排水板	厚2.0mm・排水板	$0.250 \times 0.810 \times 1.044$	= 2.300
			仕上面積	6.453 m ²
e	天井・化粧板・排水板	厚4mm・排水板・目透板・下地	$10.410 \times 0.300 \times 1.044$	= 7.417
f	天井・化粧板・排水板	厚4mm・排水板・目透板・下地	$0.250 \times 7.280 \times 1.044$	= 2.320
g	天井・化粧板・排水板	厚4mm・排水板・目透板・下地	$12.530 \times 1.180 \times 0.700 \div 2 \times 1.044$	= 6.045
h	天井・化粧板・排水板	厚4mm・排水板・目透板・下地	$0.250 \times 2.420 \times 1.044$	= 1.136
i	天井・化粧板・排水板	厚4mm・排水板・目透板・下地	$0.220 \times 0.600 \times 1.044$	= 1.140
j	天井・化粧板・排水板	厚4mm・排水板・目透板・下地	$0.250 \times 1.510 \times 1.044$	= 0.700
k	天井・化粧板・排水板	厚4mm・排水板・目透板・下地	$1.680 \times 0.450 \times 1.044$	= 0.782
l	天井・化粧板・排水板	厚4mm・排水板・目透板・下地	$0.250 \times 7.280 \times 1.044$	= 2.320
m	天井・化粧板・排水板	厚4mm・排水板・目透板・下地	$1.510 \times 0.300 \times 1.044$	= 0.440
n	天井・化粧板・排水板	厚4mm・排水板・目透板・下地	$0.250 \times 1.340 \times 1.044$	= 0.335
o	天井・化粧板・排水板	厚4mm・排水板・目透板・下地	$0.435 \times 0.300 \times 1.044$	= 1.135
p	天井・化粧板・排水板	厚4mm・排水板・目透板・下地	$0.250 \times 1.080 \times 1.044$	= 0.507
q	天井・化粧板・排水板	厚4mm・排水板・目透板・下地	0.510×2.420	= 2.224
r	天井・化粧板・排水板	厚4mm・排水板・目透板・下地	$1.520 \times 1.080 \times 1.114$	= 2.772
			仕上面積	22.424 m ²

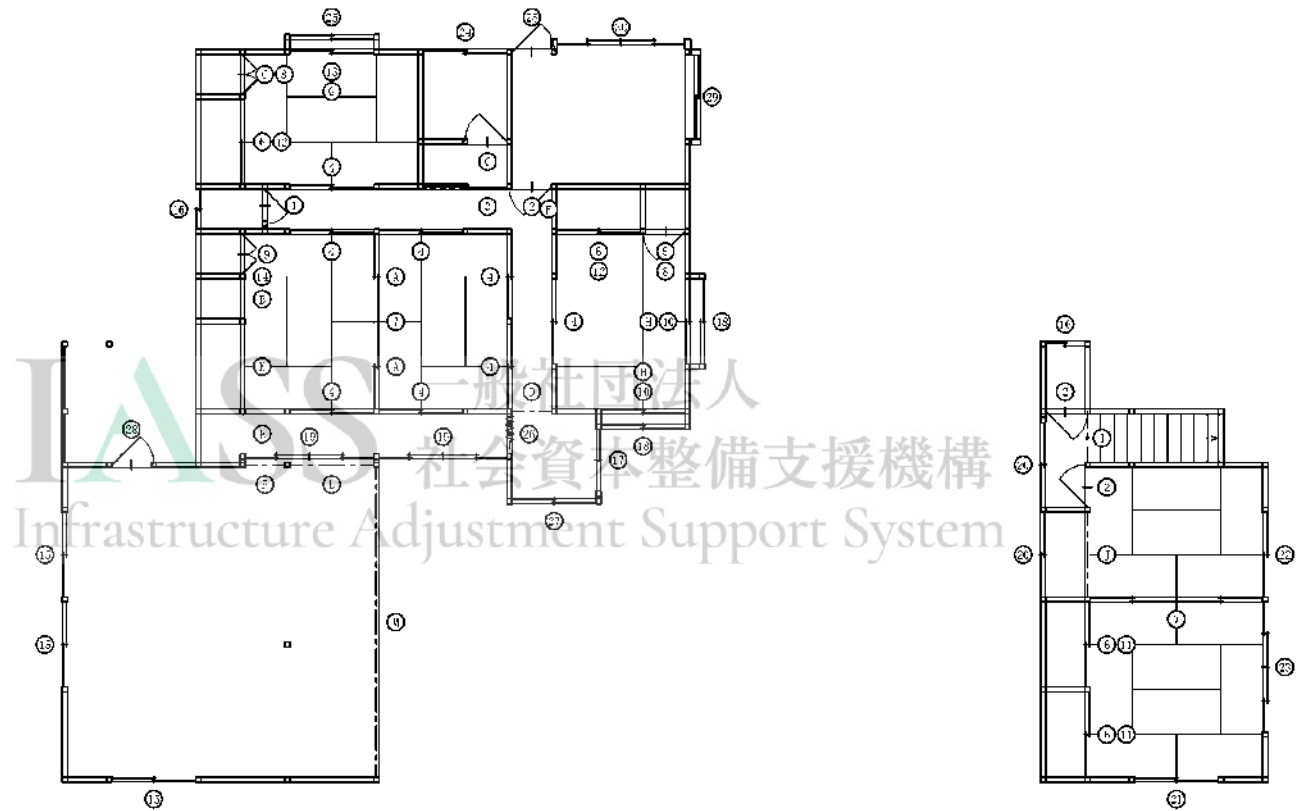
雨天排水表

図面名称	屋根仕上表	縮尺	1/100
調査年月日	令和〇年〇月〇日		
受注者	株式会社 〇〇〇〇		
資格名称・作成者	建築業務管理士 〇〇 〇〇		

様式第8

整理番号 1 図面番号 A

所在地 ○○県○○市○○1-2-3
所有権住所 ○○県○○市○○1 2 3
所有者 ○○ ○○



1 階建具配置図 1/100

2 階建具配置図 1/100

図面名称	建具配置区	縮尺	1/100
調査年月日 令和○年○月○日			
受注者 株式会社 ○○○○			
資格名称・保有者 建築業務管理士 ○○ ○○			

様式第8

整理番号

1

図面番号

A

所在地 ○○県○○市○○1-2-3

所有権住所 ○○県○○市○○1 2-3

所有者 ○○ ○○

A棟

構 造 表									
番号	仕上名称	幅	高さ	間口面積	1枚当り	枚	箇所	数量	単位
1	外窓戸 大さき区分Ⅰ・並	0.645	1.500	0.967		1	1	1	枚
2	外窓戸 大さき区分Ⅰ・並	0.600	1.600	0.960		1	3	3	枚
3	外窓戸(内・重2mm) 大さき区分Ⅰ・並	0.805	1.800	1.449		1	1	1	枚
4	障子 大さき区分Ⅰ・並	1.715	1.800	3.087	1.543	2	8	16	枚
5	外窓戸 大さき区分Ⅰ・並	0.605	1.500	0.908		1	1	1	枚
6	外窓戸 大さき区分Ⅰ・並	1.715	1.800	3.087	1.543	2	4	8	枚
7	外窓戸 大さき区分Ⅰ・並	3.635	1.500	5.453	1.550	4	2	8	枚
8	外窓戸 大さき区分Ⅲ・天袋・地盤用・並	0.845	0.940	0.795		1	2	2	枚
9	外窓戸 大さき区分Ⅲ・天袋・地盤用・並	0.805	0.850	0.684	0.342	2	1	2	枚
10	外窓戸 大さき区分Ⅲ・天袋・地盤用・並	1.715	0.900	0.636	0.318	2	2	4	枚
11	外窓戸 大さき区分Ⅲ・天袋・地盤用・並	1.715	0.450	0.771	0.385	2	2	4	枚
12	外窓戸 大さき区分Ⅲ・天袋・地盤用・並	1.715	0.500	0.857	0.428	2	2	4	枚
13	外窓戸 大さき区分Ⅲ・天袋・地盤用・並	1.715	0.940	0.643	0.321	2	1	2	枚
14	外窓戸 大さき区分Ⅲ・天袋・地盤用・並	1.715	0.550	0.957	0.478	2	1	2	枚
15	外窓戸 (A0)・[FL・厚2mm] 大さき区分Ⅱ・横戸用	1.652	0.945	1.561		2	1	2	枚
16	外窓戸 (A0)・[FL・厚2mm] 大さき区分Ⅱ・横戸用	0.760	0.900	0.684		2	1	2	枚
17	外窓戸 (A0)・[FL・厚2mm] 大さき区分Ⅱ・横戸用	1.540	0.945	1.449		1	1	1	枚
18	外窓戸 (A0)・[FL・厚2mm] 大さき区分Ⅱ・横戸用	1.652	1.391	2.292		2	1	2	枚
19	外窓戸 (A0)・[FL・厚2mm] 大さき区分Ⅱ・横戸用	2.661	1.758	4.665		2	1	2	枚
20	外窓戸 (A0)・[FL・厚2mm] 大さき区分Ⅱ・横戸用・両戸用兼用	1.652	0.755	1.247		2	1	2	枚
21	外窓戸 (A0)・[FL・厚2mm] 大さき区分Ⅱ・横戸用・両戸用兼用	1.652	1.361	2.242		1	1	1	枚
22	外窓戸 (A0)・[FL・厚2mm] 大さき区分Ⅱ・横戸用・両戸用兼用	1.652	1.758	2.895		1	1	1	枚
23	外窓戸 (A0)・[FL・厚2mm] 大さき区分Ⅱ・横戸用・両戸用兼用	2.661	1.758	4.665		1	1	1	枚
24	外窓戸 (A0)・[FL・厚2mm] 大さき区分Ⅱ・横戸用・両戸用兼用	1.652	0.907	1.493		1	1	1	枚
25	外窓戸 (A0)・[FL・厚2mm] 大さき区分Ⅱ・横戸用・両戸用兼用	1.652	1.210	2.007		1	1	1	枚
26	外窓戸 (A0)・[FL・厚2mm] 大さき区分Ⅱ・横戸用・両戸用兼用	0.605	1.500	0.908		1	1	1	枚
27	外窓戸 (A0)・[FL・厚2mm] 大さき区分Ⅱ・横戸用・両戸用兼用	1.715	2.274	3.891		1	1	1	枚
28	外窓戸 (A0)・[FL・厚2mm] 大さき区分Ⅱ・横戸用・両戸用兼用	0.760	1.511	1.136		2	1	2	枚
29	外窓戸 (A0)・[FL・厚2mm] 大さき区分Ⅱ・横戸用・両戸用兼用	1.652	0.755	1.247		1	1	1	枚
30	外窓戸 (A0)・[FL・厚2mm] 大さき区分Ⅱ・横戸用・両戸用兼用	2.661	0.755	1.990		1	1	1	枚

B棟

構 造 表									
番号	仕上名称	幅	高さ	間口面積	1枚当り	枚	箇所	数量	単位
A	障子部	1.250	0.500	0.625		2	1	2	枚
B	障子部	0.605	0.850	0.514		1	1	1	枚
C	障子部	0.845	1.800	1.521		2	1	2	枚
D	障子部	0.805	2.000	1.610		1	1	1	枚
E	障子部	0.805	2.350	1.881		1	1	1	枚
F	障子部	0.805	2.350	1.881		2	1	2	枚
G	障子部	1.715	1.210	2.076		1	1	1	枚
H	障子部	1.715	1.361	2.324		2	1	2	枚
I	障子部	0.575	2.400	1.380		1	1	1	枚
J	障子部	1.715	2.000	3.430		1	1	1	枚
K	障子部	1.715	2.160	3.691		1	1	1	枚
L	障子部	1.715	2.350	4.030		1	1	1	枚
M	障子部	0.575	2.400	1.380		1	1	1	枚

図面名称 建築図表 竣工図

調査年月日 令和〇年〇月〇日

受 注 者 株式会社 ○○○○

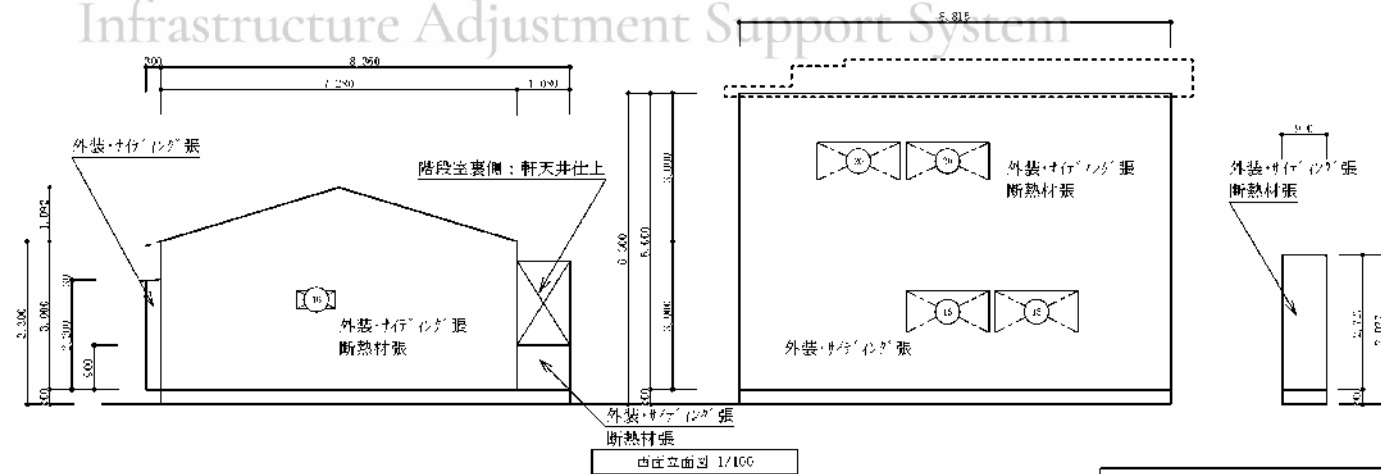
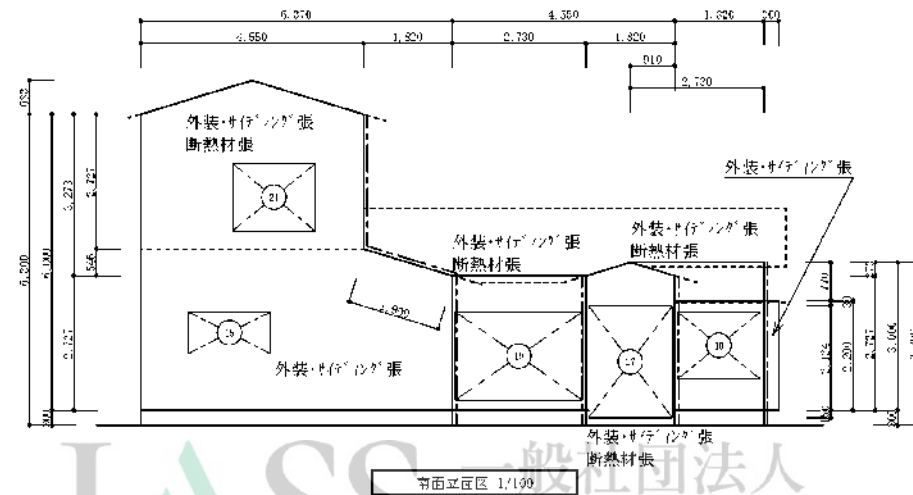
資格名称・保有者 建築業務管理士 ○○ ○○

[illegible]

— — — 堅強

圖 名 稱	立面圖 1	縮 尺	1/100
調 查 年 月 日 年 月 日			
受 注 者 株式会社 ()			
資格名称・作成者 建築業務管理士 () ()			

所有者 〇〇 〇〇



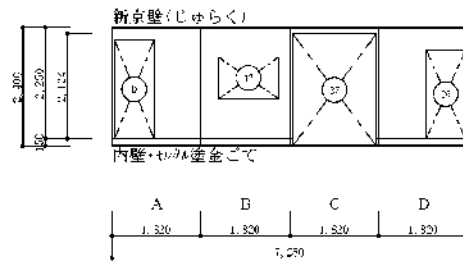
— — 堅擧

図 注 名 称	立 面 図 2	縮 尺	1/100
調 査 年 月 日 平 和 〇 年 〇 月 〇 日			
受 注 者 南 武 金 社 (〇 〇 〇)			
資 格 名 称 ・ 作 成 者 相 隣 業 務 管 理 士 〇 〇 〇 〇			

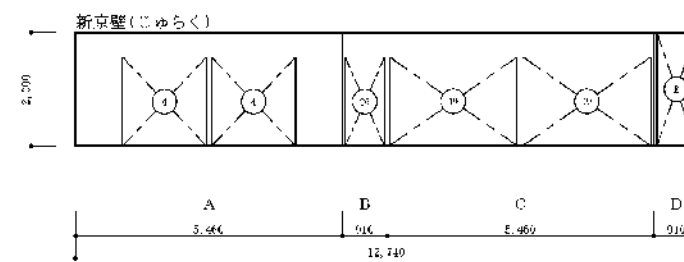
所在地 ○○県○○市○○1-2-3

所有権住所 ○○県○○市○○1-2-3

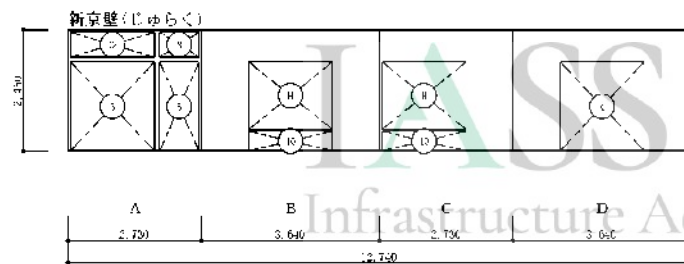
所有者 ○○ ○○



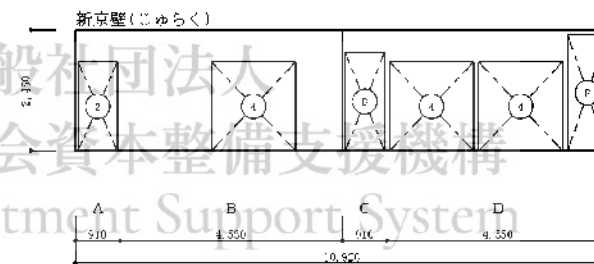
(1) 玄関 展開図 1/100



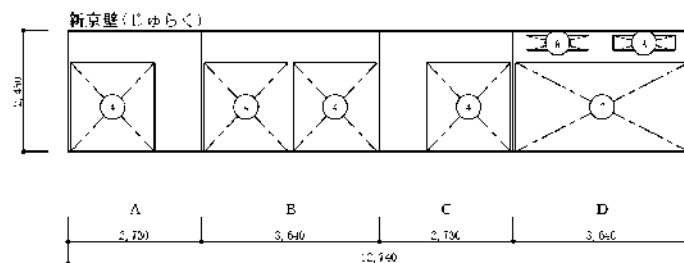
(2) 縁側 展開図 1/100



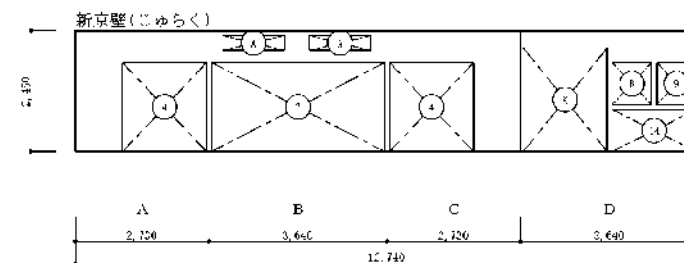
(3) 居間 展開図 1/100



(4) 廊下-1 展開図 1/100



(5) 和室6.0帖-1 展開図 1/100



(6) 和室6.0帖-2 展開図 1/100

図面名称 展開図 1 縮尺 1/100

調査年月日 令和○年○月○日

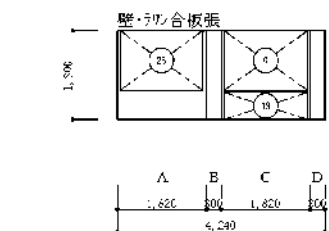
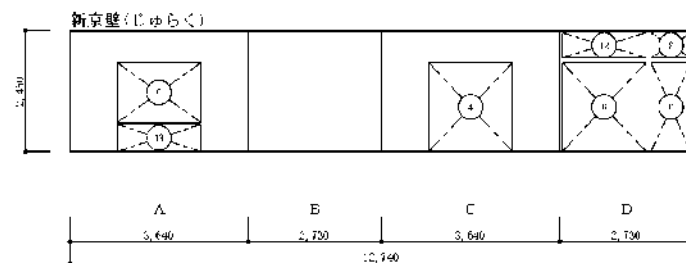
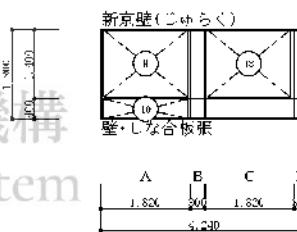
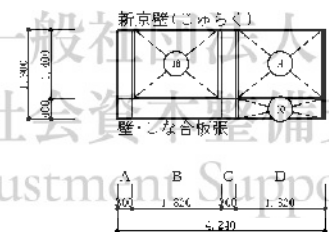
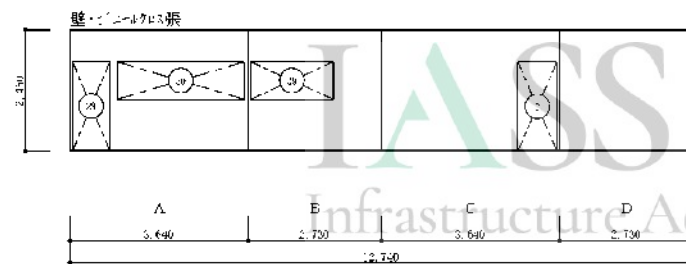
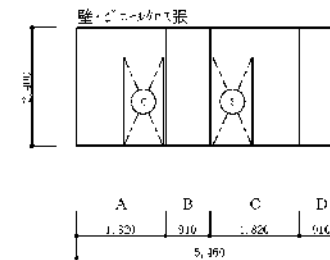
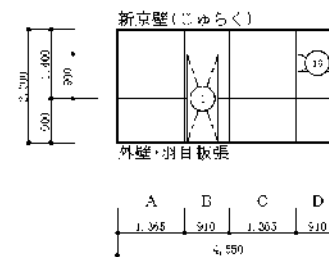
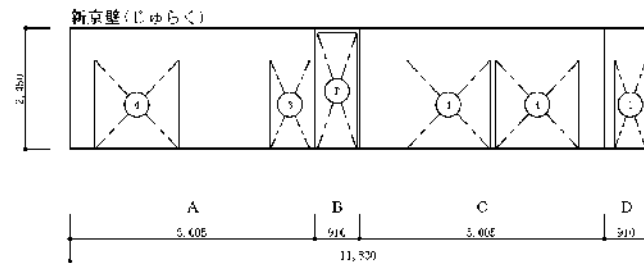
受注者 株式会社 ○○○○

資格名称・保有者 建築業務管理士 ○○ ○○

所在地 ○○県○○市○○1-2-3

所有権住所 ○○県○○市○○1-2-3

所有者 ○○ ○○



木造建物数量積算基準第8第2項の規定により1階階段室の内壁仕上は下記の仕上施工面積10.80㎡として計上する。
壁・ビニール板張

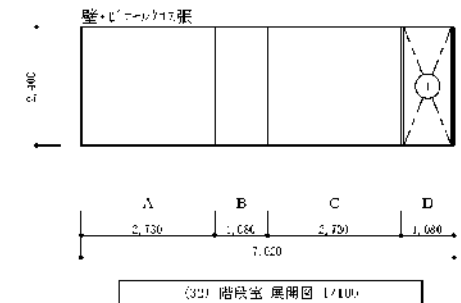
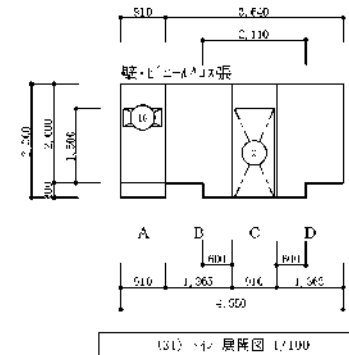
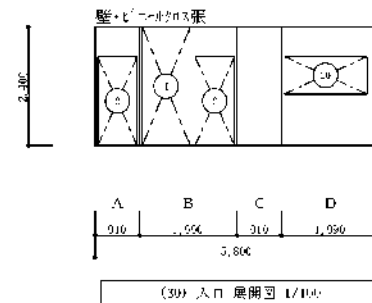
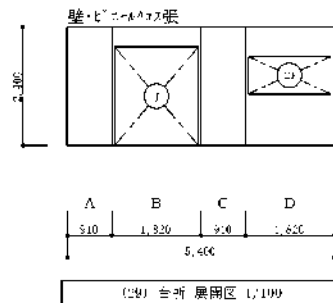
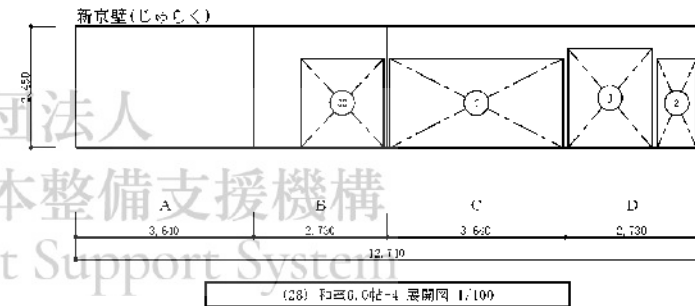
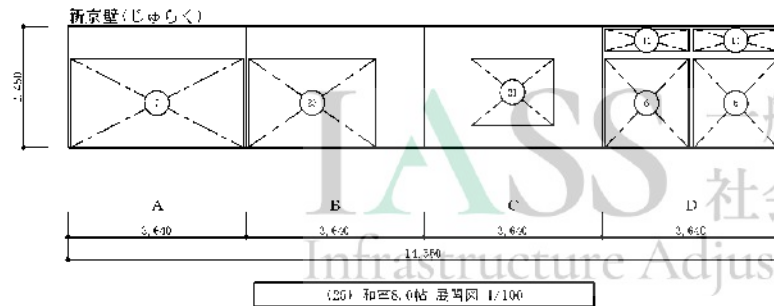
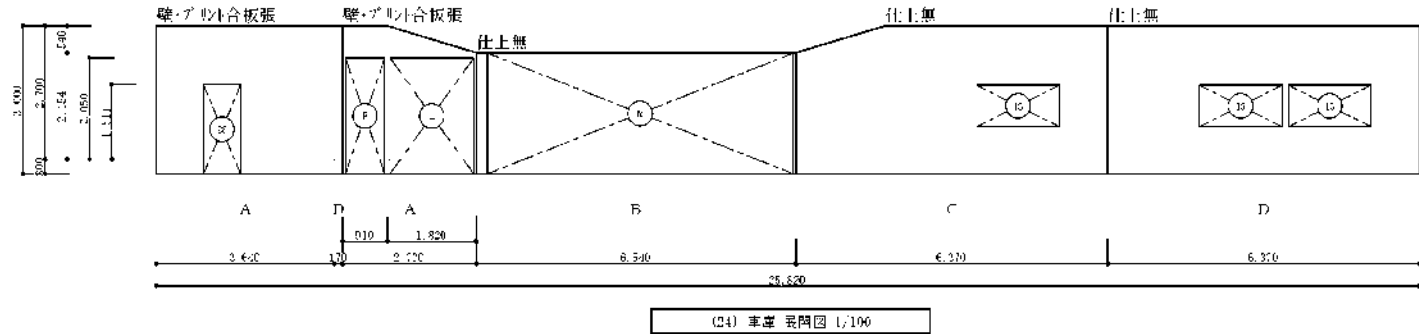
123 階段室 展開図 1/100

図面名称	展開図 2	縮尺	1/100
調査年月日	令和○年○月○日		
受注者	株式会社 ○○○○		
資格名称・保有者	建築業務管理士 ○○ ○○		

様式第8

整理番号 1 図面番号 A

所在地 ○○県○○市○○1-2-3
所有権者 ○○県○○市○○1-2-3
所有者 ○○ ○○



図面名称 展開図 3 縮尺 1/100
調査年月日 令和○○年○○月○○日
受注者 株式会社 ○○○○
資格名称・作業者 建築業務管理士 ○○ ○○

所在地 ○○県○○市○○1-2-3

所有権者 ○○県○○市○○1-2-3

所有者 ○○ ○○

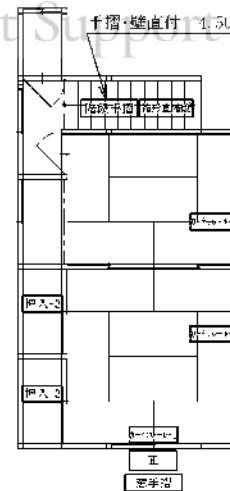


1階平面図 (1/100)

No.	記号	名称	形状・寸法等	1棟	合計	単位
1	大広間	大広間 (床面積)	幅900mm×長さ1500mm	1.00	1.00	㎡
2	小広間	小広間 (床面積)	幅700mm×長さ1000mm	2.00	2.00	㎡
3	小広間	小広間 (床面積)	幅700mm×長さ1000mm	5.00	5.00	㎡
4	小広間	小広間 (床面積)	幅700mm×長さ1000mm	3.00	3.00	㎡
5	小広間	小広間 (床面積)	幅700mm×長さ1000mm	1.00	1.00	㎡
6	小広間	小広間 (床面積)	幅700mm×長さ1000mm	1.00	1.00	㎡
7	小広間	小広間 (床面積)	幅700mm×長さ1000mm	1.00	1.00	㎡
8	小広間	小広間 (床面積)	幅700mm×長さ1000mm	1.00	1.00	㎡
9	小広間	小広間 (床面積)	幅700mm×長さ1000mm	1.00	1.00	㎡
10	小広間	小広間 (床面積)	幅700mm×長さ1000mm	1.00	1.00	㎡
11	小広間	小広間 (床面積)	幅700mm×長さ1000mm	1.00	1.00	㎡
12	小広間	小広間 (床面積)	幅700mm×長さ1000mm	1.00	1.00	㎡
13	小広間	小広間 (床面積)	幅700mm×長さ1000mm	1.00	1.00	㎡
14	小広間	小広間 (床面積)	幅700mm×長さ1000mm	1.00	1.00	㎡
15	小広間	小広間 (床面積)	幅700mm×長さ1000mm	1.00	1.00	㎡

1階平面図 (1/100)

一般社団法人
社会資本整備支援機構
Infrastructure Adjustment Support System



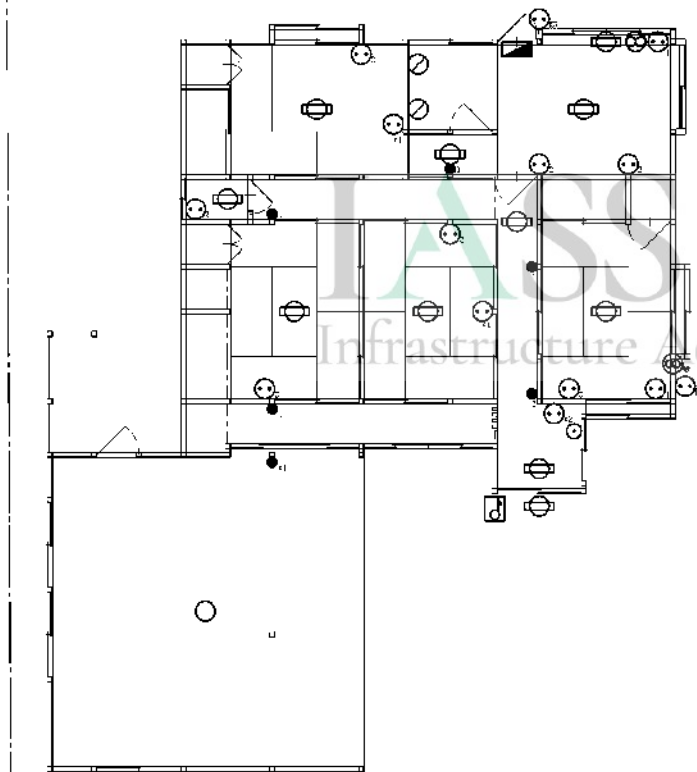
2階平面図 (1/100)

図面名称	図面配置区	縮尺	1/100
調査年月日	令和〇年〇月〇日		
受注者	株式会社 ○○○○		
資格名称・作成者	建築業務管理士 ○○ ○○		

所在地 ○○県○○市○○1-2-3

所有権者 ○○県○○市○○1-2-3

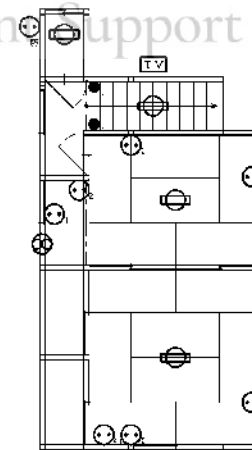
所有者 ○○ ○○



1階電気設備図 1/100

機	記号	名称	形状寸法等	数量	備考
A	⊗	換気扇	羽根径200mm(台所用)	2.00	
	⊗	換気扇	羽根径200mm(居室用・水平)	1.00	
	TV	テレビ	70P-UH併設・軒先他設置・端元整合器付	1.00	
	○	電灯吊屋内配線等	配管・4寸×20mm・黒鉄口1ヶ所当り4ヶ所・木造用	1.00	
	○	灯台設備	4寸×20mm・黒鉄口	1.00	
	○	電灯配線配管設備(上達・下達)	居室系・什用品系(器具含まず)	12.00	
	○	照明器具	居室系・什用品系(器具含まず)	13.00	
	○	照明器具	工務系・倉庫系・車	1.00	
	△	分電盤	200V 外型分岐:1-3・7回路・幹線含む	1.00	
	●	スイッチ	埋込・1面	5.00	
	●	スイッチ	埋込・2面	1.00	
	●	スイッチ	埋込・3面	1.00	
	●	スイッチ	露出・1面	1.00	
	○	コンセント	埋込・1口	5.00	
	○	コンセント	埋込・2口	12.00	
	○	コンセント	露出・1口	5.00	
	○	コンセント	露出・2口	1.00	
	○	コンセント	防水型	5.00	
	○	電灯配線配管設備(木造)	居室系・什用品系(器具含まず)	145.00	2145=47
	○	電灯配線配管設備(非木造)	工務系・倉庫系(什用品系・器具含まず)	2.00	

電気設備



2階電気設備図 1/100

図面名称 電気設備区 縮尺 1/100

調査年月日 令和○年○月○日

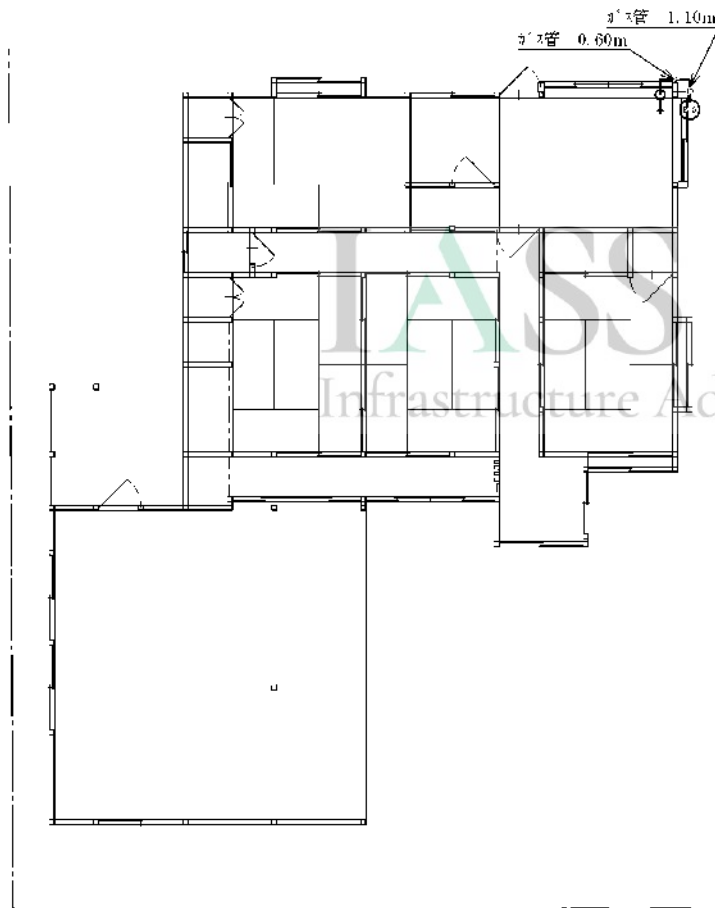
受注者 株式会社 ○○○○

資格名称・作成者 附属業務管理士 ○○ ○○

所在地	〇〇県〇〇市〇〇1-2-5
所有者住所	〇〇県〇〇市〇〇1-2-5
所有者	〇〇 〇〇

表 2 設備					
機	記 号	名 称	型 号 及 数	数 量	備 考
A		給水配管	φ100mm 鋼管 10.00m	1.00	
		ガス管	φ75mm 鋼管 10.00m	1.00	1. 4. 1. 1. 1

ガス設備



1階ガス設備図 1/100

一般社団法人
社会資本整備支援機構
Infrastructure Adjustment Support System

図 名 称	ガス設備図	縮 尺	1/100
調 査 年 月 日 平成〇年〇月〇日			
発 注 者 株式会社 〇〇〇〇			
資格名称・作成者 建築業務管理士 〇〇 〇〇			

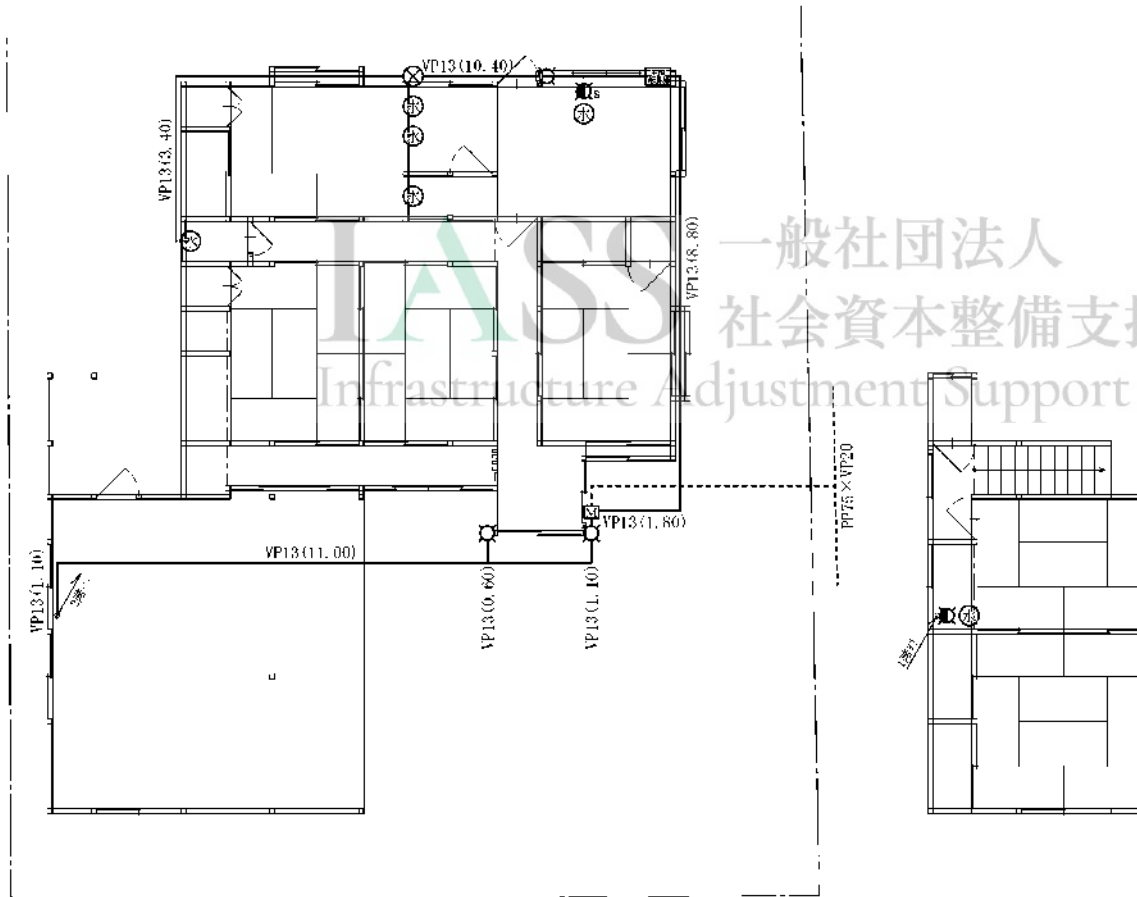
所在地 ○○県○○市○○1-2-3

所有権者 ○○県○○市○○1 2 3

所有者 ○○ ○○

給水・給湯設備				
機	記号	品名	形状寸法等	数量
A	M	水量計	φ100x100	1.00
	12	混合水栓	φ12-15mm用	1.00
	12	混合水栓	φ12-15mm用	1.00
	12	水栓柱	φ100x100	1.00
	12	石給湯器	量産設備型・無煙型70"	1.00
	12	屋内給水(湯)配管	4連継付	6.00
	12	屋外給水配管	φ100mm・横置式1"管・継手・機械部・長さ300mm	30.20
	12	屋外水栓柱	量産型・高さ900mm・横木柱付	5.00

給水・給湯設備



1 階給水・給湯設備図 1/100

2 階給水・給湯設備図 1/100

図面名称 給水・給湯設備図 縮尺 1/100

調査年月日 令和○年○月○日

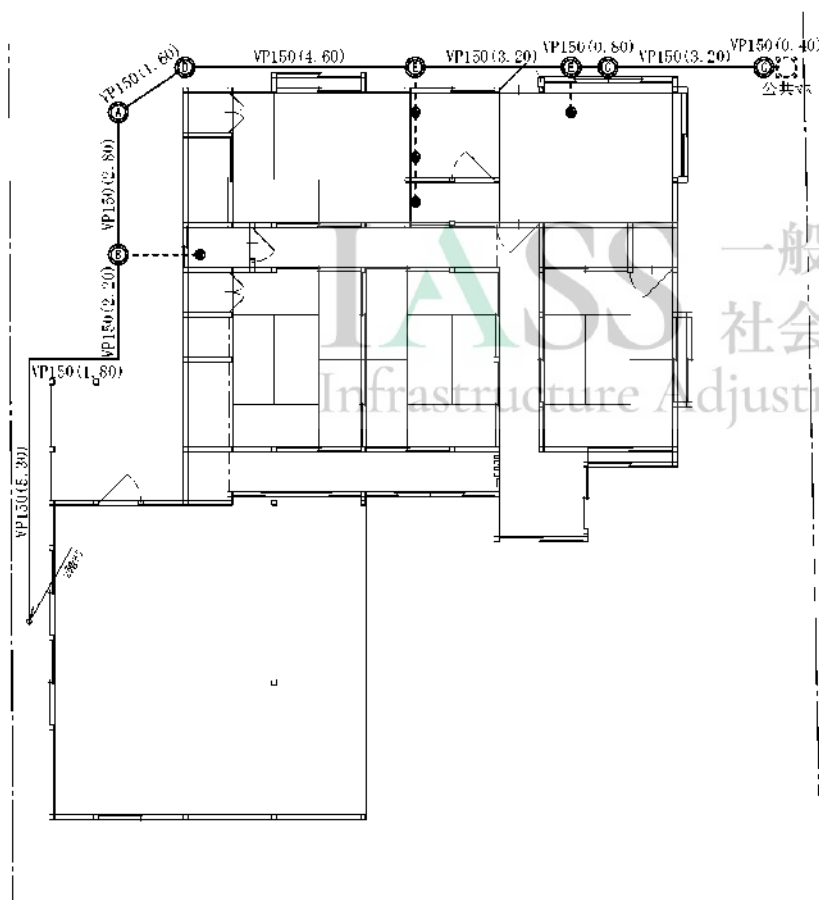
受注者 株式会社 ○○○○

資格名称・保有者 建築業務管理士 ○○ ○○

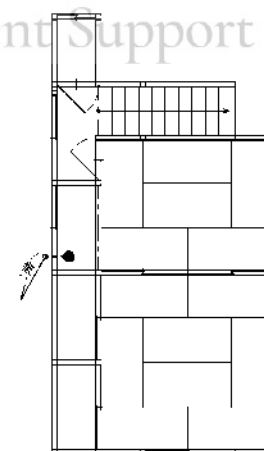
所在地	〇〇県〇〇市〇〇1-2-3
所有者住所	〇〇県〇〇市〇〇1-2-3
所有者	〇〇 〇〇

排水設備					
樓	紀 号	名 称	形状寸法等	数 量	備 考
A	● ---	屋内排水配管	木造建付	6.00	
	——	屋外排水配管	φ 150mm 硬質塩化ビニル管・埋設部・平均深さ450mm	25.50	0.40×2.20×1.00×2.20×4.00×1.60×2.80×1.00×1.30×5.36
	①	塩化ビニル 15° 1/2 × 1 1/4	φ 150mm 35° 90° 曲り・機検部・深さ60mm	1.00	
	②	塩化ビニル 15° 1/2 × 1 1/4	φ 150mm 45° 90° 台形・機検部・深さ60mm	1.00	
	③	塩化ビニル 45° 1/2 × 1 1/4	φ 150mm 35° 1/2 機検部・深さ60mm	2.00	
	④	塩化ビニル 15° 1/2 × 1 1/4	φ 150mm 15° 90° 曲り・機検部・深さ60mm	1.00	
	⑤	塩化ビニル 15° 1/2 × 1 1/4	φ 150mm 45° 90° 台形・機検部・深さ60mm	2.00	
	⑥	塩化ビニル 15° 1/2 × 1 1/4	φ 150mm 45° 90° 台形・機検部・深さ60mm	2.00	

排水設備	排水設備
------	------



1 階排水設備図 1/100



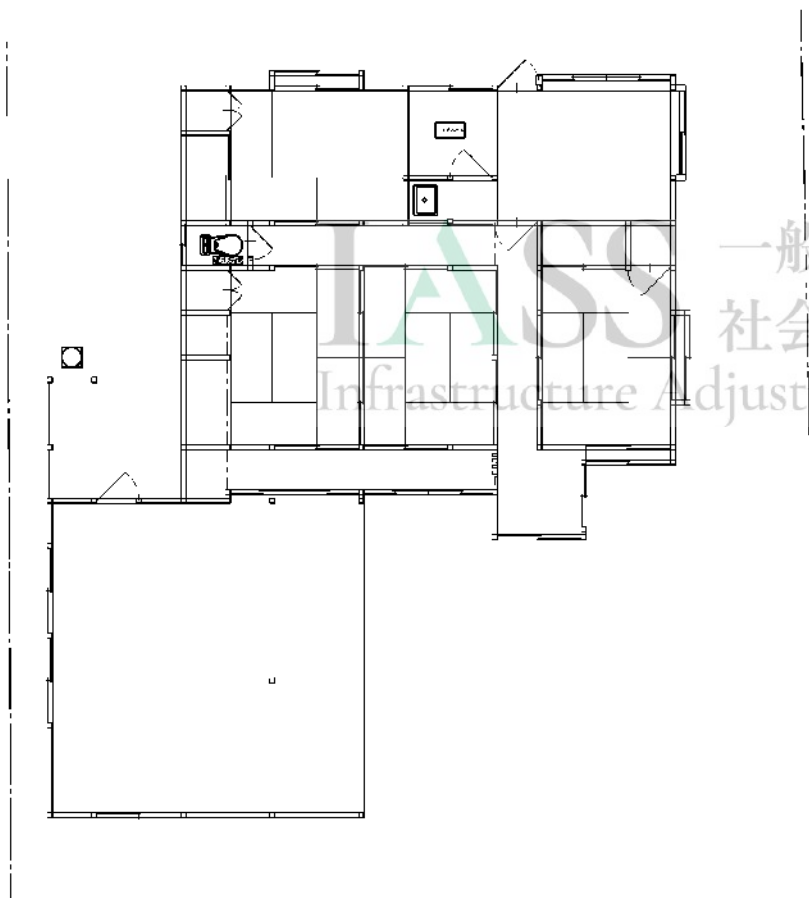
2階排水設備図 1/100

図 名 称	排水設備区	縮 尺	1/100
調 査 年 月 日 平成〇年〇月〇日			
受 注 者 株式会社 〇〇〇〇			
資格名称・作成者 建築業務管理士 〇〇 〇〇			

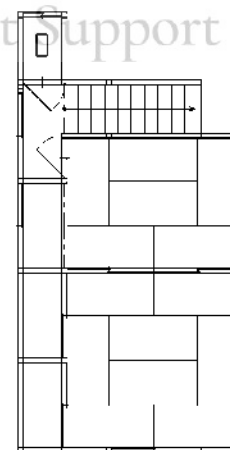
所在地	〇〇県〇〇市〇〇1-2-3
所有者住所	〇〇県〇〇市〇〇1-2-3
所有者	〇〇 〇〇

衛生設備					
機	記 号	名 称	形 式 寸 法 等	数 量	備 考
点		浄水器	幅:1,600mm・奥行:1,900mm	1.00	
		浄水化粧水栓	幅:50mm・奥行:400mm・配管:水栓・化油器付	1.00	
		水栓用排水器(標準式)	単体付排水径:φ1.5寸	1.00	
		温水洗浄便座	便座厚:座・便座底:標準なし	1.00	
		温水洗浄便座機器		1.00	
		便座・洗製品	φ75mm・高さ:1,600mm・4人用	1.00	

產生設備



1 陸軍士設備図 1/100



2階衛生設備図 1/100

図 名 称	第三設備区	縮 尺	1/100
調 査 年 月 日 平成〇年〇月〇日			
受 注 者 株式会社 〇〇〇〇			
資格名称・作成者 建築業務管理士 〇〇 〇〇			

様式第8

整理番号

1

図面番号

A

所在地 ○○県○○市○○1-2-3

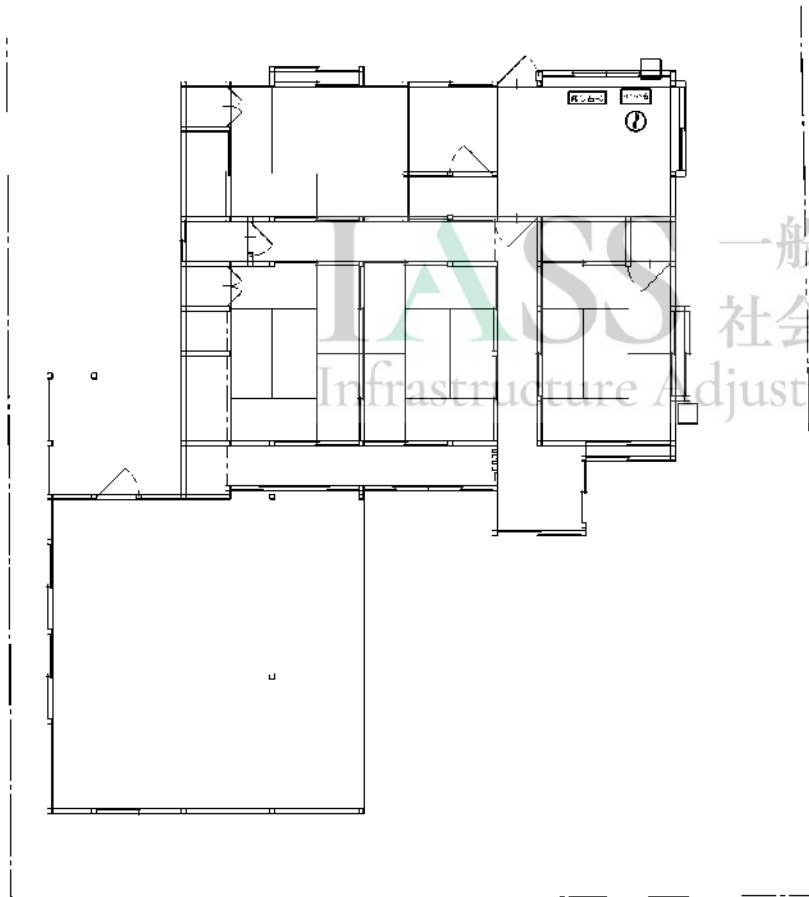
所有権住所 ○○県○○市○○1-2-3

所有者 ○○ ○○

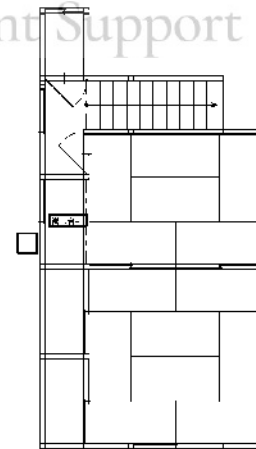
設備設備

機	記号	名称	形状寸法等	数量	備考
A	①	天井台	幅:1,000mm、奥行:543mm、高さ:925mm	1.00	
	②	天井台	幅:1,000mm、奥行:543mm、高さ:925mm	1.00	
	③	天井台	幅:1,000mm、奥行:543mm、高さ:925mm	1.00	
	④	換気扇	台所用	1.00	
	⑤	天井台	幅:1,000mm、奥行:543mm、高さ:925mm	1.00	

厨房設備



1階厨房設備図 1/100



2階厨房設備図 1/100

一般社団法人
社会資本整備支援機構
Infrastructure Adjustment Support System

図面名称 厨房設備図 縮尺 1/100

調査年月日 令和○年○月○日

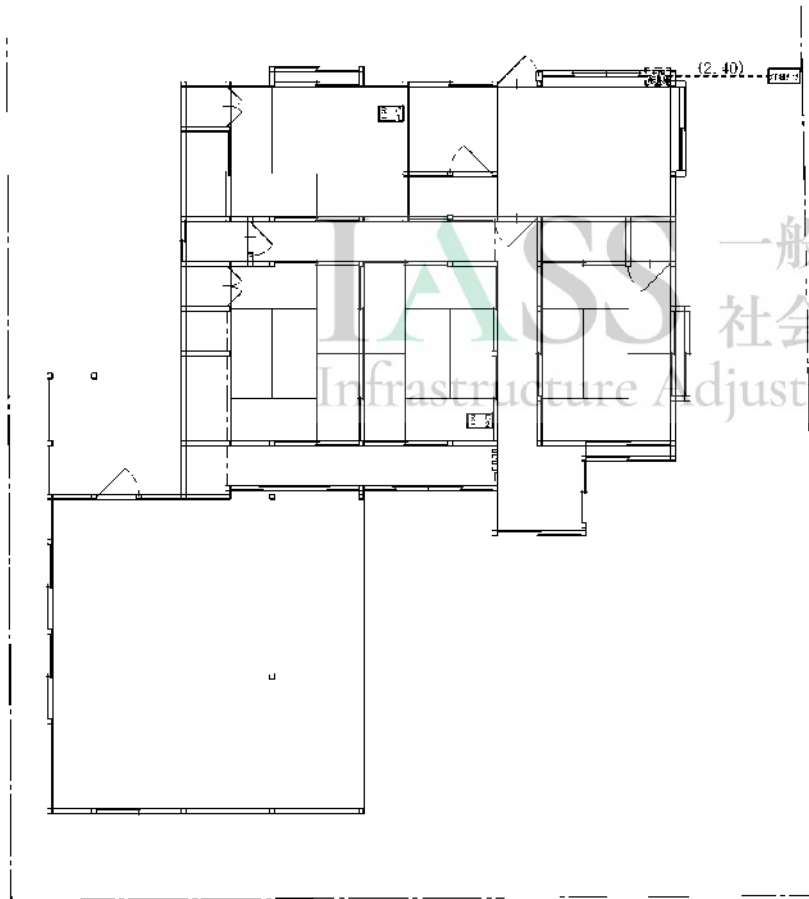
受注者 株式会社 ○○○○

資格名称・保有者 建築業務管理士 ○○ ○○

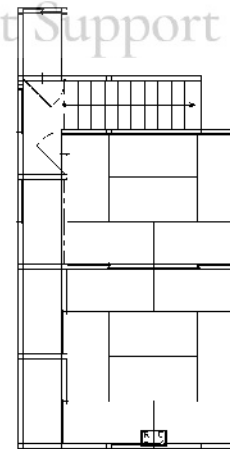
所在地	〇〇県〇〇市〇〇1-2-3
所有権住所	〇〇県〇〇市〇〇1-2-3
所有者	〇〇 〇〇

その他設備				
機	記号	品名	形状寸法等	数量 備考
A	機記	冷暖房設備	暖房用除霜型・冷暖能力2.2kw	1.00
	機記	冷暖房設備	暖房用除霜型・冷暖能力2.2kw	1.00
	機記	照明設備	照明器具2000lm・基礎付	1.00
	----	給排水配管（排水）	外径6mm 内径0.6mm	2.30

その他設備



1階平面図 1/100



2階平面図 1/100

図面名称	その他設備図	縮尺	1/100
調査年月日	令和〇年〇月〇日		
受注者	株式会社 〇〇〇〇		
資格名称・保有者	建築業務管理士 〇〇 〇〇		

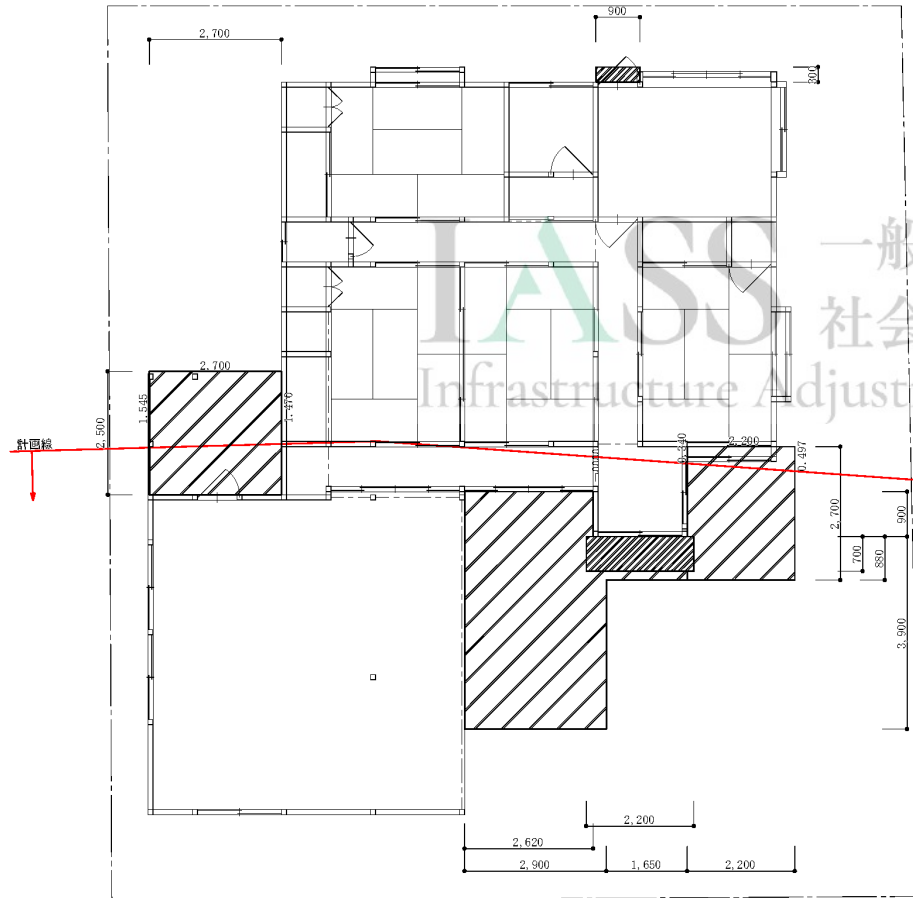
所在地	〇〇県〇〇市〇〇1-2-3
所有者住所	〇〇県〇〇市〇〇1-2-3
所有者	〇〇 〇〇

建物附属工作物					
棟	記 号	名 称	形状寸法等	数 量	備 考
A		土間コンクリート叩き	厚60mm・無筋・(DC01)・すき取り・不用土処分共	26.27	5,940+13,580+6,750
		土間コンクリート叩き	厚120mm・有筋・(DC13)・すき取り・不用土処分共	1.81	1,540+0.270
		物干台	7/12物干台・(屋根覆)	面積6.00㎡以上・物干金物付	8.60
		物干台屋根	物干台屋根・(加算)	面積6.00㎡以上・7/12ハケ	8.60

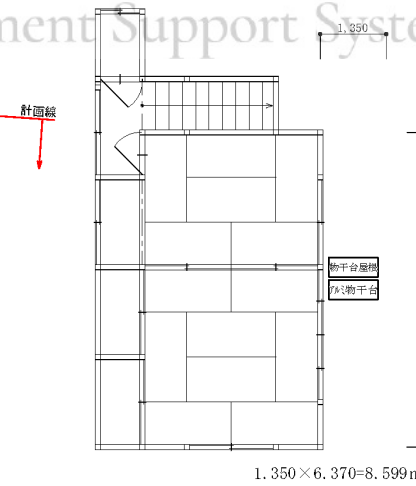
建物附属工作物

土間コン・厚60mm $2,200 \times 2,700 = 5,940 \text{ m}^2$ $1,650 \times 0.880 = 1,452$ $2,620 \times 0.900 = 2,358$ $2,900 \times 3,900 = 11,310$ $1,452 + 2,358 + 11,310 - 1,540 = 13,580 \text{ m}^2$ $2,700 \times 2,500 = 6,750 \text{ m}^2$ 土間コン・厚120mm $2,200 \times 0,700 = 1,540 \text{ m}^2$ $0,900 \times 0,300 = 0,270 \text{ m}^2$

(事業施行地外)

土間コン・厚60mm $(1,545 + 1,470) \times 2,700 \div 2 = 4,070$ $(0,340 + 0,497) \times 2,200 \div 2 = 0,920$ $4,070 + 0,920 = 4,990 \text{ m}^2$ 土間コン・厚120mm $0,900 \times 0,300 = 0,270 \text{ m}^2$ 

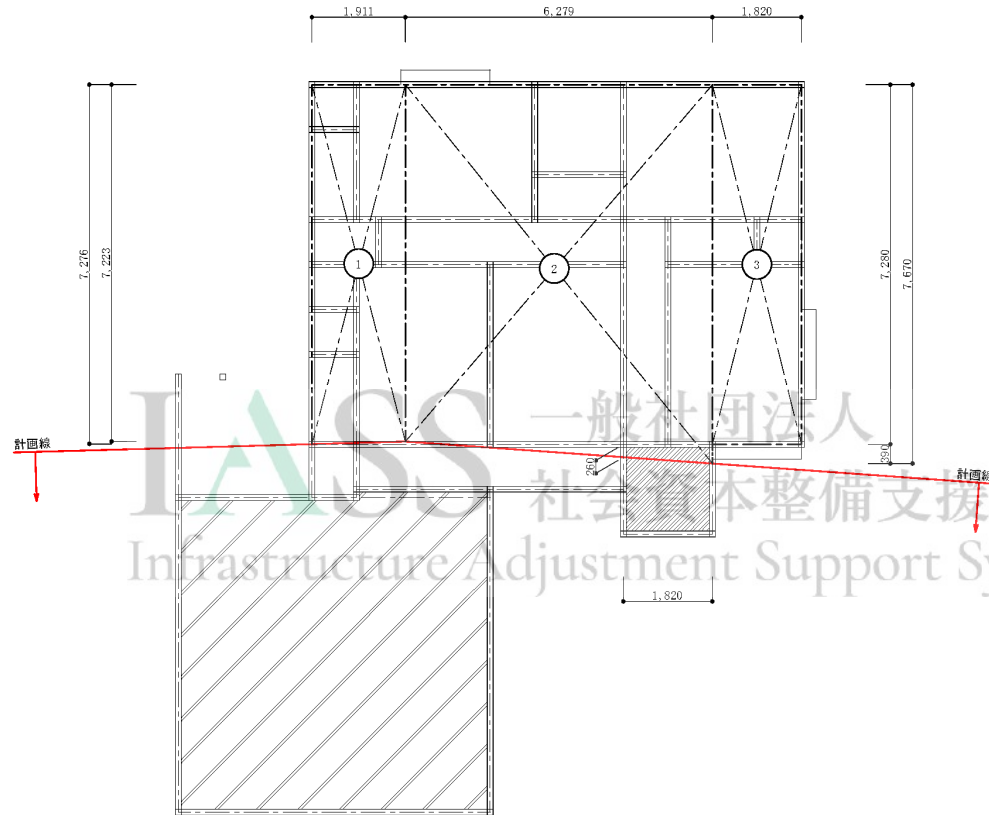
1階建物附属工作物配置図 1/100



2階建物附属工作物配置図 1/100

図面名称	附属工作物配置図	縮尺	1/100
調査年月日	令和〇年〇月〇日		
受注者	株式会社 〇〇〇〇		
資格名称・作成者	補償業務管理士 〇〇 〇〇		

所在地	〇〇県〇〇市〇〇1-2-3
所有者住所	〇〇県〇〇市〇〇1-2-3
所有者	〇〇 〇〇



A棟	
床面積表	(事業施行地外)
1. 1.911 × (7.276 + 7.223) ÷ 2	= 13.8537
2. 6.279 × (7.223 + 7.679) ÷ 2	= 46.7565
3. 1.820 × 7.280	= 13.2496
計	73.8598
1F床面積	73.86 m ²

床面積表

1棟	
土間コンクリート叩き 厚60mm・無筋	(事業施行地外)
1.820 × (0.260 + 0.390) ÷ 2	= 0.591
合計	0.59 m ²

基礎面積表

1階基礎伏図 1/100

図面名称	事業施行地外 床面積求積図	縮尺	1/100
調査年月日	令和〇年〇月〇日		
受注者	株式会社 〇〇〇〇		
資格名称・作成者	補償業務管理士 〇〇 〇〇		